

米に関するマンスリーレポート

(令和7年9月号)



うちの郷土料理
次世代に伝えたい大切な味

沖縄県 もずく丼

出典：農林水産省「うちの郷土料理」
詳細情報を裏面で紹介

「米に関するマンスリーレポート（マンレポ）」とは

⇒ 米に関する価格や需給の動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表しています。需要に応じた生産・円滑な米取引に役立てていただくことを目的としています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬公表。公表日の2営業日前までに入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあり得ます。

データはどう読み解けばいいの？

そんなときは、「ここが分からない！マンレポ」をチェック

https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo_kaisetu.html

うちの郷土料理

次世代に伝えたい大切な味

沖縄県 もずく井

主な伝承地域

県内全域

主な使用食材

もずく

歴史・由来・関連行事

「もずく井」は、肉や野菜の具材とともにもずくを炒め、ご飯の上に乗せたもの。ショウガの搾り汁を加えて海藻独特の臭みを抑え、甘辛風味に仕上げてあるので老若男女問わず好まれている。学校給食で人気となったことから県民に広く知られ、現在では家庭でも作られるようになった。スーパーなどで手軽に手に入るもずくは、ミネラルやビタミンが豊富で肌の保湿を高め、抗酸化作用を持つフコイダンを含むため、美容や健康に良い食材とされている。沖縄県は収穫量が最も多く、その量は1万5000トン以上（平成25年 農林水産省「海面漁業生産統計調査」）と全国の生産量の99%を占めている。昭和50年ごろからもずくの養殖に着手しており、そのほとんどがオキナワモズクという種類で、食感がよくコシがあるため、さまざまな料理に使われる。三杯酢を合わせた「もずく酢」として食べられるのがポピュラーだが、沖縄県の学校給食では、もずく井が大人気。

食習の機会や時季

手軽でヘルシーな家庭料理として、夕食などに食べられている。また、沖縄県内の学校給食では人気の定番のメニュー。

飲食方法

もずくは洗って食べやすい長さに切り、ほぐしておく。タマネギ、ニンジン、ピーマンをみじん切りにする。鍋に油を熱し、豚ひき肉を炒める。野菜を加えてさらに炒め、醤油やみりん、砂糖、酒、ショウガの搾り汁などで調味する。ホールコーン、もずくを入れひと煮立ちさせる。いり卵を加えたり、温泉卵を乗せたり、ツナ缶を使うなど各家庭によって使う食材が異なる。

材料(4人分)

・ごはん	適量	・もずく	100g
・豚ひき肉	50g	・牛ひき肉	50g
・タマネギ	90g	・ホールコーン	50g
・ニンジン	50g	・小松菜	50g
・ショウガ(すりおろし)	小さじ1	・おろしにんにく	小さじ1／2
・【調味料】しょうゆ	小さじ2	・【調味料】みりん	小さじ1・1／2
・【調味料】砂糖	小さじ1	・【調味料】豆板醤	少々
・【調味料】塩	小さじ1／3	・かつおだし	100cc
・大豆油	小さじ1／2	・ごま油	小さじ1／2
・片栗粉	大さじ1／2		

作り方

- 1 ごはんを炊く。
- 2 ニンジンとタマネギは千切り、小松菜は1cm幅に切り、ショウガはすりおろす。もずくは長いようであれば、切る。
- 3 大豆油で肉を炒める。色が変わったら、タマネギ、ホールコーン、ニンジン、ショウガ、おろしにんにくを加え、さらに炒める。
- 4 3にもずくを加えて、さらに炒める。
- 5 4にかつおだしを加えて、もずくから少しとろみが出るまで煮る。
- 6 【調味料】で味付けし、仕上げにごま油、小松菜を加えてさっと煮て、火を止めて、水溶き片栗粉でとろみをつける。
- 7 6をご飯にのせて完成。

レシピ提供元名：沖縄県学校栄養士会宜保律子

※レシピは地域・家庭によって違いがあります。

出典：農林水産省「うちの郷土料理」

目次（令和7年9月号）

特集

- 1 米の基本指針（令和7年9月19日公表）のポイント
- 2 令和7年産水稻の8月15日現在における10a当たり収量の前年比見込み
- 3 令和8年度農林水産予算概算要求の概要－ 米の需要に応じた増産実現予算 －

特集-1

特集-7

特集-9

1 米の民間在庫情報

各産地の米の民間在庫数量は、年間玄米仕入量500トン以上の出荷段階（全農、JA等の出荷業者）の在庫量と年間玄米仕入数量4,000トン以上の販売段階（米卸等の販売業者の在庫量）を対象に調査し、その合計（出荷段階＋販売段階）の数値も合わせて公表しています。

集荷数量が概ね確定する1月以降の在庫数量は、販売に伴って減少していくので、その変化を見ることにより、販売状況を読み取ることができます。

1 民間在庫の推移

農林水産省（農産）HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

- (1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）
- (2) 産地別民間在庫の状況（速報）
- (3) 令和6・7年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

在庫-1

Excel

在庫-5

Excel

在庫-6

Excel

2 米の価格情報

相対（あいたい）取引価格

米については、全農等の出荷業者と卸売業者等との間で、年間を通じて「相対取引」が行われています。このため、農林水産省では、年間の玄米仕入量5,000トン以上の全国出荷団体等を対象に、指標となる各産地の上位2～3銘柄（令和6年産米：118産地品種銘柄）について、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格・数量を毎月調査し、米の取引価格の代表となる指標の一つとして公表しています。

1 相対取引価格・数量

農林水産省（農産）HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>

- (1) 年産別の相対取引価格（速報）
 - (2) 令和6年産米の相対取引価格（速報）
 - (3) 相対取引価格・数量（令和6年産米、産地品種銘柄別、令和7年8月分）（速報）
 - (4) 相対取引価格（月別・年産平均価格）（令和5・6年産米、産地品種銘柄別）（速報）
- 2 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和7年8月分）

価格-1

価格-2

価格-4

価格-6

価格-8

Excel

Excel

米穀安定供給確保支援機構HP

<https://www.komenet.jp/>

3 米の契約・販売情報

産地別事前契約数量は、米の播種が始まる前に、契約書や確認書等によりあらかじめ取引されることが決定している数量で、年間玄米仕入量500トン以上の出荷段階（全農等の出荷業者）からの報告を産地別に取りまとめたものです。例えば、仕入（集荷）計画数量に占める事前契約数量の比率が高い産地では、取引数量の多くを播種前に契約し、需要に応じた生産に向けた取組が進められていることがうかがえます。

1 事前契約（播種前契約）の取組状況

- (1) 近年の事前契約（播種前契約）数量の推移
 - (2) 令和5・6年産米の産地別事前契約（播種前契約）の取組状況（速報）
- 2 令和6年産米の産地別契約・販売状況
（累計、うるち米、令和7年7月末現在）（速報）

契約-1

契約-2

契約-3

Excel

Excel

3 令和6年産備蓄米の政府買入入札結果

契約-6

農林水産省（農産）HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/syovvu/kaiire/index.html>

4 政府備蓄米の買戻し条件付売渡し

- (1) 入札結果
- (2) 政府備蓄米の買戻し条件付売渡しに係る流通実績

契約-7

契約-7

5 随意契約による政府備蓄米の売渡し

- (1) 随意契約による政府備蓄米の売渡しの状況
 - (2) 販売状況
 - (3) 随意契約による政府備蓄米の加工原材料用向け販売
- 6 令和7年産水稻の生育状況について（令和7年9月1日報告時点）

契約-8

契約-9

契約-10

契約-11

4 消費の動向

1 米の消費動向(米穀機構による調査)

米穀安定供給確保支援機構HP <https://www.komenet.jp/>

消費-1

2 購入数量・支出金額の推移(家計調査)

総務省統計局HP <https://www.stat.go.jp/data/index.html>

消費-4

3 消費者物価指数の推移

消費-6

4 小売物価統計の推移

消費-7

5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向(速報)

消費-8

6 小売価格・販売数量等の推移(POSデータ)

消費-9

5 輸出入の動向

1 米・米加工品の輸出実績

(1) 米・米加工品の輸出実績の推移

輸出入-1

(2) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移

輸出入-2

(3) 2024年の米の輸出実績の主な増加要因

輸出入-3

(4) 米菓の輸出数量及び金額の推移

輸出入-4

(5) 日本酒(清酒)の輸出数量及び金額の推移

輸出入-5

(6) パックご飯等の輸出数量及び金額の推移

輸出入-6

(7) 米粉の輸出数量及び金額の推移

輸出入-7

(8) 米粉麺等の輸出数量及び金額の推移

輸出入-8

2 米・米加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について

輸出入-9

3 MA米の輸入数量(輸入先国別及び輸入方式別)

輸出入-11

農林水産省(農産)HP

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html>

4 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合せ結果(令和7年度)

輸出入-12

5 SBS輸入米の見積合せ結果(令和7年度)

輸出入-13

6 CPTPP・国別枠の見積合せ結果(令和7年度)

輸出入-14

6 主食用米以外の情報

1 加工用米及び新規需要米等の生産状況

(1) 加工用米の生産量

主食外-1

(2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移

主食外-1

(3) 令和6年産 都道府県別の生産状況

主食外-2

(4) 加工用米及び新規需要米における多収性品種

主食外-3

(5) 新規需要米における米粉用向け専用品種

主食外-3

2 米加工品の状況

(1) 主な米加工品の生産状況

主食外-4

(2) 令和3米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況(推計)

主食外-5

(3) 加工原材料用米穀の使用状況(推計)の推移

主食外-6

3 酒造好適米の需給状況

(1) 日本酒の出荷状況

主食外-7

(2) 日本酒原料米の使用状況

主食外-7

(3) 酒造好適米の生産量

主食外-8

(4) 酒造好適米の需要量

主食外-8

「米に関するマンスリーレポート」では、米に関する価格や需給の動向に係るデータ・情報をより多くの方に、かつ、より有効に活用していただけるよう、情報の整理方法、提供方法等を見直しました。
また、当省ホームページでの公表に際しては、本編・資料編に加え、カテゴリ別にも整理して掲載するとともに一部データ資料については、エクセルによる提供も開始しましたので、ぜひご活用ください。

米の基本指針（令和7年9月19日公表）のポイント

－ 令和7/8年の主食用米等の需給見通しを策定しました－

○ 令和7/8年の主食用米等の需給見通しについて、令和7年8月5日の米の安定供給等実現関係閣僚会議において示した米の価格高騰の要因や対応の検証結果等を踏まえ、需給見通しの手法を見直した上で、以下のとおり策定しました。

令和7年5月 基本指針

【令和6/7年の主食用米等の需給見通し】 (万トン(玄米))

令和6/7年	令和6年6月末 民間在庫量	A	153
	令和6年産 主食用米等生産量	B	679
	令和6/7年 主食用米等供給量 計	C= A+B	832
	令和6/7年 主食用米等需要量	D	674
	令和7年6月末 民間在庫量	E= C-D	158



【令和7/8年の主食用米等の需給見通し】 (万トン(玄米))

令和7/8年	令和7年6月末 民間在庫量	E	158
	令和7年産 主食用米等生産量	F	683
	令和7/8年 主食用米等供給量 計	G= E+F	841
	令和7/8年 主食用米等需要量	H	663
	令和8年6月末 民間在庫量	I= G-H	178



注1: ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。
注2: 上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、SBS方式による輸入米は含まれない。

需給見通し

【令和6/7年の主食用米等の需給実績(速報値)】 (万トン(精米)) (万トン(玄米))

令和6/7年	令和6年6月末 民間在庫量	J	135	153
	令和6年産 主食用米等生産量	K	606	679
	政府備蓄米供給数量	L	32	36
	令和6/7年 主食用米等供給量計	M= J+K+L	773	868
	令和6/7年 主食用米等需要量	N	633	711
	令和7年6月末 民間在庫量	O= M-N	140	157

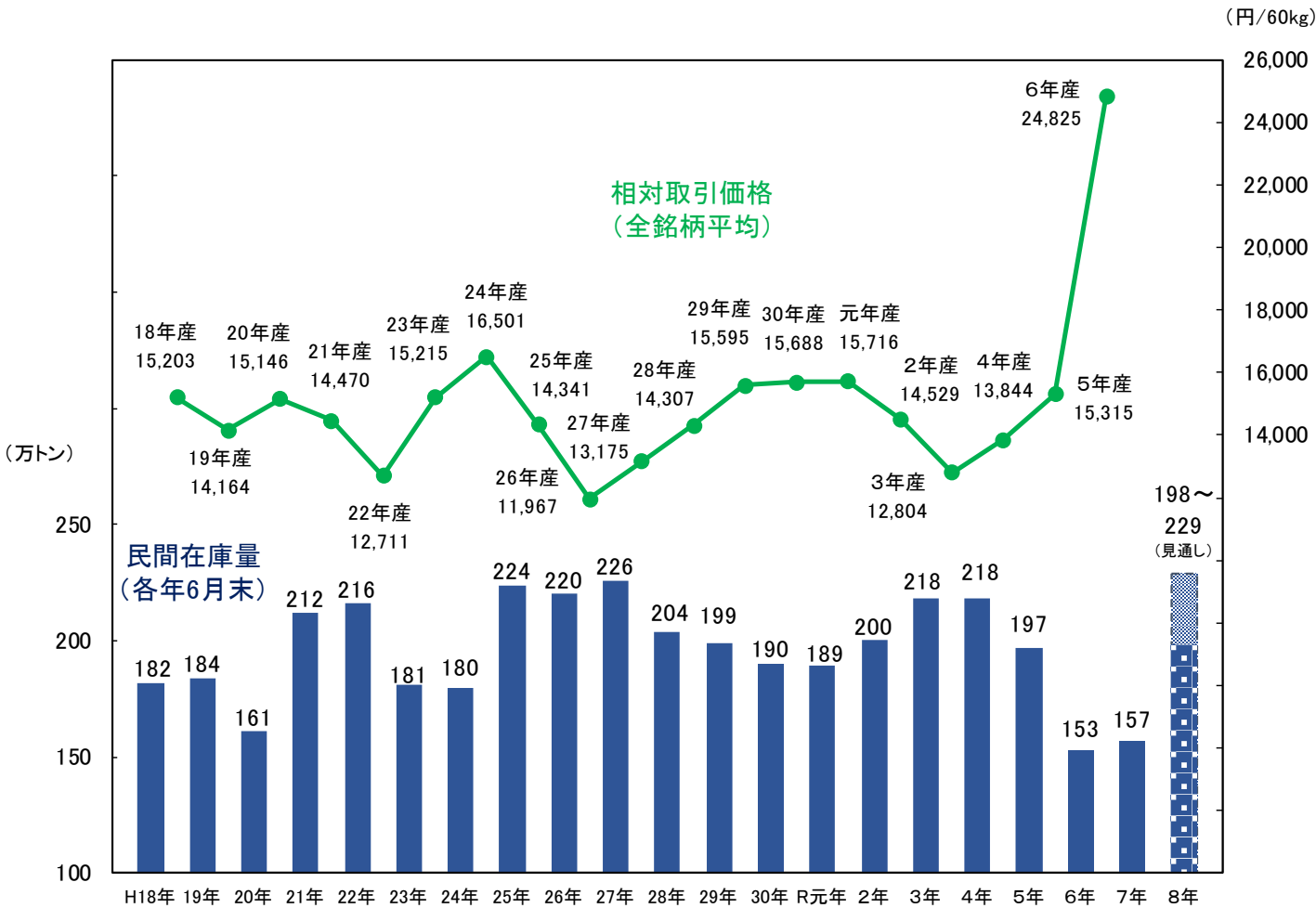
【令和7/8年の主食用米等の需給見通し】 (万トン(精米)) (万トン(玄米))

令和7/8年	令和7年6月末 民間在庫量	O	140	157
	令和7年産 主食用米等生産量	P	645~668	728~745
	政府備蓄米供給数量	Q	21	24
	令和7/8年 主食用米等供給量計	R= O+P+Q	807~829	908~926
	令和7/8年 主食用米等需要量	S	624~631	697~711
	令和8年6月末 民間在庫量	T= R-S	176~205	198~229

注1: ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。
注2: 上記の見通しは、国内で生産された主食用米等の需給見通しであり、SBS方式や枠外の民間輸入(令和6/7年: 約4万実トン)による輸入米は含まれない(財務省「貿易統計」より)。

- 相対取引価格と民間在庫量の推移を見ると、民間在庫量が増加すると相対取引価格は下落する（民間在庫量が減少すると相対取引価格は上昇する）傾向が見られます。
- 令和8年6月末民間在庫量は、令和4年以来の198～229万トンの見込みです。
作柄や需給動向によっては、近年最も高かった平成27年の226万トンに匹敵する水準となる可能性もあります。

■ 相対取引価格と民間在庫量の推移



注：相対取引価格は、当該年産の出回りから翌年10月まで（令和6年産は7年8月の速報値）の通年平均価格であり、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

(1) 令和7/8年の主食用米等の需要見通しの算出（見直し）【精米ベースで算出】

- 1人当たり消費量は、直近5年ではマイナス・トレンドとなっておらず、直近の需要の動向を反映するため、直近5年の平均値と最大値の幅を持って設定。
- その上で、人口推計やインバウンド需要を考慮して、需要見通しを幅を持って設定。

■ 令和7/8年の主食用米等の需要見通しの算出方法

I 1人当たり消費量（精米ベース）の算出

- ① 直近5年（令和2/3年～6/7年）の需要実績（精米ベース）から当該年のインバウンド需要を減じた上で、当該年の人口で除し、各年の1人当たり消費量（精米ベース）を算出

※需要実績にはインバウンド需要が含まれているため、これを減じた上で、人口で除し、日本在住者の1人当たり消費量を算定

$$（ 需要実績 - インバウンド需要 ） \div 人口 = 1人当たり消費量$$

- ② ①で算出した直近5年の1人当たり消費量の平均値と最大値の幅をもって設定

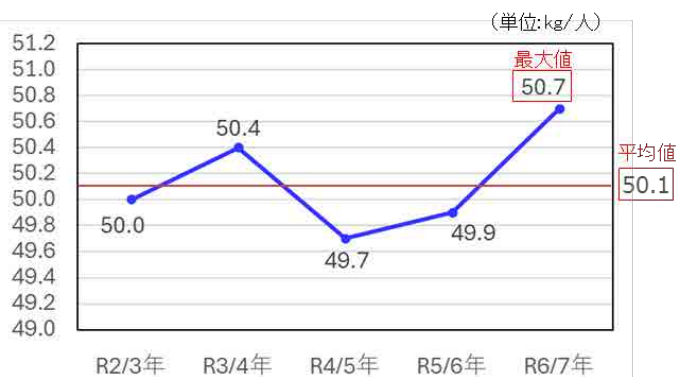
II 需要見通し（精米・玄米ベース）の算出

- ① Iの②で算出した「平均値」と「最大値」について、令和7年の人口（推計値）を乗じた上で、令和7/8年のインバウンド需要（試算）を加え、需要見通しを算定

$$（ 1人当たり消費量 \times 人口推計 ） + インバウンド需要（試算） = 需要見通し$$

- ② ①で算出した精米ベースの需要量見通しについて、精米歩留りの直近5年の実績ベースの幅（直近5年平均値、直近5年最低値）をもって玄米換算

（参考1）1人当たり消費量（精米ベース）の推移



（参考2）訪日外国人による米の需要量の推移

(単位: 万ト)

	R2/3	R3/4	R4/5	R5/6	R6/7	R7/8 (推計値)
	0.0	0.1	1.9	5.1	5.7	6.1

（参考3）精米歩留りの推移

(単位: %)

	2年産	3年産	4年産	5年産	6年産	5年平均
	89.7	90.3	90.0	88.6	89.2	89.6

(2) 令和7/8年の主食用米等の需要見通しの算出

○ 需要見通しの算出のポイントは、以下のとおりです。

- ① 1人当たり消費量：マイナストrend⇒直近5年の実績ベースを幅で設定
- ② インバウンド需要：新たに需要量に盛り込む
- ③ 精米歩留まり：直近5年の実績ベースを「幅」で設定

■ 令和7/8年の主食用米等の需要見通しの算出方法

I 1人当たり消費量（精米ベース）

①直近5年平均値

直近5年平均
需要実績

直近5年平均
インバウンド需要量
(試算)

直近5年平均人口

直近5年平均
一人当たり消費量
(インバウンド需要除く)

$$\left(\begin{array}{|c|} \hline 629\text{万トン} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline 2.6\text{万トン} \\ \hline \end{array} \right) \div 124,950\text{千人} = 50.1\text{kg/人}$$

②直近5年の最大値（令和6/7年）

令和6/7年
需要実績

令和6/7年
インバウンド需要量
(試算)

令和6年人口

令和6/7年
一人当たり消費量
(インバウンド需要除く)

$$\left(\begin{array}{|c|} \hline 633\text{万トン} \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline 5.7\text{万トン} \\ \hline \end{array} \right) \div 123,802\text{千人} = 50.7\text{kg/人}$$

II 令和7/8年需要量（玄米ベース）

一人当たり消費量
(インバウンド需要除く)

令和7年人口
(推計値)

令和7/8年需要量
(インバウンド需要除く)

令和7/8年
インバウンド需要量(試算)

令和7/8年需要量
【精米ベース】

令和7/8年需要量
【玄米ベース】

玄米
換算

玄米
換算

$$\begin{array}{l} 50.1\text{kg/人} \times 123,220\text{千人} = 617.9\text{万トン} + 6.1\text{万トン} = 624.0\text{万トン} \\ 50.7\text{kg/人} \times 123,220\text{千人} = 624.5\text{万トン} + 6.1\text{万トン} = 630.6\text{万トン} \end{array}$$

624.0万トン × 0.896 = 697.2万トン

630.6万トン × 0.886 = 710.9万トン

(参考1) 一人当たり消費量（精米）の推移

	需要実績 (万トン)		インバウンド 需要 (万精米トン) ②	人口 (千人) ③	1人当たり 消費量 (精米kg) (①-②)÷③
	玄米	精米 ①			
R2/3年	704.0	631.3	0.0	126,146	50.0
R3/4年	701.5	632.8	0.1	125,502	50.4
R4/5年	691.1	622.3	1.9	124,947	49.7
R5/6年	704.9	626.2	5.1	124,352	49.9
R6/7年	710.6	633.1	5.7	123,802	50.7
5年平均	702.4	629.1	2.6	124,950	50.1

(参考2) 精米歩留りの推移

(単位: %)

2年産	3年産	4年産	5年産	6年産	5年平均
89.7	90.3	90.0	88.6	89.2	89.6

(3) 令和7/8年の主食用米の生産見通しの算出（試算）【精米ベースで算出】

■ 令和7/8年の主食用米等の生産見通しの算出方法

I 水田における作付意向（令和7年6月末時点）

各県の令和7年6月末時点の主食用米の作付意向面積 ： 全国計136.3万ha

II 令和7年産水稻の8月15日現在における10a当たり収量の前年比見込み

7年産水稻の10a当たり収量の前年比見込み		都道府県数
上回る	(対前年比 106%以上)	1
やや上回る	(対前年比 105%～102%)	12
前年並み	(対前年比 101%～ 99%)	29
やや下回る	(対前年比 98%～ 95%)	4
下回る	(対前年比 94%以下)	0

III 令和7年産主食用米の生産見通し

令和7年産主食用米の生産見通しは、

① 各県ごとに、Iの主食用米作付意向（6月末時点）面積（ha）に前年（6年産）の10a当たり収量及びIIの令和7年産水稻の8月15日現在における10a当たり収量の前年比見込み（上限値及び下限値）を乗じて生産見通しを算出

7年産
主食用米生産見通し

=

7年産
主食用米作付意向面積

×

6年産
10a当たり収量

×

7年産
10a当たり収量の
前年比見込み
(上限値、下限値)

② ①の各県別の生産見通しを合計した全国計の最大・最小値を幅をもって設定した上で、精米歩留りの直近5年平均値と最低値を用いて、幅をもって精米ベースの生産量を設定。

精米ベース： 645 ～ 668万トン

歩留り0.886⇕⇕歩留り0.896（※）

玄米ベース： 728 ～ 745万トン

※ 本年10月中旬公表予定の作物統計調査（9/25現在の予想収穫量）が公表された以降は、当該数値に置き換え（ふるい目幅1.7mm以上（参考値）に加え、農家ふるい目以上での収穫量も付記）

(4) 令和7/8年の備蓄運営

- 備蓄量については、現在行っている主食用としての備蓄米の売渡予定数量（59万トン）及び加工原材料用としての備蓄米の売渡予定数量（7.5万トン）を全て売り渡した場合、29.5万トンとなります。
- 備蓄米としての買入れについては、今後、需給環境が大きく変化し、買入れ又は買戻しの環境が整った場合には、備蓄水準の回復に向けて計画的に行うこととします。

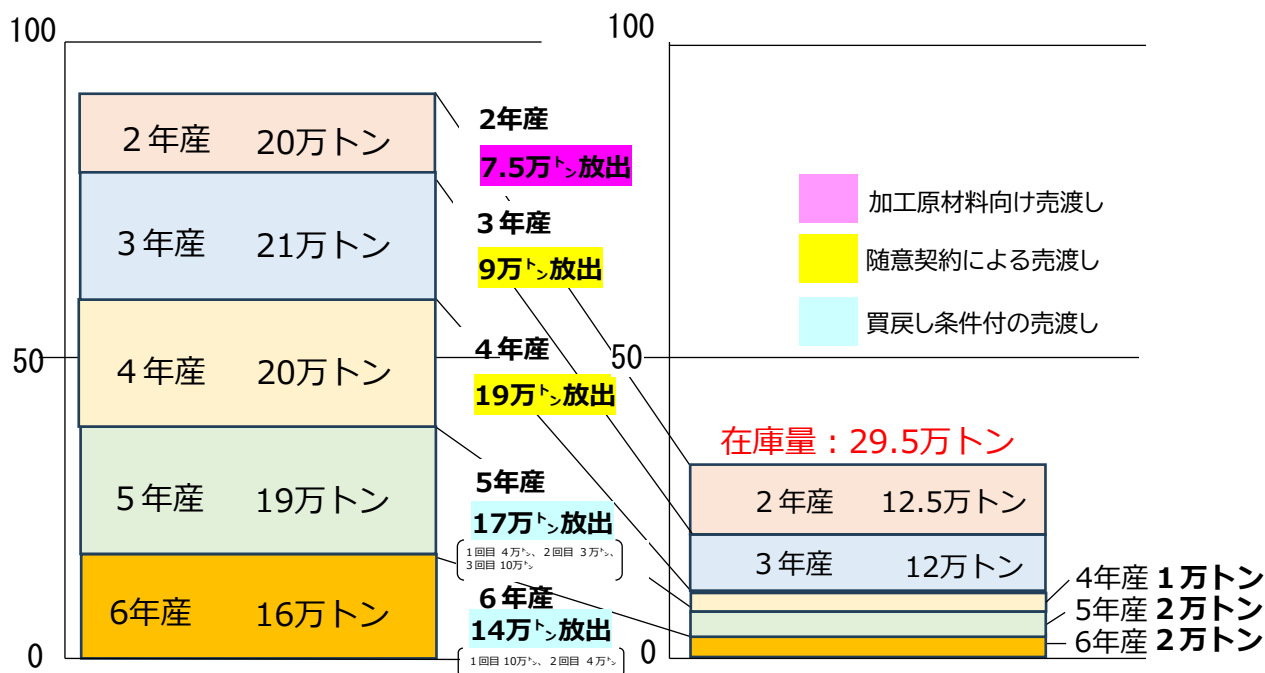
■ 政府備蓄米の在庫状況

売渡し前の在庫状況(7年3月末)
96万トン

令和7年6月末在庫91万トンに向けて、令和2年産を配合飼料向けに6月末までに5万トンを販売する予定であったが、販売を凍結

現在の枠が全て販売された後の在庫見込み
29.5万トン

入札による政府備蓄米販売分31万トン
随意契約による政府備蓄米販売分28万トン
(契約数量ベース)
加工原材料向け政府備蓄米販売分7.5万トンを売り渡すと在庫数量は29.5万トン程度となる見通し



本指針に係るその他参考資料は、食料・農業・農村政策審議会 食糧部会（令和7年9月16日開催）の配布資料をご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/syokuryo/index.html>

令和7年産水稻の8月15日現在における 10a当たり収量の前年比見込み

令和7年産主食用米の生産見込み（対前年56万玄米トン増）に向け、
おおむね順調に推移

ー 10a当たり収量は、前年を「上回る」又は「やや上回る」が13府県、
「前年並み」が29都道府県、「やや下回る」が4県の見込み ー



■ 予測結果の概要

○気象データ（降水量、気温、日照時間、風速等）及び人工衛星データ（降水量、地表面温度、日射量、植生指数等）から作成される予測式に基づき予測した。

○令和7年産水稻の10a当たり収量の前年比見込みは、「上回る」又は「やや上回る」が13府県、「前年並み」が29都道府県、「やや下回る」が4県となった。

○本年の状況は、7月以降の高温、渇水の影響による枯れ上がり等が一部地域で見られるものの、田植期（5月）以降、総じて多照で推移しており、8月15日現在における生産はおおむね良好な見込み。

○なお、8月15日以降も全国的に高温傾向が引き続くこと及び斑点米カメムシ類（イネカメムシを含む）の発生が多くなることが予想されており、品質等への影響に留意する必要。

表1 10a当たり収量の前年比見込み（区分ごとの都道府県数）

10a当たり収量の前年比見込み	都道府県数
上回る（対前年比106%以上）	1
やや上回る（対前年比105%～102%）	12
前年並み（対前年比101%～99%）	29
やや下回る（対前年比98%～95%）	4
下回る（対前年比94%以下）	0

○徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県は早期栽培を含まない普通栽培のみの10a当たり収量の前年比見込みである。

○沖縄県については、第二期稲の田植えが終了していないことから含んでいない。

○10a当たり収量の前年比見込み（8月15日現在）は、その後の気象が、前年と同様に推移するとの前提ではなく、平年並みに推移するものとして予測を行ったものであることに留意が必要である。

○10a当たり収量の前年比見込みは、気象データ及び人工衛星データを説明変数、10a当たり収量を目的変数として予測式（重回帰式）を作成し、予測したものである。なお、10a当たり予想収量は、未確定の要素が多いことから公表することとしない。

表2 令和7年産水稻 10a当たり収量の前年比見込み（8月 15 日現在）

区 分	10a当たり収量 の前年比見込み	区 分	10a当たり収量 の前年比見込み
北 海 道	前年並み	三 重	やや上回る
青 森	前年並み	滋 賀	前年並み
岩 手	やや下回る	京 都	前年並み
宮 城	やや下回る	大 阪	やや上回る
秋 田	やや下回る	兵 庫	やや上回る
山 形	やや上回る	奈 良	前年並み
福 島	前年並み	和 歌 山	前年並み
茨 城	前年並み	鳥 取	前年並み
栃 木	前年並み	島 根	前年並み
群 馬	前年並み	岡 山	前年並み
埼 玉	やや上回る	広 島	前年並み
千 葉	やや下回る	山 口	前年並み
東 京	前年並み	徳 島（普通栽培）	前年並み
神 奈 川	やや上回る	香 川	前年並み
新 潟	前年並み	愛 媛	前年並み
富 山	前年並み	高 知（普通栽培）	やや上回る
石 川	やや上回る	福 岡	やや上回る
福 井	前年並み	佐 賀	やや上回る
山 梨	やや上回る	長 崎	前年並み
長 野	前年並み	熊 本	前年並み
岐 阜	前年並み	大 分	前年並み
静 岡	上回る	宮 崎（普通栽培）	前年並み
愛 知	前年並み	鹿 児 島（普通栽培）	やや上回る



本資料「令和7年産水稻の8月15日現在における10a当たり収量の前年比見込み」は、農林水産省ホームページ「統計情報」からご覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y2

令和8年度農林水産予算概算要求の概要

－ 米の需要に応じた増産実現予算 －

新たな食料・農業・農村基本計画や現下の米をめぐる情勢を踏まえ、農業構造転換集中対策を着実に実施しつつ、食料安全保障の強化、農業の持続的な発展、農村の振興、環境と調和のとれた食料システムの確立等に向けた農林水産政策を推進し、農林水産業の持続可能な成長を実現するための予算を要求しています。

○ 生産者自らの判断による需要に応じた生産 － 需給のひっ迫への的確な対応 －

安心の基盤の再構築、生産意欲を支える政策強化、
中山間地域等の安心の実現

01 食料安全保障の強化

食料の安定供給の確保に向けた構造転換、生産資材の確保・安定供給、合理的な価格の形成、円滑な食品アクセスの確保、農産物・食品の輸出の促進、国民理解の醸成・行動変容、食品産業（食品製造業、
外食産業、食品関連流通業）の持続的な発展

02 農業の持続的な発展

地域計画を核とした施策の構築、生産性の向上に資するスマート農業の実用化・研究開発等の推進、農業生産基盤の整備・保全、経営安定対策の充実、家畜伝染病・病害虫等への対応強化

03 農村の振興

農村関係人口の拡大、経済面・生活面の取組等による農村の振興、鳥獣被害防止対策等



04 環境と調和のとれた食料システムの確立

環境保全に資する農業生産活動支援、みどりの食料システム戦略に基づく取組の加速化、気候変動への適応の取組推進 等

05 多面的機能の発揮

農業の多面的機能の発揮の促進を図るため、共同活動、中山間地域等における農業生産活動、環境保全に資する農業生産活動を支援

06 2050年ネット・ゼロ等に貢献する「森の国・木の街」の実現に向けた森林資源循環利用施策の総合的な展開

森林集約・循環成長対策、木材等の付加価値向上・需要拡大対策など森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策、森林整備事業・治山事業の推進 等

07 海洋環境の激変に適応するための水産業の強靱化

環境激変に適応するための大胆な変革の推進、未来の漁業を担う経営体・人の確保、豊かで魅力ある浜づくり、増大するリスクも踏まえた養殖業等における対応、水産基盤の整備、漁港機能の再編・集約化と強靱化の推進



このページでは、農林水産省ウェブサイト「令和8年度農林水産予算概算要求の概要」の一部を紹介しています。詳細につきましては、以下のページをご覧ください。

令和8年度農林水産予算概算要求の概要

<https://www.maff.go.jp/j/budget/r8yokyu.html>

1 米の民間在庫情報

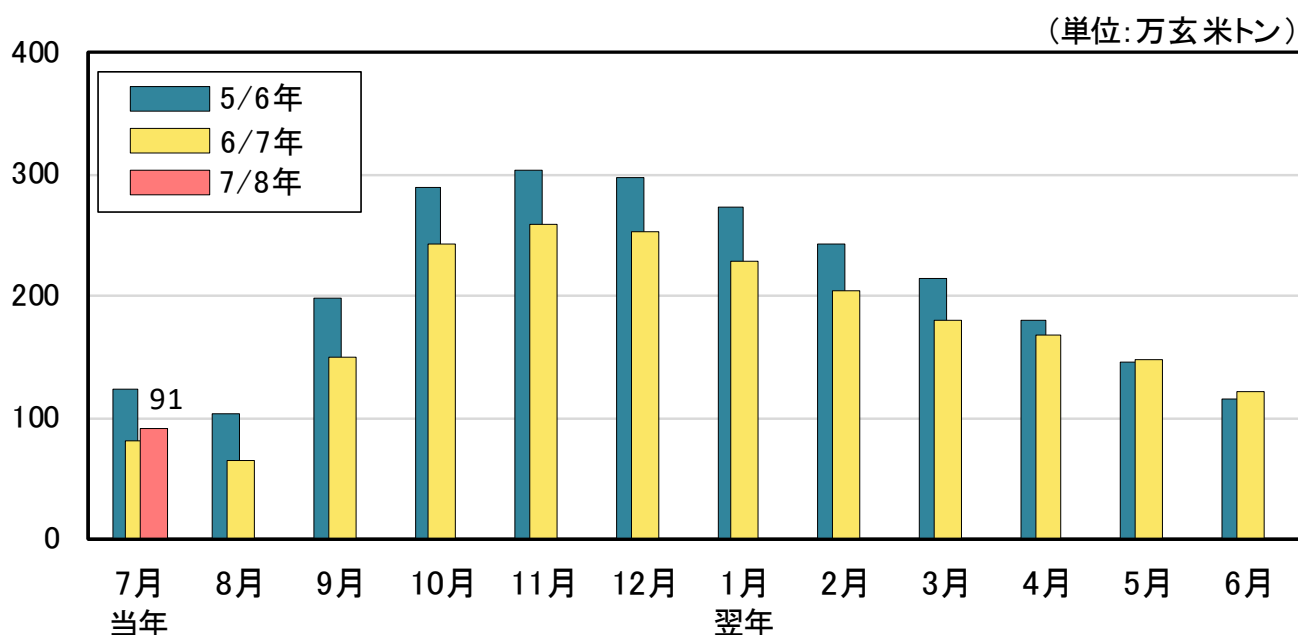
1 民間在庫の推移

(1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）

民間在庫の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。
【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

- 令和7年7月末の出荷及び販売段階における民間在庫は、対前年同月差＋9万玄米トンの91万玄米トンとなっている。また、流通段階別でみると出荷段階で対前年同月差＋1万玄米トンの59万玄米トン、販売段階で＋8万玄米トンの32万玄米トンとなっている。

※ 出荷・販売段階別の在庫量は、「在庫-3、4」を参照。



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

4 期間については、7/8年であれば、令和7年7月～8年6月である。

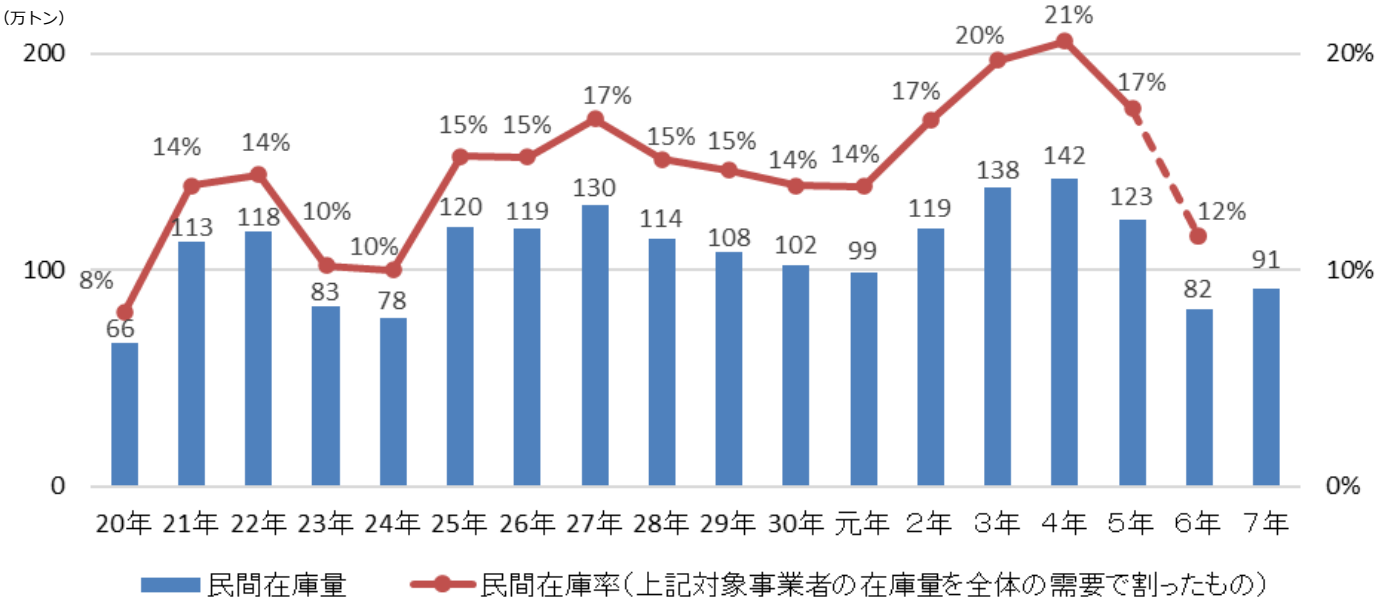
5 令和7年3月以降には、売り渡した政府備蓄米（入札及び随意契約による売渡し分）の数量（令和7年7月末時点で5.3万トン）を含む

【令和7年7月末民間在庫量のポイント】

- 毎月公表している民間在庫量は、①500玄米トン以上の集荷業者、②4,000玄米トン以上の卸売業者が対象。およそ民間の流通在庫全体の77%をカバー(下記参考参照)。
- 令和7年7月末の民間在庫量は、91万玄米トンで前年同月に比べ9万玄米トン増加。(うち売り渡した政府備蓄米の数量は5.3万トン)
- 売り渡した政府備蓄米を除いた在庫量は、86万玄米トンで前年同月に比べ4万トン増加。

※ 在庫率は上記対象事業者の在庫量を全体の需要で割ったもの。

7月末民間在庫量・在庫率



※22年以前は、政府備蓄米の運営を回転備蓄方式で実施していたため、政府備蓄米がこの他に主食用米として販売されている。
※令和6年の在庫率は、令和7年7月時点でわかっている値をもとに計算した711万玄米トンを需要量として算出したもの。
※令和7年は、売り渡した政府備蓄米（入札及び随意契約による売渡し分）の数量（5.3万玄米トン：うち出荷段階2.5万玄米トン、販売段階2.7万玄米トン）を含む。

○ 出荷・販売段階別の民間在庫量

	6年7月末	7年7月末
出荷段階	58	59
対前年差	▲ 38	+1
販売段階	25	32
対前年差	▲ 3	+8
合 計	82	91
対前年差	▲ 40	+9
うち備蓄米	-	5
うち備蓄米以外	82	86
対前年産	▲ 40	+4

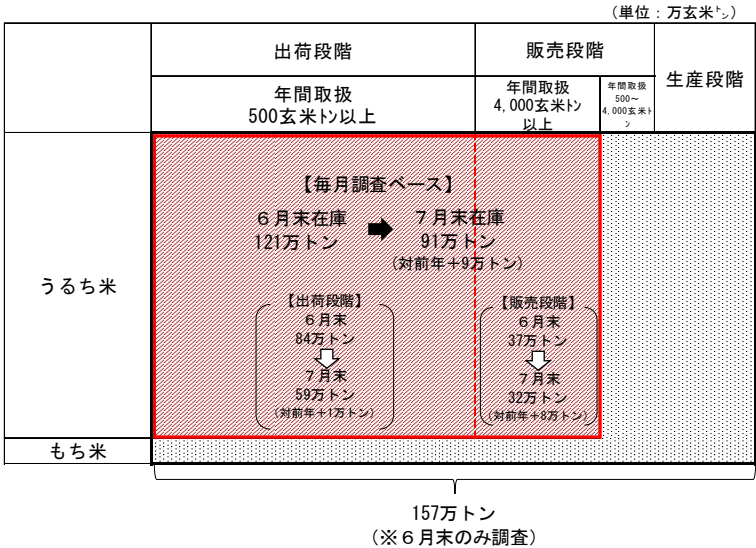
※出荷段階は玄米仕入数量が500ト以上の集荷業者等
販売段階は玄米仕入数量が4,000ト以上の卸売業者等

○ 集荷業者の集荷数量

	集荷数量	前年比
7年7月末	243.2	95%
6年7月末	257.3	95%
対前年差	▲ 14.1	-

※集荷数量は販売数量が5,000ト以上の集荷業者等
※7年7月末には、売り渡した政府備蓄米の販売数量等の報告結果（7月分までの確報）の数量14.0玄米万トンを含む。

(参考) 毎月公表している民間在庫量の調査対象の範囲



【全国段階の民間在庫の推移(うるち米)】

【出荷＋販売段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
元/2年	99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
対前年差	▲3	▲9	+10	+6	+10	+17	+13	+7	+6	+11	+16	+23
元 年 産 米	0	10	115	255	283	294	276	250	221	193	169	146
1 年 古 米 (30 年 産)	95	66	43	34	25	16	12	9	7	5	4	3
2/3年	119	101	190	324	344	342	321	293	265	230	199	173
対前年差	+20	+21	+29	+30	+29	+24	+26	+27	+31	+27	+21	+19
2 年 産 米	0	12	124	266	297	304	291	269	245	214	185	162
1 年 古 米 (元 年 産)	112	84	61	51	40	31	23	17	13	11	9	7
3/4年	138	118	214	330	351	349	326	299	270	238	204	172
対前年差	+19	+17	+24	+6	+6	+7	+5	+6	+6	+7	+5	▲1
3 年 産 米	0	11	129	253	285	293	278	258	236	208	179	149
1 年 古 米 (2 年 産)	129	99	77	68	57	47	39	33	28	23	19	17
4/5年	142	122	199	313	330	328	306	280	251	219	186	153
対前年差	+4	+4	▲15	▲18	▲21	▲21	▲20	▲19	▲20	▲18	▲19	▲18
4 年 産 米	1	12	112	236	263	273	259	240	217	191	163	134
1 年 古 米 (3 年 産)	124	94	71	59	49	40	33	26	21	17	14	11
5/6年	123	104	199	289	303	298	274	244	214	180	145	115
対前年差	▲20	▲18	±0	▲23	▲26	▲31	▲32	▲36	▲37	▲39	▲40	▲38
5 年 産 米	1	14	131	232	254	260	245	221	195	165	133	105
1 年 古 米 (4 年 産)	106	78	56	46	36	27	21	15	13	10	7	5
6/7年	82	65	149	244	259	253	229	205	180	168	148	121
対前年差	▲40	▲39	▲51	▲45	▲44	▲45	▲45	▲39	▲35	▲12	+3	+6
6 年 産 米	1	13	112	213	234	234	215	193	170	155	128	106
1 年 古 米 (5 年 産)	74	47	31	23	18	11	7	5	4	9	15	11
7/8年	91											
対前年差	+9											
7 年 産 米	0											
1 年 古 米 (6 年 産)	82											

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稻うるちもみ及び水稻うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
4 期間については、7/8年であれば、令和7年7月～8年6月である。
5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。
6 令和7年3月以降には、売り渡した政府備蓄米（入札及び随意契約による売渡し分）の数量（令和7年7月末時点で5.3万トン）を含む（下表を参照）。

(参考)売り渡した政府備蓄米の民間在庫

(単位:万玄米トン)

	7年 3月	4月	5月	6月	7月
出荷＋販売段階	0.2	16.4	19.7	11.9	5.3
6 年 産 米	0.1	11.2	6.9	3.3	1.3
5 年 産 米	0.1	5.3	12.8	8.3	3.8
出荷段階	0.0	14.5	16.4	7.8	2.5
6 年 産 米	0.0	9.8	4.8	1.5	0.2
5 年 産 米	0.0	4.6	11.6	6.3	2.4
販売段階	0.2	2	3.3	4.1	2.7
6 年 産 米	0.1	1.3	2.2	1.8	1.1
5 年 産 米	0.1	0.6	1.2	2.1	1.4

【出荷段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
元/2年	74	55	128	238	257	261	244	219	184	157	138	109
対前年差	▲2	▲8	+8	+2	+5	+13	+9	+4	+1	+7	+11	+8
元 年 産 米	0	7	99	222	246	254	238	214	181	155	136	108
1 年 古 米 (30 年 産)	73	47	28	14	9	6	4	3	2	2	1	1
2/3年	84	70	151	265	285	284	269	245	217	186	162	132
対前年差	+10	+15	+23	+27	+27	+22	+26	+27	+33	+29	+24	+23
2 年 産 米	0	9	108	236	263	268	258	237	211	182	158	129
1 年 古 米 (元 年 産)	82	60	42	28	20	14	10	7	5	4	3	3
3/4年	106	90	178	277	298	296	279	256	226	196	169	139
対前年差	+22	+20	+27	+12	+13	+12	+10	+11	+9	+10	+7	+7
3 年 産 米	0	8	115	227	255	261	249	231	206	179	154	126
1 年 古 米 (2 年 産)	103	80	61	47	40	33	28	24	19	16	14	13
4/5年	116	98	166	262	277	276	259	236	204	176	149	121
対前年差	+10	+8	▲12	▲15	▲21	▲20	▲20	▲20	▲22	▲20	▲20	▲18
4 年 産 米	0	9	97	208	231	239	228	210	185	160	136	110
1 年 古 米 (3 年 産)	103	78	58	44	36	29	24	19	14	11	9	7
5/6年	95	78	161	235	249	246	228	202	171	139	112	84
対前年差	▲21	▲20	▲5	▲27	▲28	▲31	▲31	▲34	▲33	▲36	▲38	▲37
5 年 産 米	0	10	113	200	220	225	212	190	163	134	108	81
1 年 古 米 (4 年 産)	86	61	42	30	24	17	13	10	6	4	3	2
6/7年	58	44	113	187	200	196	179	159	135	125	109	84
対前年差	▲38	▲34	▲49	▲49	▲49	▲49	▲49	▲43	▲36	▲14	▲3	±0
6 年 産 米	0	9	90	172	189	190	175	156	132	119	95	76
1 年 古 米 (5 年 産)	55	34	21	12	8	5	3	2	2	6	13	7
7/8年	59											
対前年差	+1											
7 年 産 米	0											
1 年 古 米 (6 年 産)	56											

※本表の注意点は前頁の出荷＋販売段階の脚注を参照

【販売段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
元/2年	26	24	33	56	58	57	51	47	49	46	40	45
対前年差	±0	▲1	+2	+3	+4	+4	+4	+4	+5	+4	+5	+14
元 年 産 米	0	3	16	32	37	40	38	36	40	38	33	38
1 年 古 米 (30 年 産)	22	18	15	20	15	10	8	6	5	4	3	2
2/3年	35	31	39	59	60	58	52	48	48	44	37	41
対前年差	+10	+7	+6	+3	+2	+1	+1	+1	▲2	▲2	▲3	▲4
2 年 産 米	0	3	15	30	34	36	33	32	34	33	27	33
1 年 古 米 (元 年 産)	30	24	19	23	20	16	13	10	9	7	6	4
3/4年	32	28	36	53	53	53	46	43	44	42	35	32
対前年差	▲3	▲2	▲3	▲5	▲7	▲5	▲6	▲4	▲3	▲2	▲2	▲8
3 年 産 米	0	3	14	26	30	32	29	28	30	30	25	24
1 年 古 米 (2 年 産)	25	20	16	20	16	14	11	9	9	7	5	4
4/5年	26	25	33	50	52	52	47	44	46	43	36	33
対前年差	▲6	▲4	▲3	▲3	▲1	▲1	+1	+1	+2	+2	+1	±0
4 年 産 米	0	3	15	28	32	34	31					

(2) 産地別民間在庫の状況（速報）

	6年 6月 ① (千玄米トン)	6年 7月 ② (千玄米トン)	7年 6月 ③ (千玄米トン)	対前年 同月差 ④=③-① (千玄米トン)	対前年 同月比 ⑤=③/① (%)	7年 7月 ⑥ (千玄米トン)	対前月差 ⑦=⑥-③ (千玄米トン)	対前年 同月差 ⑧=⑥-② (千玄米トン)	対前年 同月比 ⑨=⑥/② (%)
北海道	113.2	80.4	133.7	+ 20.5	+ 18.1%	102.6	▲ 31.1	+ 22.2	+ 27.6%
青森	52.6	38.1	81.4	+ 28.8	+ 54.7%	57.8	▲ 23.5	+ 19.7	+ 51.7%
岩手	63.4	47.0	49.2	▲ 14.2	▲ 22.4%	38.7	▲ 10.5	▲ 8.3	▲ 17.6%
宮城	76.4	56.2	83.1	+ 6.7	+ 8.8%	63.9	▲ 19.2	+ 7.7	+ 13.7%
秋田	72.2	44.1	98.6	+ 26.3	+ 36.5%	62.7	▲ 35.9	+ 18.6	+ 42.2%
山形	76.6	57.2	98.3	+ 21.7	+ 28.4%	75.7	▲ 22.6	+ 18.5	+ 32.3%
福島	79.2	58.9	95.0	+ 15.8	+ 20.0%	67.6	▲ 27.4	+ 8.6	+ 14.6%
茨城	41.3	27.0	30.4	▲ 10.9	▲ 26.4%	22.8	▲ 7.7	▲ 4.2	▲ 15.7%
栃木	72.6	55.6	55.8	▲ 16.8	▲ 23.2%	41.3	▲ 14.5	▲ 14.3	▲ 25.7%
群馬	8.8	6.6	8.8	▲ 0.1	▲ 0.7%	7.7	▲ 1.1	+ 1.1	+ 16.4%
埼玉	10.4	7.2	6.1	▲ 4.2	▲ 40.9%	5.3	▲ 0.9	▲ 1.9	▲ 27.0%
千葉	14.7	8.4	16.1	+ 1.4	+ 9.5%	11.1	▲ 5.0	+ 2.7	+ 31.9%
東京	0.0	0.0	0.0	+ 0.0	-	0.0	0.0	+ 0.0	-
神奈川	0.8	0.7	0.4	▲ 0.4	▲ 52.4%	0.3	▲ 0.1	▲ 0.4	▲ 52.6%
山梨	2.2	1.9	1.5	▲ 0.7	▲ 30.4%	1.4	▲ 0.2	▲ 0.5	▲ 25.9%
長野	33.1	25.3	26.0	▲ 7.0	▲ 21.3%	21.3	▲ 4.7	▲ 3.9	▲ 15.6%
静岡	4.7	3.1	5.6	+ 0.9	+ 18.9%	4.5	▲ 1.1	+ 1.4	+ 44.3%
新潟	96.3	68.8	104.8	+ 8.6	+ 8.9%	74.8	▲ 30.1	+ 5.9	+ 8.6%
富山	32.3	22.9	37.0	+ 4.7	+ 14.6%	28.3	▲ 8.7	+ 5.4	+ 23.5%
石川	26.1	18.2	23.3	▲ 2.8	▲ 10.8%	16.3	▲ 7.0	▲ 1.9	▲ 10.5%
福井	15.5	10.2	22.2	+ 6.8	+ 43.7%	16.0	▲ 6.2	+ 5.7	+ 56.1%
岐阜	11.6	8.0	9.5	▲ 2.1	▲ 18.1%	7.8	▲ 1.7	▲ 0.2	▲ 2.6%
愛知	11.7	8.8	10.4	▲ 1.4	▲ 11.8%	8.6	▲ 1.8	▲ 0.2	▲ 2.8%
三重	8.7	5.2	8.7	▲ 0.1	▲ 0.8%	6.5	▲ 2.2	+ 1.3	+ 24.7%
滋賀	16.2	9.5	14.2	▲ 2.0	▲ 12.2%	10.6	▲ 3.6	+ 1.0	+ 10.9%
京都	2.6	1.9	3.4	+ 0.7	+ 27.0%	2.8	▲ 0.5	+ 0.9	+ 49.1%
大阪	0.5	0.3	0.2	▲ 0.3	▲ 66.8%	0.1	0.0	▲ 0.2	▲ 62.5%
兵庫	20.1	15.9	13.6	▲ 6.6	▲ 32.5%	11.9	▲ 1.7	▲ 4.0	▲ 25.0%
奈良	3.9	2.7	2.0	▲ 1.9	▲ 48.7%	1.5	▲ 0.5	▲ 1.2	▲ 43.7%
和歌山	0.8	0.5	0.5	▲ 0.3	▲ 34.9%	0.4	▲ 0.1	▲ 0.1	▲ 16.8%
鳥取	10.5	6.6	12.8	+ 2.3	+ 21.9%	9.9	▲ 2.9	+ 3.3	+ 49.6%
島根	9.0	5.9	8.7	▲ 0.3	▲ 3.7%	7.0	▲ 1.7	+ 1.0	+ 17.7%
岡山	18.4	14.0	22.5	+ 4.1	+ 22.3%	19.1	▲ 3.3	+ 5.1	+ 36.5%
広島	11.6	8.2	10.0	▲ 1.6	▲ 13.8%	8.0	▲ 2.0	▲ 0.2	▲ 2.5%
山口	12.3	8.4	10.8	▲ 1.5	▲ 12.0%	8.8	▲ 2.0	+ 0.4	+ 4.4%
徳島	1.4	0.8	2.0	+ 0.6	+ 44.2%	1.5	▲ 0.5	+ 0.7	+ 82.5%
香川	4.7	2.7	4.6	▲ 0.1	▲ 1.7%	3.6	▲ 0.9	+ 0.9	+ 33.3%
愛媛	5.8	3.8	2.4	▲ 3.4	▲ 59.4%	1.9	▲ 0.4	▲ 1.8	▲ 48.6%
高知	2.9	2.5	1.7	▲ 1.2	▲ 40.6%	1.8	0.1	▲ 0.7	▲ 27.7%
福岡	23.9	15.4	15.9	▲ 8.0	▲ 33.4%	12.5	▲ 3.4	▲ 2.8	▲ 18.5%
佐賀	13.2	10.2	10.4	▲ 2.8	▲ 21.4%	8.4	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 17.0%
長崎	3.4	2.4	3.1	▲ 0.3	▲ 9.3%	2.7	▲ 0.4	+ 0.3	+ 11.9%
熊本	16.5	10.2	13.2	▲ 3.3	▲ 20.0%	10.0	▲ 3.2	▲ 0.2	▲ 1.5%
大分	6.0	4.1	4.9	▲ 1.1	▲ 17.6%	3.8	▲ 1.1	▲ 0.3	▲ 7.9%
宮崎	1.7	4.8	1.8	+ 0.0	+ 1.5%	2.9	1.2		

(3) 令和6・7年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

（北海道から秋田）

（単位：千玄米トン）

		7年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	8年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
北海道	出荷＋販売段階	102.6											
	7年産米												
	1年古米（6年産）	99.1											
	出荷段階	70.1											
	7年産米												
	1年古米（6年産）	68.4											
	販売段階	32.5											
	7年産米												
	1年古米（6年産）	30.7											
青森	出荷＋販売段階	57.8											
	7年産米												
	1年古米（6年産）	47.2											
	出荷段階	35.4											
	7年産米												
	1年古米（6年産）	28.3											
	販売段階	22.5											
	7年産米												
	1年古米（6年産）	18.9											
岩手	出荷＋販売段階	38.7											
	7年産米												
	1年古米（6年産）	36.9											
	出荷段階	25.4											
	7年産米												
	1年古米（6年産）	24.8											
	販売段階	13.3											
	7年産米												
	1年古米（6年産）	12.1											
宮城	出荷＋販売段階	63.9											
	7年産米												
	1年古米（6年産）	61.9											
	出荷段階	49.4											
	7年産米												
	1年古米（6年産）	48.7											
	販売段階	14.5											
	7年産米												
	1年古米（6年産）	13.2											
秋田	出荷＋販売段階	62.7											
	7年産米												
	1年古米（6年産）	57.4											
	出荷段階	40.7											
	7年産米												
	1年古米（6年産）	37.6											
	販売段階	22.0											
	7年産米												
	1年古米（6年産）	19.8											

資料： 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注： 1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。
4 令和7年3月以降には、売り渡した政府備蓄米（入札及び随意契約による売渡し分）の数量（令和7年7月末時点で5.3万トン）を含む。

(山形から埼玉)

(単位:千玄米トン)

		7年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	8年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
山形	出荷＋販売段階	75.7											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	70.7											
	出荷段階	56.5											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	54.3											
	販売段階	19.3											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	16.5											
福島	出荷＋販売段階	67.6											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	60.2											
	出荷段階	38.5											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	34.6											
	販売段階	29.0											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	25.6											
茨城	出荷＋販売段階	22.8											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	21.9											
	出荷段階	8.1											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	8.0											
	販売段階	14.6											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	14.0											
栃木	出荷＋販売段階	41.3											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	39.7											
	出荷段階	24.2											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	23.3											
	販売段階	17.1											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	16.3											
群馬	出荷＋販売段階	7.7											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	7.5											
	出荷段階	6.1											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	6.1											
	販売段階	1.6											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	1.5											
埼玉	出荷＋販売段階	5.3											
	7年産米	0.0											
	1年古米(6年産)	5.1											
	出荷段階	2.3											
	7年産米	0.0											
	1年古米(6年産)	2.3											
	販売段階	2.9											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	2.8											

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

在庫-7

(千葉から静岡)

(単位:千玄米トン)

		7年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	8年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
千葉	出荷＋販売段階	11.1											
	7年産米	0.1											
	1年古米(6年産)	10.6											
	出荷段階	3.6											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	3.6											
	販売段階	7.5											
	7年産米	0.1											
	1年古米(6年産)	7.0											
東京	出荷＋販売段階	0.0											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	0.0											
	出荷段階												
	7年産米												
	1年古米(6年産)												
	販売段階	0.0											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	0.0											
神奈川	出荷＋販売段階	0.3											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	0.3											
	出荷段階	0.3											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	0.3											
	販売段階	0.0											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	0.0											
山梨	出荷＋販売段階	1.4											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	1.3											
	出荷段階	1.2											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	1.2											
	販売段階	0.2											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	0.1											
長野	出荷＋販売段階	21.3											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	20.9											
	出荷段階	16.7											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	16.7											
	販売段階	4.6											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	4.2											
静岡	出荷＋販売段階	4.5											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	4.4											
	出荷段階	1.6											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	1.6											
	販売段階	2.9											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	2.8											

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

(新潟から愛知)

(単位:千玄米トン)

		7年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	8年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟	出荷＋販売段階	74.8											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	69.0											
	出荷段階	55.7											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	52.0											
	販売段階	19.1											
	7年産米												
富山	出荷＋販売段階	28.3											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	26.6											
	出荷段階	19.9											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	19.5											
	販売段階	8.4											
	7年産米												
石川	出荷＋販売段階	16.3											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	13.7											
	出荷段階	9.6											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	8.2											
	販売段階	6.6											
	7年産米												
福井	出荷＋販売段階	16.0											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	14.0											
	出荷段階	9.8											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	8.3											
	販売段階	6.2											
	7年産米												
岐阜	出荷＋販売段階	7.8											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	7.4											
	出荷段階	5.1											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	5.1											
	販売段階	2.7											
	7年産米												
愛知	出荷＋販売段階	8.6											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	8.4											
	出荷段階	6.7											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	6.7											
	販売段階	1.9											
	7年産米												

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

(三重から奈良)

(単位:千玄米トン)

		7年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	8年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
三重	出荷＋販売段階	6.5											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	6.3											
	出荷段階	3.5											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	3.5											
	販売段階	3.0											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	2.8											
滋賀	出荷＋販売段階	10.6											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	10.1											
	出荷段階	7.1											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	7.1											
	販売段階	3.5											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	3.1											
京都	出荷＋販売段階	2.8											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	2.8											
	出荷段階	2.4											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	2.4											
	販売段階	0.4											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	0.4											
大阪	出荷＋販売段階	0.1											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	0.1											
	出荷段階	0.1											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	0.1											
	販売段階	0.0											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	0.0											
兵庫	出荷＋販売段階	11.9											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	11.4											
	出荷段階	10.1											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	9.8											
	販売段階	1.8											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	1.7											
奈良	出荷＋販売段階	1.5											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	1.5											
	出荷段階	0.7											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	0.7											
	販売段階	0.8											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	0.7											

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

(和歌山から山口)

(単位:千玄米トン)

		7年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	8年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
和歌山	出荷＋販売段階	0.4											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	0.4											
	出荷段階	0.3											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	0.3											
	販売段階	0.1											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	0.1											
鳥取	出荷＋販売段階	9.9											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	9.7											
	出荷段階	8.1											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	8.0											
	販売段階	1.8											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	1.7											
島根	出荷＋販売段階	7.0											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	6.9											
	出荷段階	5.0											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	5.0											
	販売段階	1.9											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	1.9											
岡山	出荷＋販売段階	19.1											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	18.5											
	出荷段階	14.1											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	14.0											
	販売段階	5.1											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	4.5											
広島	出荷＋販売段階	8.0											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	7.6											
	出荷段階	3.7											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	3.6											
	販売段階	4.4											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	3.9											
山口	出荷＋販売段階	8.8											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	8.8											
	出荷段階	7.6											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	7.6											
	販売段階	1.2											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	1.1											

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

(徳島から佐賀)

(単位:千玄米トン)

		7年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	8年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
徳島	出荷＋販売段階	1.5											
	7年産米	0.0											
	1年古米(6年産)	1.2											
	出荷段階	0.1											
	7年産米	0.0											
	1年古米(6年産)	0.1											
	販売段階	1.5											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	1.1											
香川	出荷＋販売段階	3.6											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	3.6											
	出荷段階	2.2											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	2.2											
	販売段階	1.4											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	1.4											
愛媛	出荷＋販売段階	1.9											
	7年産米	0.1											
	1年古米(6年産)	1.7											
	出荷段階	1.7											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	1.5											
	販売段階	0.3											
	7年産米	0.1											
	1年古米(6年産)	0.2											
高知	出荷＋販売段階	1.8											
	7年産米	0.5											
	1年古米(6年産)	1.1											
	出荷段階	0.3											
	7年産米	0.2											
	1年古米(6年産)	0.0											
	販売段階	1.6											
	7年産米	0.3											
	1年古米(6年産)	1.1											
福岡	出荷＋販売段階	12.5											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	12.5											
	出荷段階	10.2											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	10.2											
	販売段階	2.3											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	2.3											
佐賀	出荷＋販売段階	8.4											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	8.4											
	出荷段階	7.0											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	7.0											
	販売段階	1.4											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	1.4											

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

(長崎から沖縄)

(単位:千玄米トン)

		7年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	8年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
長崎	出荷＋販売段階	2.7											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	2.6											
	出荷段階	2.5											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	2.5											
	販売段階	0.1											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	0.1											
熊本	出荷＋販売段階	10.0											
	7年産米	0.0											
	1年古米(6年産)	9.7											
	出荷段階	5.9											
	7年産米	0.0											
	1年古米(6年産)	5.9											
	販売段階	4.2											
	7年産米	0.0											
	1年古米(6年産)	3.8											
大分	出荷＋販売段階	3.8											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	3.8											
	出荷段階	1.9											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	1.9											
	販売段階	1.9											
	7年産米												
	1年古米(6年産)	1.8											
宮崎	出荷＋販売段階	2.9											
	7年産米	1.6											
	1年古米(6年産)	1.3											
	出荷段階	1.4											
	7年産米	0.7											
	1年古米(6年産)	0.7											
	販売段階	1.5											
	7年産米	0.9											
	1年古米(6年産)	0.6											
鹿児島	出荷＋販売段階	6.8											
	7年産米	0.3											
	1年古米(6年産)	6.1											
	出荷段階	5.5											
	7年産米	0.0											
	1年古米(6年産)	5.1											
	販売段階	1.3											
	7年産米	0.3											
	1年古米(6年産)	1.0											
沖縄	出荷＋販売段階	0.4											
	7年産米	0.4											
	1年古米(6年産)	0.0											
	出荷段階	0.3											
	7年産米	0.3											
	1年古米(6年産)												
	販売段階	0.1											
	7年産米	0.1											
	1年古米(6年産)	0.0											

※本表の注意点は「在庫-6」の脚注を参照。

2 米の価格情報

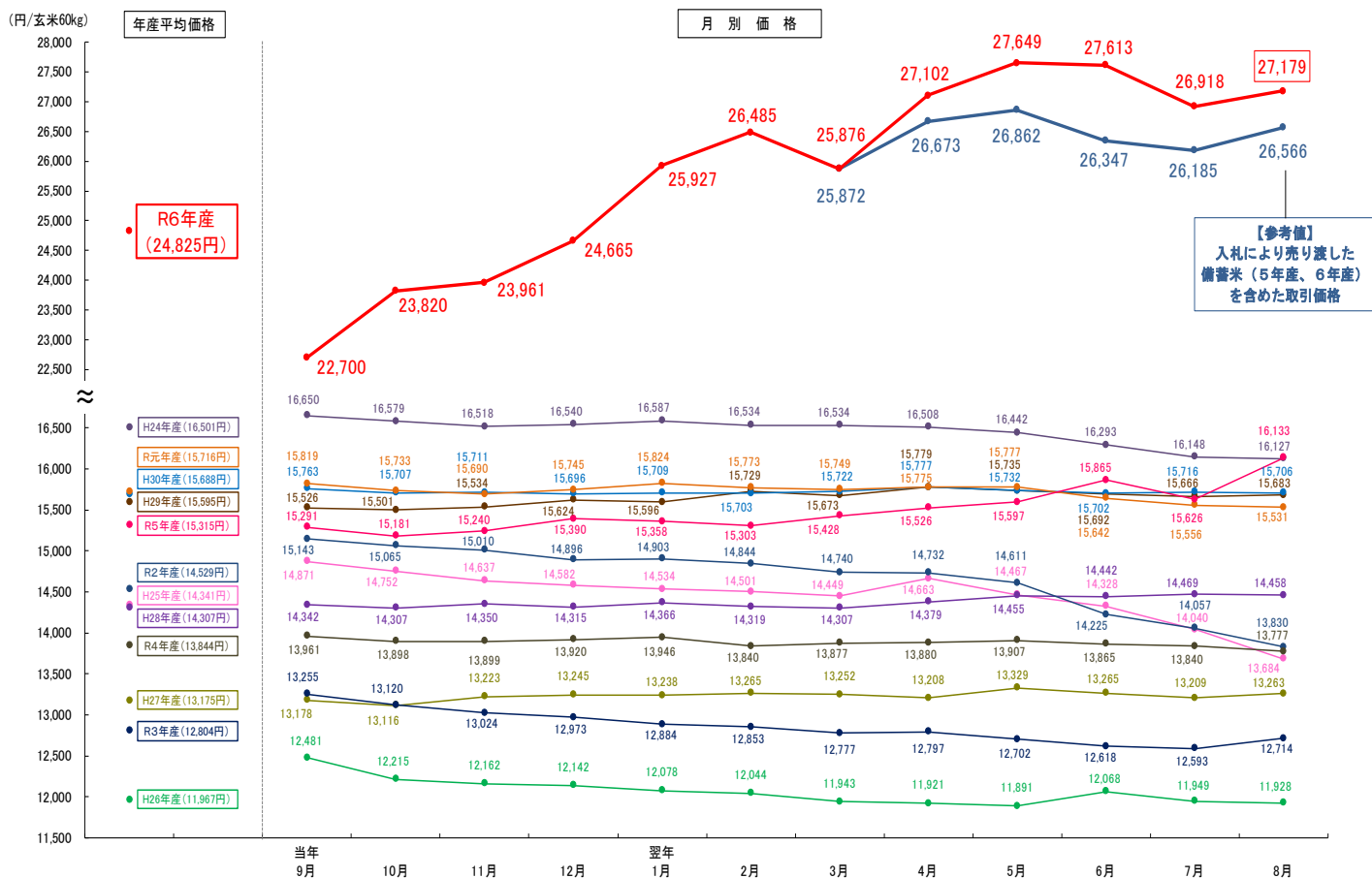
1 相対取引価格・数量

相対取引価格の累年データについては、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。【<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html>】

(1) 年産別の相対取引価格(速報)

- 令和6年産米の令和7年8月の相対取引価格は、備蓄米の取引を含む全銘柄平均で27,179円/60kgとなり、対前年同月+11,046円(+68%)、対前月+261円(+1%)。取扱数量は、3.1万トンとなったところ。
- 令和7年8月は、令和6年産米の取引(契約)が終盤であることから、8月の取引価格が令和6年産米の取引全体に与える影響は小さい(次ページ参照)。
- なお、令和7年3月以降の米の取引価格の参考として、令和5年産の備蓄米も含めると、26,566円/60kg。
- 令和7年8月までの年産平均価格24,825円/60kgは、出荷業者と卸売業者等の間の取引価格としては、比較可能な平成2年以降で過去最高の価格である。

相対取引価格の推移(税込)(全銘柄平均価格)



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：運賃、包装代、消費税相当額(平成26年3月までは5%、元年9月までは8%、元年10月以降は10%、ただし軽減税率対象は8%)を含む1等米の価格である。

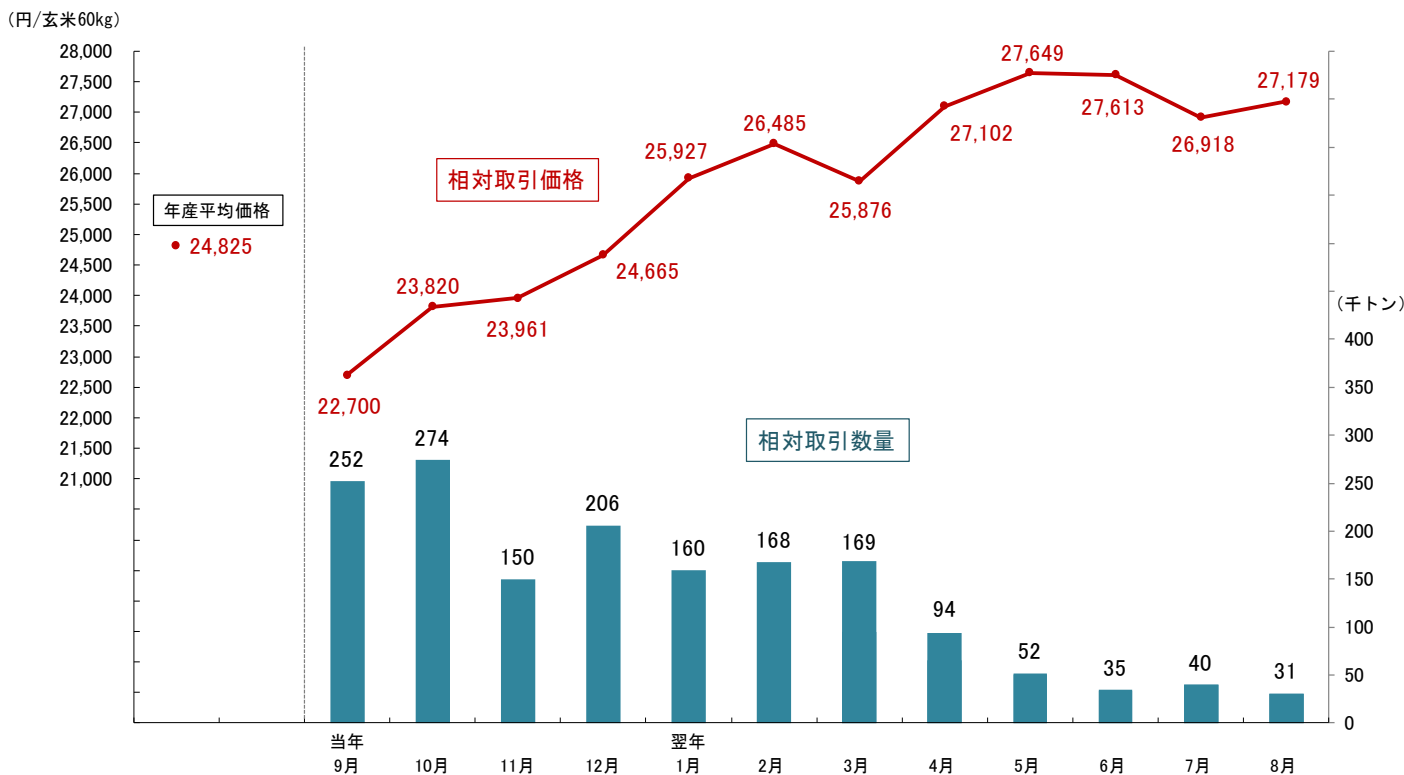
2：グラフ左側の年産平均価格は、当該年産の出回りから翌年10月まで(6年産は出回りから令和7年8月までの速報値)の通年平均価格、右側は月ごとの価格の推移。

3：令和5年産の備蓄米は、政府備蓄米の買戻し条件付売渡しの販売数量等の報告から集計。

(2) 令和6年産米の相対取引価格（速報）

- 令和7年8月の取引数量は3.1万トンと、これまでの令和6年産米の取引数量全体の約2%であるため、8月の取引価格が令和6年産米の取引全体に与える影響は小さい。

令和6年産米の相対取引価格（税込）（全銘柄平均価格）及び相対取引数量の推移



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

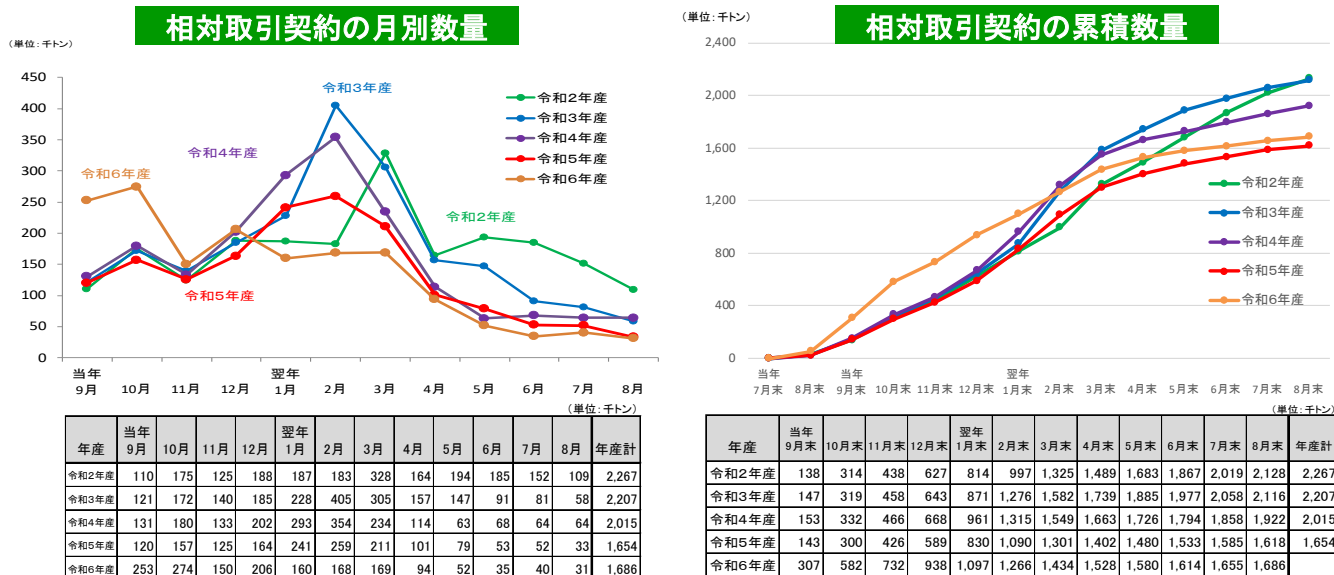
注1：運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格である。

2：グラフ左側の年産平均価格は、出回りから翌年7月までの通年平均価格（速報値）、右側は月ごとの価格の推移。

3：令和7年3月から8月までには、令和6年産の備蓄米の取引を含む。

(参考1) 相対取引契約数量の推移

- 令和6年産米の令和7年8月の相対取引契約数量は、3.1万トンとなり、出回りからの契約数量は前年同期差+6.8万トンの168.6万トンとなったところ。



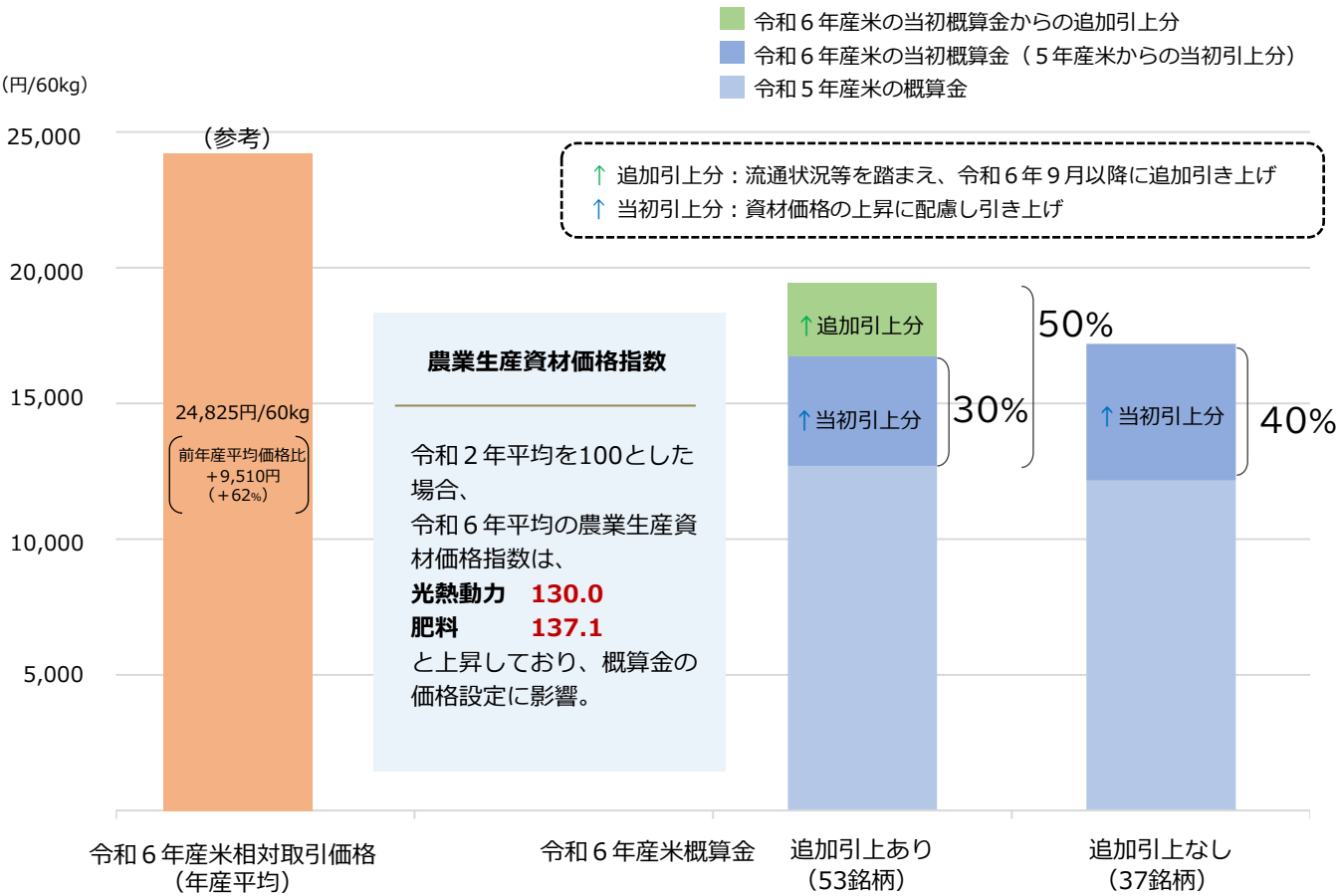
資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。

注2：相対取引契約数量は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の数量の合計（6年産は速報値）であり、公表後の契約変更等を含む。

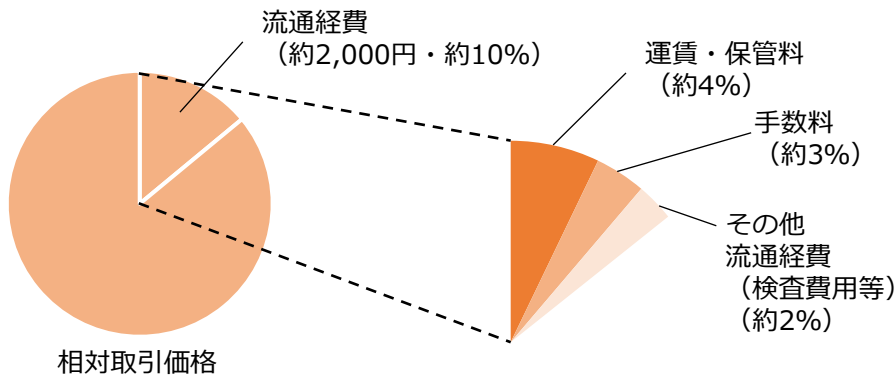
注3：相対取引契約数量の年産計欄は、出回りから生産年の翌年10月までの数量であるため、各月の合計と一致しない。

(参考2) 6年産米の概算金の設定と相対取引価格の状況



※概算金は、業界紙情報及び集荷業者等からの聞き取りによるもの（令和7年1月8日現在）。

米の集荷・流通に関する経費



- 集荷団体が行う米の集荷・流通等に要するコストは、各県・銘柄によって異なるものの、概ね約2,000円/60kg（約10%）と推定される。
- 内訳は、通年供給にかかる保管料、産地から消費地への運賃等が4%、手数料が3%、その他（安全安心にかかるサンプル検査費用、広告宣伝費用他）が2%程度と推定される。

※流通経費は、集荷業者等からの聞き取りにより算出。

(3) 相対取引価格・数量（令和6年産米、産地品種銘柄別、令和7年8月分）（速報）

相対取引価格・数量（北海道から三重まで）

		6年産米 令和7年8月		月別価格				年産平均価格				取引数量				取引数量 累計			
産地	品種銘柄			6年産米 (7年7月)	対前月比	対前年 同月比	5年産米 (6年8月)	6年産米 出回り～ 7年8月	5年産米 出回り～ 6年10月		対前年比	6年産米 (7年7月)	対前月比	対前年 同月比	5年産米 (6年8月)	6年産米 出回り～ 7年8月	5年産米 出回り～ 6年8月		対前年 同月比
		価格	数量																
		①	②	③	①/③	①/④	④	⑤	⑥	⑤/⑥		⑦	②/⑦	②/⑧	⑧	⑨	⑩	⑨/⑩	
北海道	ななつぼし	27,661	2,210	28,197	98%	172%	16,100	27,003	15,655	172%		4,900	45%	60%	3,683	130,390	128,763	101%	
北海道	ゆめぴりか	29,382	1,631	26,817	110%	170%	17,234	28,001	16,452	170%		3,938	41%	108%	1,504	77,322	77,546	100%	
北海道	きらら397	28,419	551	21,594	132%	186%	15,270	26,298	15,102	174%		1,115	49%	126%	439	20,154	17,937	112%	
青森	まっしぐら	31,162	981	28,457	110%	209%	14,894	26,139	15,220	172%		864	114%	58%	1,692	78,196	66,432	118%	
青森	つがるロマン	-	-	-	-	-	-	-	15,421	-		-	-	-	-	-	6,759	-	
岩手	ひとめぼれ	23,650	1,705	23,752	100%	160%	14,770	23,512	15,140	155%		1,192	143%	113%	1,513	65,780	66,389	99%	
岩手	銀河のしずく	-	-	-	-	-	-	23,565	15,459	152%		-	-	-	-	14,874	12,577	118%	
岩手	あきたこまち	-	-	-	-	-	-	24,936	15,119	165%		-	-	-	-	5,080	8,213	62%	
宮城	ひとめぼれ	25,587	1,636	25,799	99%	166%	15,432	23,762	15,007	158%		1,311	125%	85%	1,931	115,169	114,315	101%	
宮城	つや姫	25,701	169	26,684	96%	164%	15,639	25,060	15,556	161%		215	79%	108%	156	13,251	14,669	90%	
宮城	ササニシキ	-	-	-	-	-	-	24,132	15,592	155%		-	-	-	-	7,326	8,580	85%	
秋田	あきたこまち	28,090	5,229	27,124	104%	174%	16,135	25,261	15,317	165%		5,670	92%	186%	2,813	157,415	140,600	112%	
秋田	ひとめぼれ	27,706	156	27,261	102%	-	-	23,090	14,375	161%		196	80%	-	-	18,043	16,626	109%	
秋田	めんこいな	31,255	473	28,310	110%	214%	14,621	24,089	14,213	169%		414	114%	205%	231	9,690	5,854	166%	
山形	はえぬき	27,064	1,638	26,561	102%	167%	16,177	25,708	14,779	174%		1,535	107%	144%	1,137	74,363	51,298	145%	
山形	つや姫	28,591	1,026	28,803	99%	152%	18,804	27,949	18,745	149%		1,628	63%	307%	334	35,533	28,640	124%	
山形	雪若丸	26,456	568	28,334	93%	169%	15,638	26,516	15,497	171%		416	137%	53%	1,074	17,330	16,076	108%	
福島	コシヒカリ(中通り)	27,121	178	27,317	99%	167%	16,230	26,305	14,959	176%		309	58%	101%	176	26,037	32,501	80%	
福島	コシヒカリ(会津)	31,210	424	28,892	108%	194%	16,056	26,361	15,494	170%		672	63%	147%	288	24,368	27,197	90%	
福島	コシヒカリ(浜通り)	-	-	-	-	-	-	26,011	15,131	172%		-	-	-	-	3,546	4,631	77%	
福島	ひとめぼれ	25,924	801	27,979	93%	169%	15,315	25,582	14,537	176%		677	118%	181%	443	2			

相対取引価格・数量（滋賀から鹿児島まで）

（単位：円／玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	6年産米 令和7年8月		月別価格				年産平均価格			取引数量				取引数量 累計		
		価格 ①	数量 ②	6年産米 (7年7月)	対前月比	対前年 同月比	5年産米 (6年8月)	6年産米 出回り～ 7年8月	5年産米 出回り～ 6年10月	対前年比	6年産米 (7年7月)	対前月比	対前年 同月比	5年産米 (6年8月)	6年産米 出回り～ 7年8月	5年産米 出回り～ 6年8月	対前年 同期比
				③	①/③	①/④	④	⑤	⑥	⑤/⑥	⑦	②/⑦	②/⑧	⑧	⑨	⑩	⑨/⑩
滋賀	コシヒカリ	24,208	121	24,983	97%	-	-	23,539	15,271	154%	116	104%	-	-	14,755	16,424	90%
滋賀	キヌヒカリ	-	-	-	-	-	-	23,950	13,965	172%	-	-	-	-	4,957	6,987	71%
滋賀	みずかがみ	-	-	25,570	-	-	14,968	23,136	14,915	155%	101	-	-	102	8,274	9,642	86%
京都	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	22,511	15,502	145%	-	-	-	-	3,761	4,647	81%
京都	キヌヒカリ	-	-	-	-	-	-	19,725	14,057	140%	-	-	-	-	798	1,330	60%
京都	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	-	20,817	15,970	130%	-	-	-	-	396	1,001	40%
兵庫	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	23,440	15,492	151%	-	-	-	-	8,470	10,608	80%
兵庫	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	14,915	22,838	14,074	162%	-	-	-	173	2,205	4,182	53%
兵庫	キヌヒカリ	25,277	203	-	-	-	-	22,327	13,986	160%	-	-	-	-	2,491	3,376	74%
奈良	ヒノヒカリ	-	-	-	-	-	14,363	21,650	14,389	150%	-	-	-	649	432	6,866	6%
鳥取	きぬむすめ	-	-	-	-	-	-	22,284	14,404	155%	-	-	-	-	3,135	3,836	82%
鳥取	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	21,786	15,005	145%	-	-	-	-	2,153	2,646	81%
鳥取	ひとめぼれ	-	-	-	-	-	-	22,044	14,243	155%	-	-	-	-	1,798	1,750	103%
島根	きぬむすめ	-	-	-	-	-	-	19,932	14,117	141%	-	-	-	-	12,226	13,646	90%
島根	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	20,746	14,978	139%	-	-	-	-	9,330	11,186	83%
島根	つや姫	-	-	-	-	-	-	20,464	14,743	139%	-	-	-	-	4,778	5,081	94%
岡山	アケボノ	-	-	-	-	-	-	24,991	13,208	189%	-	-	-	-	4,218	5,058	83%
岡山	きぬむすめ	-	-	-	-	-	-	23,457	13,793	170%	-	-	-	-	7,258	5,162	141%
岡山	コシヒカリ	27,632	118	27,609	100%	166%	14,895	24,332	14,533	167%	126	94%	103%	115	5,855	4,485	131%
広島	コシヒカリ	25,111	242	25,266	99%	169%	14,830	22,404	14,550	154%	229	106%	86%	281	8,648	9,727	89%
広島	あきさかり	24,249	105	23,157	105%	182%	13,327	21,095	13,857	152%	165	64%	58%	180	3,808	4,594	83%
広島	あきらまん	-	-	-	-	-	-	21,486	13,956	154%	-	-	-	-	1,873	1,791	105%
山口	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	22,583	14,918	151%	-	-	-	-	5,662	7,232	78%
山口	ひとめぼれ	23,257	105	23,377	99%	-	-	22,085	14,071	157%	227	46%	-	-	5,168	6,526	79%
山口	きぬむすめ	-	-	23,278	-	-	13,856	22,229	14,000	159%	181	-	-	198	5,633	6,296	89%
徳島	コシヒカリ	-	-	-	-	-	-	23,206	14,137	164%	-	-	-	-	5,221	2,016	259%
徳島	あきさかり	-	-	-	-	-	-	22,630	13,426	169%	-	-	-	-	1,773	2,258	79%
香川	コシヒカリ	-	-	-	-	-	15,325	22,515	15,32								

(4) 相対取引価格(月別・年産平均価格)(令和5・6年産米、産地品種銘柄別)(速報)

(単位:円/玄米60kg税込)

産地品種銘柄		5年産 6年 8月 ①	5年産 出回り～ 6年10月 ②	6年産 6年 9月	6年産 6年 10月	6年産 6年 11月	6年産 6年 12月	6年産 7年 1月	6年産 7年 2月	6年産 7年 3月	6年産 7年 4月	6年産 7年 5月	6年産 7年 6月	6年産 7年 7月	6年産 7年 8月	対前年 同月差 ③-①	6年産 出回り～ 7年8月 ④	対前年差 ④-②
北海道	ななつぼし	16,100	15,655	25,198	25,241	25,862	26,241	29,409	28,020	27,684	28,237	27,772	27,832	28,197	27,661	+ 11,561	27,003	+ 11,348
北海道	ゆめぴりか	17,234	16,452	25,971	27,283	27,485	27,728	28,342	30,221	29,540	28,656	28,776	24,899	26,817	29,382	+ 12,148	28,001	+ 11,549
北海道	きらら397	15,270	15,102	24,068	25,832	24,748	26,885	28,351	27,786	26,577	24,872	26,189	23,323	21,594	28,419	+ 13,149	26,298	+ 11,196
青森	まっしぐら	14,894	15,220	25,311	26,352	25,953	25,623	26,716	31,357	24,971	30,602	32,020	31,717	28,457	31,162	+ 16,268	26,139	+ 10,919
青森	つがるロマン	-	15,421	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手	ひとめぼれ	14,770	15,140	20,775	21,631	20,858	23,573	25,419	25,005	23,651	23,661	25,216	23,450	23,752	23,650	+ 8,880	23,512	+ 8,372
岩手	銀河のしずく	-	15,459	20,894	21,873	21,876	25,022	26,054	26,099	22,575	23,572	24,009	-	-	-	-	23,565	+ 8,106
岩手	あきたこまち	-	15,119	-	23,711	23,665	26,338	26,437	25,601	27,954	-	-	-	-	-	-	24,936	+ 9,817
宮城	ひとめぼれ	15,432	15,007	22,968	24,331	22,026	21,464	25,531	26,477	25,687	25,010	24,650	26,135	25,799	25,587	+ 10,155	23,762	+ 8,755
宮城	つや姫	15,639	15,556	23,646	24,458	24,643	23,836	27,703	28,441	35,455	25,110	28,191	-	26,684	25,701	+ 10,062	25,060	+ 9,504
宮城	ササニシキ	-	15,592	23,389	25,414	24,372	24,245	-	24,187	23,901	-	-	-	-	-	-	24,132	+ 8,540
秋田	あきたこまち	16,135	15,317	22,284	23,708	22,563	26,768	27,671	25,634	26,208	26,937	26,940	28,000	27,124	28,090	+ 11,955	25,261	+ 9,944
秋田	ひとめぼれ	-	14,375	20,181	23,033	19,947	-	23,456	22,650	23,097	23,974	33,150	31,510	27,261	27,706	-	23,090	+ 8,715
秋田	めいひと	14,621	14,213	-	20,742	22,300	22,910	24,320	24,639	25,226	23,754	26,929	25,775	28,310	31,255	+ 16,634	24,089	+ 9,876
山形	はえぬき	16,177	14,779	21,741	23,578	24,846	25,997	26,539	26,630	25,113	24,804	27,275	27,483	26,561	27,064	+ 10,887	25,708	+ 10,929
山形	つや姫	18,804	18,745	23,096	25,403	27,738	28,212	28,756	28,282	28,939	29,322	29,461	29,766	28,803	28,591	+ 9,787	27,949	+ 9,204
山形	雪吾丸	15,638	15,497	22,428	24,092	25,772	26,887	27,075	26,864	27,033	26,486	28,231	28,716	28,334	26,456	+ 10,818	26,516	+ 11,019
福島	コシヒカリ(中通り)	16,230	14,959	24,148	24,857	25,912	26,102	26,212	28,606	26,556	27,662	29,624	33,680	27,317	27,121	+ 10,891	26,305	+ 11,346
福島	コシヒカリ(会津)	16,056	15,494	-	26,873	26,972	24,375	29,825	27,129	28,032	27,377	34,782	32,158	28,892	31,210	+ 15,154	26,361	+ 10,867
福島	コシヒカリ(浜通り)	-	15,131	-	24,803	25,260	26,261	28,681	26,788	-	-	-	-	29,431	-	-	26,011	

(単位:円／玄米60kg税込)

産地品種銘柄	5年産 6年 8月 ①	5年産 出回り～ 6年10月 ②	6年産 6年 9月	6年産 6年 10月	6年産 6年 11月	6年産 6年 12月	6年産 7年 1月	6年産 7年 2月	6年産 7年 3月	6年産 7年 4月	6年産 7年 5月	6年産 7年 6月	6年産 7年 7月	6年産 7年 8月 ③	対前年 同月差 ③－①	6年産 出回り～ 7年8月 ④	対前年差 ④－②
滋賀 コシヒカリ	-	15,271	20,856	22,546	22,872	24,157	23,677	23,926	23,737	24,493	26,844	28,339	24,983	24,208	-	23,539	+ 8,268
滋賀 キヌヒカリ	-	13,965	19,930	21,315	21,835	21,729	22,633	23,312	24,883	32,867	31,507	31,081	-	-	-	23,950	+ 9,985
滋賀 みずかみ	14,968	14,915	20,912	22,502	22,853	23,173	24,016	24,463	24,000	28,154	-	31,683	25,570	-	-	23,136	+ 8,221
京都 コシヒカリ	-	15,502	22,101	21,739	23,354	23,203	24,578	-	-	-	21,172	-	-	-	-	22,511	+ 7,009
京都 キヌヒカリ	-	14,057	19,408	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19,725	+ 5,668
京都 ヒノヒカリ	-	15,970	-	-	23,164	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20,817	+ 4,847
兵庫 コシヒカリ	-	15,492	20,629	22,712	23,446	22,922	24,313	24,845	25,627	26,308	-	-	-	-	-	23,440	+ 7,948
兵庫 ヒノヒカリ	14,915	14,074	-	21,184	20,233	21,063	20,848	21,436	24,692	-	-	-	-	-	-	22,838	+ 8,764
兵庫 キヌヒカリ	-	13,986	19,311	20,668	21,276	21,275	20,899	21,303	23,631	25,272	25,272	-	-	25,277	-	22,327	+ 8,341
奈良 ヒノヒカリ	14,363	14,389	-	-	-	-	-	-	21,602	-	-	-	-	-	-	21,650	+ 7,261
鳥取 きぬむすめ	-	14,404	20,156	21,046	21,536	21,241	24,143	-	23,487	22,356	-	-	-	-	-	22,884	+ 7,880
鳥取 コシヒカリ	-	15,005	20,548	21,022	22,149	21,415	21,250	-	26,262	25,521	-	-	-	-	-	21,786	+ 6,781
鳥取 ひとめぼれ	-	14,243	20,011	20,740	-	21,637	-	-	24,228	24,550	-	-	-	-	-	22,044	+ 7,801
島根 きぬむすめ	-	14,117	19,416	19,830	20,880	21,128	20,774	21,023	20,995	-	-	-	-	-	-	19,932	+ 5,815
島根 コシヒカリ	-	14,978	20,366	21,055	21,955	-	21,166	22,330	21,640	-	-	-	-	-	-	20,746	+ 5,768
島根 つや姫	-	14,743	20,193	20,295	-	21,771	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20,464	+ 5,721
岡山 アケボノ	-	13,208	-	23,393	-	26,712	26,503	23,460	26,194	-	-	-	-	-	-	24,991	+ 11,783
岡山 きぬむすめ	-	13,793	21,776	22,775	22,891	23,452	25,116	26,186	26,482	-	-	-	-	-	-	23,457	+ 9,664
岡山 コシヒカリ	14,895	14,533	22,641	23,668	23,817	22,883	24,895	26,987	27,502	27,741	-	-	27,609	27,632	+ 12,737	24,332	+ 9,799
広島 コシヒカリ	14,830	14,550	20,950	20,673	21,282	22,347	22,814	23,203	23,430	23,407	23,617	23,625	25,266	25,111	+ 10,281	22,404	+ 7,854
広島 あきさかり	13,327	13,857	20,219	19,571	20,257	20,721	22,002	21,895	22,120	21,740	22,101	22,615	23,157	24,249	+ 10,922	21,095	+ 7,238
広島 あきうまん	-	13,956	20,240	19,873	20,904	-	-	22,504	22,915	-	-	23,084	-	-	-	21,486	+ 7,530
山口 コシヒカリ	-	14,918	22,371	21,100	21,237	22,530	23,400	23,156	23,355	23,232	23,048	-	-	-	-	22,583	+ 7,665
山口 ひとめぼれ	-	14,071	21,371	20,435	20,910	21,916	22,829	22,290	22,943	23,180	-						

2 米取引関係者の判断（米穀機構による調査、令和7年8月分）

調査結果は、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。

【 <https://www.komenet.jp/> 】

- 米穀機構の米取引関係者の判断に関する調査(令和7年8月分)によると、主食用米の需給動向の現状判断は前回調査と比べて+7ポイントの「大幅に増加」、見通し(向こう3ヶ月)判断は+11ポイントの「大幅に増加」。
- 米価水準の現状判断は前回調査と比べて+8ポイントの「大幅に増加」、見通し(向こう3ヶ月)判断は+23ポイントの「大幅に増加」。

1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断（全体）

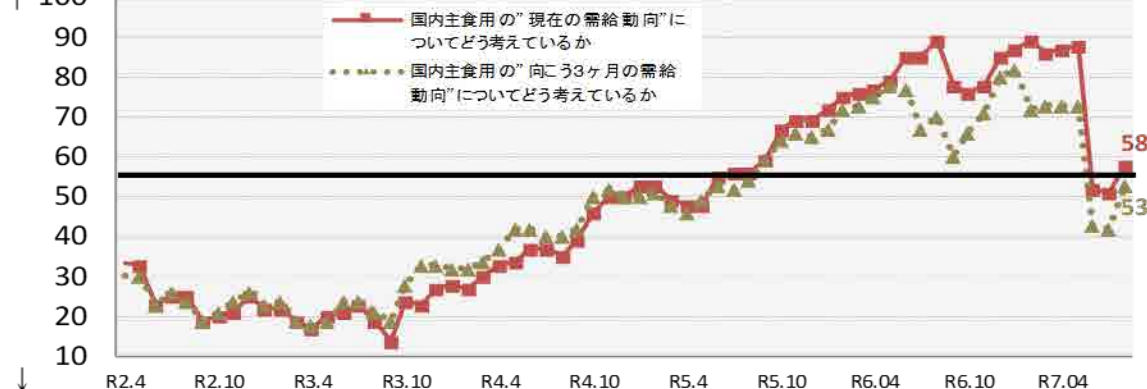
① 主食用米の需給動向

(ア) 現状判断 D I 前回からの増減 +7（今月の数値 58）
(イ) 見通し判断 D I（向こう3ヶ月） 前回からの増減 +11（今月の数値 53）

主食用米の需給動向

締まっている

↑ 100



↓ 緩んでいる

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

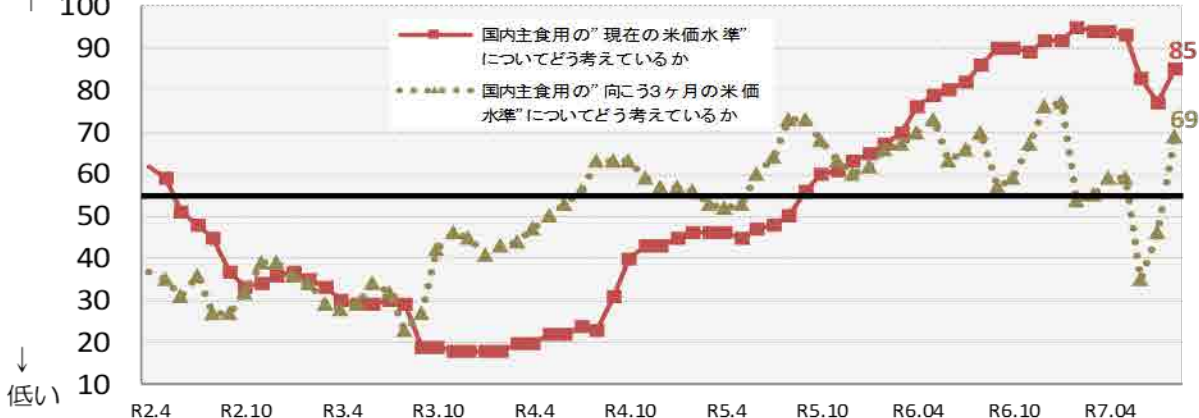
② 主食用米の米価水準

(ア) 現状判断 D I 前回からの増減 +8（今月の数値 85）
(イ) 見通し判断 D I（向こう3ヶ月） 前回からの増減 +23（今月の数値 69）

主食用米の米価水準

高い

↑ 100



↓ 低い

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の販売数量に関する現状判断 D I

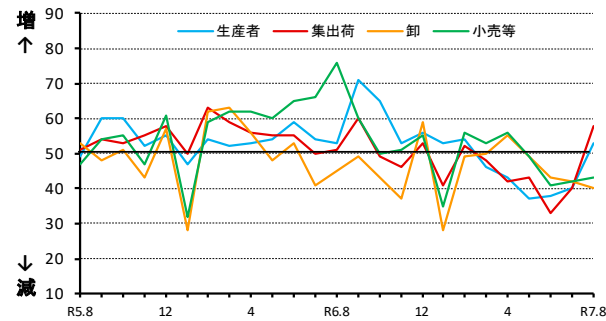
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	+13	(今月の数値	53)
集出荷：前回からの増減	+18	(今月の数値	58)
卸：前回からの増減	▲2	(今月の数値	40)
小売等：前回からの増減	+1	(今月の数値	43)

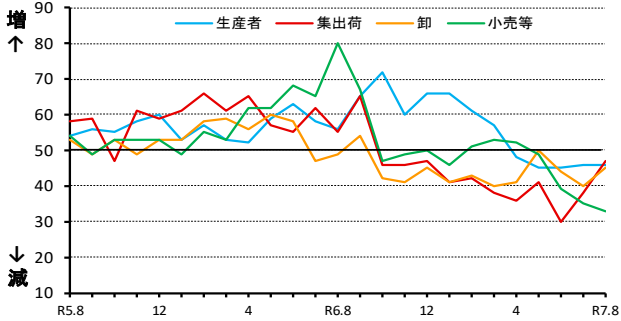
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	±0	(今月の数値	46)
集出荷：前回からの増減	+9	(今月の数値	47)
卸：前回からの増減	+5	(今月の数値	45)
小売等：前回からの増減	▲2	(今月の数値	33)

①-ア-a 貴社の”今月”の主食用米の”販売数量”について、”先月と比較”するといかですか。



①-ア-b 貴社の”今月”の主食用米の”販売数量”について、”前年同月と比較”するといかですか。



(イ) 来月の販売数量に関する見通し D I

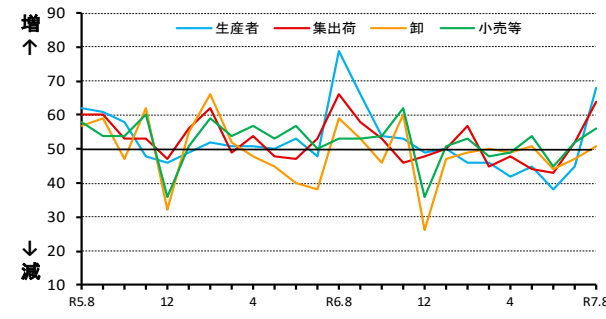
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	+23	(今月の数値	68)
集出荷：前回からの増減	+12	(今月の数値	64)
卸：前回からの増減	+4	(今月の数値	51)
小売等：前回からの増減	+4	(今月の数値	56)

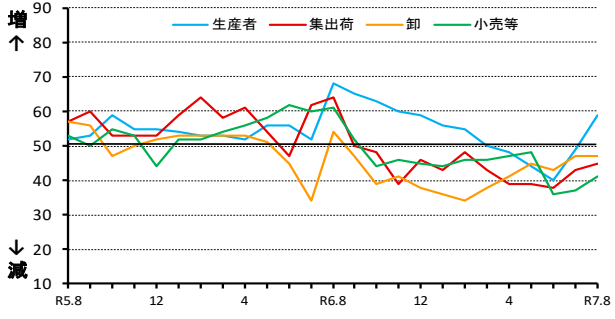
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+10	(今月の数値	59)
集出荷：前回からの増減	+2	(今月の数値	45)
卸：前回からの増減	±0	(今月の数値	47)
小売等：前回からの増減	+4	(今月の数値	41)

①-イ-a 貴社の”来月”の主食用米の”販売数量”について、”今月と比較”してどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の”来月”の主食用米の”販売数量”について、”前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が
前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が
前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の価格に関する現状判断 D I

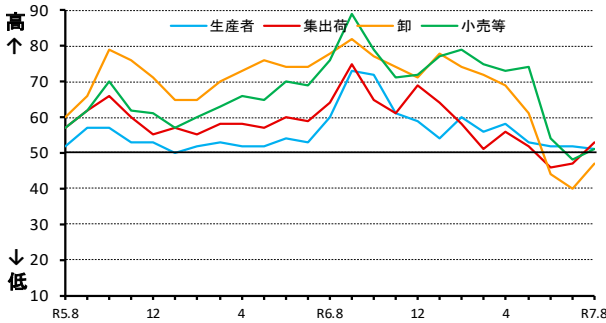
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	▲ 1	(今月の数値	5 1)
集出荷：前回からの増減	+ 6	(今月の数値	5 3)
卸：前回からの増減	+ 7	(今月の数値	4 7)
小売等：前回からの増減	+ 3	(今月の数値	5 1)

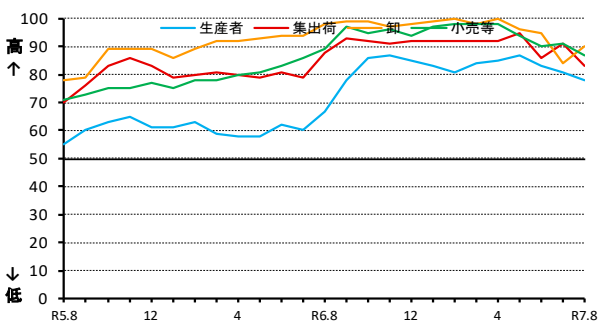
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲ 3	(今月の数値	7 8)
集出荷：前回からの増減	▲ 8	(今月の数値	8 3)
卸：前回からの増減	+ 6	(今月の数値	9 0)
小売等：前回からの増減	▲ 4	(今月の数値	8 7)

②-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、
"先月と比較"するといかがですか。



②-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、
"前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の価格に関する見通し D I

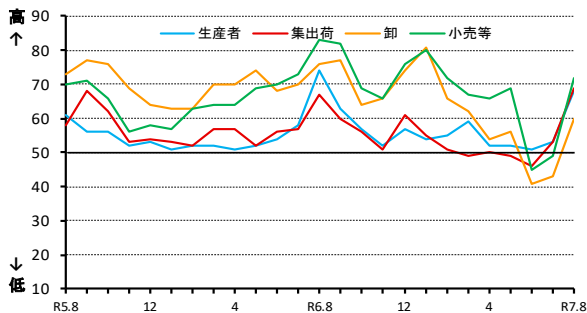
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	+15	(今月の数値	6 8)
集出荷：前回からの増減	+16	(今月の数値	6 9)
卸：前回からの増減	+17	(今月の数値	6 0)
小売等：前回からの増減	+23	(今月の数値	7 2)

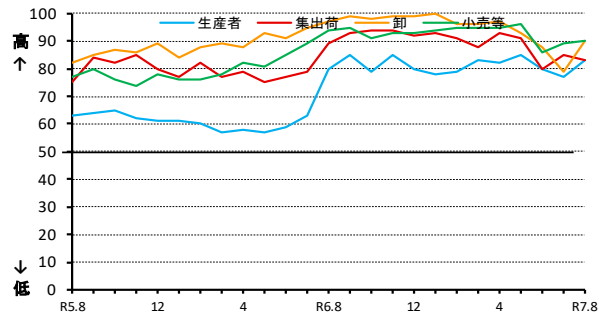
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+ 6	(今月の数値	8 3)
集出荷：前回からの増減	▲ 2	(今月の数値	8 3)
卸：前回からの増減	+11	(今月の数値	9 0)
小売等：前回からの増減	+ 1	(今月の数値	9 0)

②-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、
"今月と比較"してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、
"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来)多くなる」という見方が
前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来)少なくなる」という見方が
前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の在庫量に関する現状判断 D I

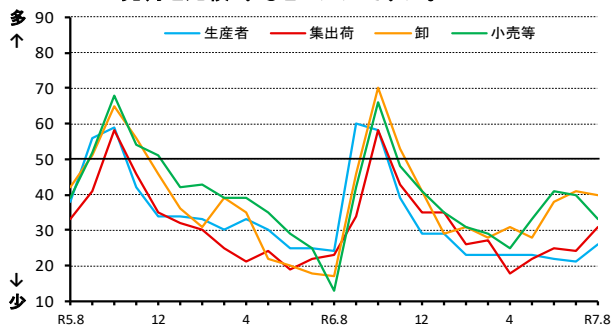
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	+ 5	(今月の数値	2 6)
集出荷：前回からの増減	+ 7	(今月の数値	3 1)
卸：前回からの増減	▲ 1	(今月の数値	4 0)
小売等：前回からの増減	▲ 7	(今月の数値	3 3)

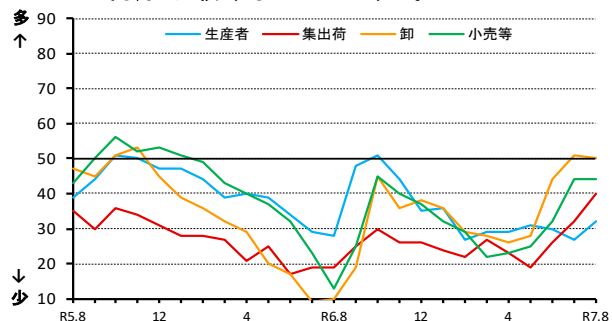
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+ 5	(今月の数値	3 2)
集出荷：前回からの増減	+ 8	(今月の数値	4 0)
卸：前回からの増減	▲ 1	(今月の数値	5 0)
小売等：前回からの増減	± 0	(今月の数値	4 4)

③-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"在庫量"について、 "先月と比較"するといかがですか。



③-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"在庫量"は、"前年 同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の在庫量に関する見通し D I

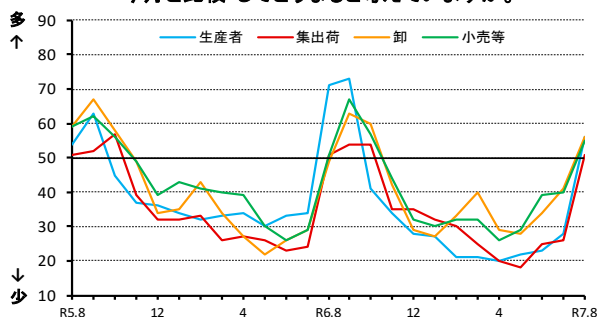
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	+28	(今月の数値	5 6)
集出荷：前回からの増減	+25	(今月の数値	5 1)
卸：前回からの増減	+15	(今月の数値	5 6)
小売等：前回からの増減	+15	(今月の数値	5 5)

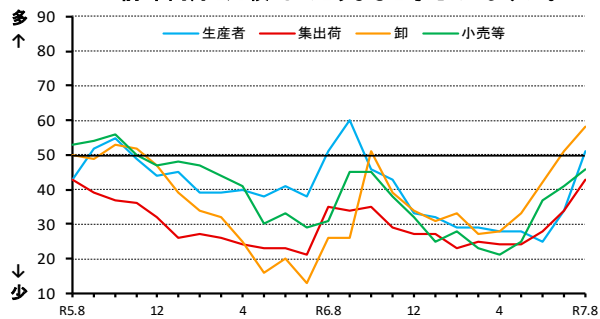
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+17	(今月の数値	5 1)
集出荷：前回からの増減	+ 9	(今月の数値	4 3)
卸：前回からの増減	+ 7	(今月の数値	5 8)
小売等：前回からの増減	+ 5	(今月の数値	4 6)

③-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"在庫量"について、 "今月と比較"してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"在庫量"について、 "前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



取引関係者が１の①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の 在庫水準	国の政策	米穀の 調達状況	消費者の 動向	競合商品の 販売動向	その他		作柄	国内の 在庫水準	国の政策	米穀の 調達状況	消費者の 動向	競合商品の 販売動向	その他
R5.8	11%	26%	3%	44%	8%	3%	5%	R6.8	2%	43%	2%	45%	5%	1%	1%
R5.9	20%	18%	1%	44%	9%	5%	2%	R6.9	6%	24%	1%	52%	11%	3%	2%
R5.10	24%	21%	1%	42%	8%	3%	1%	R6.10	7%	22%	2%	54%	10%	3%	2%
R5.11	22%	19%	1%	44%	10%	4%	0%	R6.11	10%	17%	2%	53%	12%	6%	1%
R5.12	12%	23%	3%	46%	12%	4%	0%	R6.12	3%	26%	2%	57%	7%	3%	1%
R6.1	9%	28%	2%	46%	10%	3%	2%	R7.1	1%	25%	7%	54%	7%	4%	3%
R6.2	9%	27%	1%	51%	8%	4%	0%	R7.2	0%	24%	28%	40%	4%	3%	1%
R6.3	7%	29%	0%	53%	8%	2%	1%	R7.3	3%	32%	17%	42%	2%	2%	1%
R6.4	3%	29%	2%	52%	9%	3%	1%	R7.4	1%	31%	19%	42%	4%	3%	1%
R6.5	6%	30%	1%	55%	4%	2%	1%	R7.5	1%	29%	21%	41%	5%	4%	0%
R6.6	5%	34%	1%	49%	7%	3%	1%	R7.6	1%	18%	49%	26%	5%	1%	1%
R6.7	6%	35%	3%	46%	7%	3%	1%	R7.7	5%	24%	21%	42%	4%	2%	2%
								R7.8	18%	15%	5%	50%	5%	3%	5%

《アンケート方法等》

- 調査期間：毎月１日から２５日までの取引状況を踏まえて回答
- 調査方法：電子メールを利用したアンケート調査
- 調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の１８０客体
 - ※ 米取引関係者の動向をより適切に反映したものとなるよう、令和５年４月にアンケート対象事業者の一部入替を行いました。

- 有効回答数：１３１客体
 - 生産者・・・・・・・・・・・・・２３
 - 集出荷業者／団体・・・・・・・・・・・・・２２
 - 卸売業者（主に主食用米）・・・・・・・・・・・・・２６
 - 小売業者／中食・外食業者・・・・・・・・・・・・・４６
 - その他・・・・・・・・・・・・・１４

※「その他」は以下の業者です。
・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者

- 結果公表：翌月上旬（公表日時は半期ごとにホームページに掲載）

《利用上の注意》

- 表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《ＤＩの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する５段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（％）に乗じてＤＩを算出します。

ただし、ＤＩの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じＤＩが観測されることに注意が必要です。

（ＤＩの算出例）

問：国内の主食用米の“向こう３ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	＋１	＋０. 75	＋０. 5	＋０. 25	０
構成比(B)	17. 8	20. 0	20. 0	22. 2	20. 0
各DI(C=A×B)	17. 8	15	10	5. 6	0
DI(合計)	48. 4				

3 米の契約・販売情報

1 事前契約（播種前契約）の取組状況

(1) 近年の事前契約（播種前契約）数量の推移

米の事前契約について、農林水産省では需要に応じた生産・販売に繋げていく観点から、「米取引の事前契約研究会」での議論等も踏まえ、「収穫前契約から播種前契約への転換」、「実需と結びついた契約の拡大」を推進しています。

これに伴い、今後の事前契約の取組状況については、従来の「収穫前契約」に代えて、「播種前契約」に関する取組状況を掲載することとします。

【米取引の事前契約研究会ページ】

<https://www.maff.go.jp/j/syoutan/keikaku/soukatu/jizenn.html>

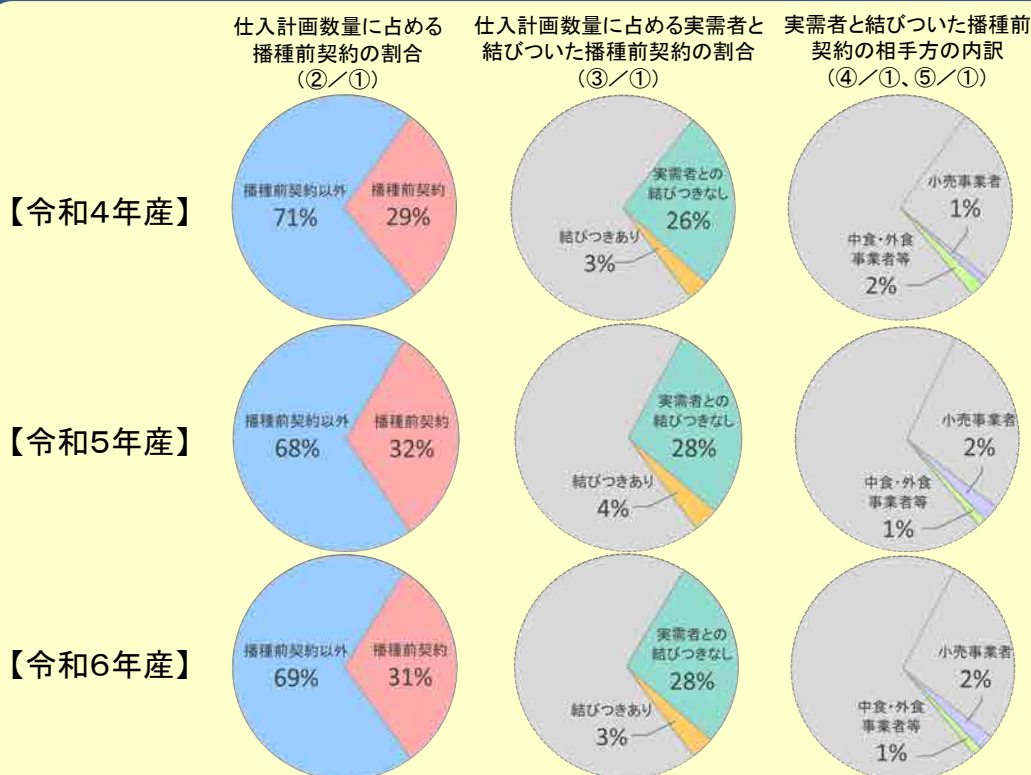
- 事前契約（播種前契約）の取組状況について、一定規模以上の集出荷業者を対象に調査を実施。
- 6年産の仕入計画数量に占める播種前契約（複数年契約を含む）の割合は31%。
6年産の仕入計画数量に占める実需者と結びついた播種前契約の割合は3%。

【播種前契約の状況】

(単位:千トン)

年産	仕入計画 数量 ①	播種前契約 数量 ②	うち実需者との結びつき		
			計	中食・外食等	小売
			③	④	⑤
3年産	3,699	1,026 (28%)	184 (5%)	95 (3%)	89 (2%)
4年産	3,451	1,001 (29%)	108 (3%)	69 (2%)	40 (1%)
5年産	3,504	1,115 (32%)	127 (4%)	42 (1%)	85 (2%)
6年産	3,549	1,104 (31%)	123 (3%)	44 (1%)	79 (2%)

【近年の播種前契約の状況】



注1：調査対象は、年間取扱数量500トン以上の集出荷業者。

注2：仕入計画数量は、卸売業者や小売事業者等へ独自に販売を行う米穀の生産年の3月末時点の仕入(集荷)計画数量(見込含む)として調査。

注3：播種前契約数量は、生産年の3月末までに締結した事前契約(確認書等により販売数量が決定しているもの)の数量をいう。

注4：中食・外食等は、小売以外の実需者(学校給食や事業所給食など)との契約を含む。

注5：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 令和5・6年産米の産地別事前契約（播種前契約）の取組状況（速報）

(単位：千玄米トン、%)

	5 年 産				6 年 産				
	仕入計画 数量	うち播種前契約		うち 複数年契約	仕入計画 数量	うち播種前契約		うち複数年契約	
		契約数量 ②	契約比率 ②/①	契約数量 ③		契約数量（前年差） ⑤	契約比率（前年差） ⑤/④	契約数量（前年差） ⑥	
北 海 道	369	164	44%	162	385	176 (+13)	46% (+2%)	176 (+15)	
青 森	171	36	21%	29	181	41 (+5)	23% (+2%)	34 (+5)	
岩 手	157	65	41%	65	138	67 (+2)	48% (+7%)	62 (▲2)	
宮 城	184	143	78%	93	186	125 (▲18)	67% (▲11%)	101 (+8)	
秋 田	299	142	47%	109	285	130 (▲12)	46% (▲2%)	114 (+5)	
山 形	242	60	25%	45	244	54 (▲6)	22% (▲3%)	41 (▲4)	
福 島	172	31	18%	31	194	40 (+9)	21% (+2%)	37 (+6)	
茨 城	131	33	25%	3	124	26 (▲7)	21% (▲4%)	1 (▲1)	
栃 木	136	72	53%	59	169	59 (▲13)	35% (▲18%)	59 (+0)	
群 馬	27	7	24%	-	26	5 (▲1)	20% (▲4%)	- -	
埼 玉	53	8	15%	1	40	8 (+0)	20% (+5%)	1 (▲0)	
千 葉	111	15	13%	8	118	10 (▲5)	8% (▲5%)	8 (+0)	
東 京	-	-	-	-	-	- -	- -	- -	
神 奈 川	3	-	-	-	4	- -	- -	- -	
山 梨	5	-	-	-	6	- -	- -	- -	
長 野	87	38	43%	37	95	37 (▲1)	39% (▲5%)	37 (▲1)	
静 岡	13	-	-	-	13	- -	- -	- -	
新 潟	369	109	30%	73	347	117 (+7)	34% (+4%)	79 (+6)	
富 山	100	-	-	-	95	0 -	0% -	0 -	
石 川	65	11	17%	-	66	17 (+5)	26% (+8%)	- -	
福 井	51	7	13%	5	49	7 (+0)	15% (+2%)	7 (+2)	
岐 阜	18	11	63%	5	34	10 (▲1)	30% (▲33%)	3 (▲2)	
愛 知	43	2	4%	1	48	1 (▲1)	2% (▲2%)	0 (▲1)	
三 重	45	30	67%	-	44	28 (▲2)	65% (▲3%)	- -	
滋 賀	46	28	61%	5	59	20 (▲8)	34% (▲27%)	8 (+4)	
京 都	18	5	28%	1	18	3 (▲1)	19% (▲9%)	1 (▲0)	
大 阪	3	-	-	-	2	- -	- -	- -	
兵 庫	60	17	29%	-	37	16 (▲1)	43% (+14%)	- -	
奈 良	10	-	-	-	10	- -	- -	- -	
和 歌 山	2	-	-	-	3	- -	- -	- -	
鳥 取	26	2	8%	-	25	0 (▲2)	1% (▲7%)	0 -	
島 根	33	-	-	-	35	- -	- -	- -	
岡 山	39	-	-	-	42	1 -	1% -	1 -	
広 島	36	22	61%	-	40	22 (+0)	55% (▲6%)	- -	
山 口	41	19	47%	0	40	14 (▲5)	35% (▲12%)	0 (▲0)	
徳 島	16	4	23%	-	16	- -	- -	- -	
香 川	20	-	-	-	20	- -	- -	- -	
愛 媛	16	7	44%	-	16	7 (+0)	44% (+0%)	- -	
高 知	12	-	-	-	9	- -	- -	- -	
福 岡	63	1	2%	-	64	31 (+30)	49% (+47%)	- -	
佐 賀	35	14	39%	12	41	18 (+4)	44% (+5%)	15 (+4)	
長 崎	10	7	76%	-	10	7 (▲0)	70% (▲5%)	- -	
熊 本	57	-	-	-	58	- -	- -	- -	
大 分	20	4	23%	1	22	7 (+3)	33% (+10%)	1 (+0)	
宮 崎	26	-	-	-	33	- -	- -	- -	
鹿 児 島	21	-	-	-	24	- -	- -	- -	
沖 縄	1	-	-	-	1	- -	- -	- -	
全 国	3,504	1,115	32%	745	3,549	1,104 (▲11)	31% (▲1%)	788 (+44)	

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」
注：1 報告対象業者は、年間の玄米仕入数量が500トン以上の出荷業者。
2 仕入計画数量は、卸売業者や小売業者等へ独自に販売を行う米穀の生産年の3月末時点の仕入（集荷）計画数量（見込含む）として調査。
3 播種前契約は、生産年の3月末までに締結した事前契約（確認書等により販売数量が決定しているもの。）をいう。
4 複数年契約は、播種前契約のうち、複数年にわたる契約をいう。
5 ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。
6 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

2 令和6年産米の産地別契約・販売状況
(累計、うるち米、令和7年7月末現在) (速報)

集荷・契約・販売数量(北海道から静岡まで)							(単位:千玄米トン)		
	作況 指数	集荷数量	契約数量	契約 比率 ②/①	販売数量	販売 比率 ③/①	参考:前年同月比 (5年産の同時期との比較)		
							集荷数量	契約数量	販売数量
北海道	103	286.2	284.7	99%	225.5	79%	102%	102%	98%
ななつぼし		135.0	134.7	100%	105.3	78%	101%	101%	94%
ゆめびりか		79.5	79.4	100%	63.7	80%	100%	100%	98%
きらら397		20.8	20.8	100%	14.6	70%	111%	112%	139%
青森	103	120.5	116.7	97%	94.9	79%	107%	106%	106%
まっしぐら		92.3	90.3	98%	73.1	79%	111%	110%	115%
つがるロマン		0.0	0.0	100%	0.0	100%	0%	0%	0%
岩手	106	106.7	103.6	97%	83.9	79%	95%	95%	104%
ひとめぼれ		79.0	76.0	96%	61.9	78%	94%	93%	106%
銀河のしずく		17.9	17.7	99%	13.9	78%	120%	123%	118%
あきたこまち		5.6	5.6	100%	4.9	88%	68%	68%	72%
宮城	107	150.4	146.4	97%	103.5	69%	95%	95%	89%
ひとめぼれ		111.7	109.5	98%	72.4	65%	94%	94%	86%
つや姫		13.4	13.0	97%	10.0	75%	90%	89%	86%
ササニシキ		8.8	8.7	99%	7.0	80%	95%	94%	85%
秋田	102	217.0	269.4	124%	182.9	84%	98%	111%	94%
あきたこまち		169.4	217.4	128%	147.1	87%	93%	107%	90%
ひとめぼれ		18.5	20.7	111%	12.2	66%	109%	117%	94%
めんこいな		10.9	12.2	111%	9.2	84%	166%	182%	157%
山形	97	179.3	166.4	93%	130.5	73%	99%	96%	92%
はえぬき		96.5	88.9	92%	67.4	70%	101%	97%	93%
つや姫		40.5	39.8	98%	33.2	82%	96%	96%	88%
雪若丸		23.6	19.9	84%	14.5	61%	107%	106%	95%
福島	102	141.3	135.8	96%	108.7	77%	113%	105%	125%
コシヒカリ(中通り)		35.8	35.0	98%	25.4	71%	91%	87%	88%
コシヒカリ(会津)		25.9	25.4	98%	15.8	61%	88%	82%	94%
コシヒカリ(浜通り)		4.0	3.9	99%	2.9	73%	77%	69%	80%
ひとめぼれ		26.5	24.4	92%	21.9	83%	118%	102%	146%
天のつぶ		34.1	32.8	96%	28.8	85%	193%	182%	201%
茨城	103	58.9	59.0	100%	54.2	92%	92%	92%	92%
コシヒカリ		34.9	34.9	100%	32.1	92%	78%	78%	80%
あきたこまち		7.4	7.4	100%	7.3	99%	101%	101%	103%
にじのきらめき		9.1	9.1	100%	7.9	86%	...	...	...
栃木	101	88.3	85.2	96%	67.8	77%	83%	86%	96%
コシヒカリ		61.7	60.1	97%	49.2	80%	73%	76%	87%
とちぎの星		16.4	15.9	97%	11.7	71%	132%	139%	166%
あさひの夢		4.2	3.9	94%	2.4	57%	120%	132%	116%
群馬	100	13.9	11.3	81%	8.0	58%	81%	74%	63%
あさひの夢		9.5	8.2	87%	5.5	58%	81%	78%	62%
ゆめまつり		0.9	0.5	58%	0.3	36%	60%	43%	38%
埼玉	97	7.7	11.5	150%	6.3	82%	48%	75%	48%
彩のきずな		3.3	4.7	142%	2.7	81%	54%	86%	61%
彩のかがやき		1.3	2.5	202%	0.7	55%	28%	56%	18%
コシヒカリ		1.7	2.8	169%	1.6	95%	52%	91%	58%
千葉	105	58.1	57.1	98%	55.7	96%	98%	97%	95%
コシヒカリ		27.0	26.6	99%	26.3	97%	87%	87%	86%
ふさこがね		14.6	14.2	97%	13.9	95%	129%	128%	130%
ふさおとめ		10.2	9.8	96%	9.7	96%	98%	94%	94%
東京	100	-	-	-	-	-	...	...	...
神奈川	97	2.3	2.1	94%	2.1	94%	66%	74%	74%
山梨	100	4.							

集荷・契約・販売数量（新潟から広島まで）

（単位：千玄米トン）

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量 ③	販売 比率 ③/①	参考：前年同月比 （5年産の同時期との比較）		
							集荷数量	契約数量	販売数量
新 潟	98	273.9	270.1	99%	223.3	82%	100%	100%	99%
コシヒカリ（一般）		121.6	120.1	99%	97.9	81%	89%	89%	90%
コシヒカリ（魚沼）		31.5	30.0	95%	25.9	82%	96%	94%	90%
コシヒカリ（佐渡）		12.2	12.2	99%	8.4	69%	95%	93%	81%
コシヒカリ（岩船）		10.8	10.8	100%	8.6	80%	93%	93%	82%
こしいぶき		48.2	47.9	99%	42.0	87%	133%	134%	141%
富 山	99	79.1	77.8	98%	62.0	78%	100%	100%	100%
コシヒカリ		47.7	46.8	98%	39.4	82%	86%	86%	86%
てんたかく		10.4	10.4	100%	9.1	88%	152%	153%	158%
石 川	99	28.0	31.5	112%	21.2	76%	88%	100%	94%
コシヒカリ		10.3	11.1	108%	8.0	78%	69%	75%	77%
ゆめみづほ		7.4	7.5	101%	4.8	64%	165%	168%	161%
福 井	102	46.6	45.2	97%	38.3	82%	96%	97%	91%
コシヒカリ		15.9	16.2	102%	12.8	81%	83%	86%	75%
ハナエチゼン		14.2	14.4	101%	12.9	91%	107%	110%	103%
あきさかり		4.4	4.5	103%	3.0	70%	90%	94%	84%
岐 卓	100	13.1	14.3	109%	10.2	77%	64%	69%	61%
ハツシモ		4.6	5.0	109%	3.1	68%	51%	54%	46%
コシヒカリ		3.8	4.2	110%	3.1	82%	77%	87%	74%
ほしじるし		1.6	1.9	119%	1.4	86%	72%	71%	61%
愛 知	99	27.5	27.5	100%	21.5	78%	83%	83%	80%
あいちのかおり		14.4	14.4	100%	10.8	75%	84%	84%	85%
コシヒカリ		7.1	7.1	100%	5.9	83%	73%	73%	66%
大地の風		1.1	1.1	100%	0.9	84%	115%	115%	115%
三 重	98	16.4	21.5	131%	13.5	82%	71%	94%	64%
コシヒカリ（一般）		6.8	11.7	173%	5.7	85%	65%	112%	59%
コシヒカリ（伊賀）		4.3	4.6	106%	3.9	89%	73%	78%	74%
キヌヒカリ		0.6	1.2	198%	0.5	75%	55%	109%	47%
滋 賀	100	46.0	46.0	100%	40.2	87%	83%	91%	85%
コシヒカリ		16.7	16.8	100%	14.8	89%	86%	91%	84%
キヌヒカリ		7.3	7.2	98%	6.5	89%	75%	85%	79%
みずかがみ		9.3	9.2	100%	8.2	88%	81%	92%	85%
京 都	104	6.7	6.3	94%	5.2	78%	78%	77%	69%
コシヒカリ		3.9	3.8	98%	3.2	81%	81%	83%	73%
キヌヒカリ		0.8	0.8	98%	0.7	89%	59%	63%	57%
ヒノヒカリ		0.8	0.7	89%	0.5	65%	67%	60%	51%
大 阪	99	-	-	-	-	-	...	...	...
兵 庫	99	17.2	19.5	114%	13.7	80%	71%	90%	69%
コシヒカリ		8.1	9.8	121%	7.7	95%	74%	92%	74%
ヒノヒカリ		2.4	3.0	123%	1.5	64%	54%	85%	56%
キヌヒカリ		2.8	3.1	111%	2.2	80%	82%	107%	82%
奈 良	103	6.6	5.9	89%	5.9	89%	66%	73%	73%
ヒノヒカリ		5.5	4.9	88%	4.9	88%	66%	72%	72%
和歌山	102	0.8	0.8	100%	0.6	78%	52%	52%	50%
鳥 取	99	23.9	18.8	79%	18.8	78%	95%	88%	85%
きぬむすめ		7.8	5.1	66%	6.4	83%	99%	80%	96%
コシヒカリ		5.3	4.9	92%	4.6	87%	80%	87%	76%
ひとめぼれ		3.7	3.4	92%	3.0	82%	103%	109%	98%
島 根	100	28.2	28.0	99%	23.2	82%	89%	89%	85%
きぬむすめ		12.4	12.3	100%	9.5	76%	90%	90%	82%
コシヒカリ		9.3	9.3	99%	8.2	88%	83%	83%	82%
つや姫		4.8							

集荷・契約・販売数量（山口から沖縄まで、全国計）

（単位：千玄米トン）

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量 ③	販売 比率 ③/①	参考：前年同月比 （5年産の同時期との比較）		
							集荷数量	契約数量	販売数量
山 口	103	32.1	32.0	100%	24.5	76%	79%	79%	72%
コシヒカリ		7.3	7.3	99%	6.3	86%	70%	70%	68%
ひとめぼれ		7.5	7.5	100%	5.5	73%	73%	73%	65%
きぬむすめ		7.5	7.5	100%	5.6	74%	93%	93%	84%
徳 島	100	3.6	3.6	100%	3.5	99%	75%	75%	74%
コシヒカリ		1.4	1.4	100%	1.4	100%	71%	71%	71%
あきさかり		1.8	1.8	100%	1.8	99%	79%	79%	78%
香 川	100	16.0	21.0	132%	13.7	86%	82%	100%	77%
コシヒカリ		4.1	6.0	146%	4.0	96%	76%	100%	76%
ヒノヒカリ		4.7	6.0	127%	3.7	78%	89%	100%	80%
あきさかり		3.2	4.0	126%	2.7	84%	81%	100%	74%
愛 媛	102	7.2	6.8	95%	6.1	85%	63%	61%	70%
コシヒカリ		2.5	2.5	99%	2.4	96%	64%	64%	66%
ヒノヒカリ		0.8	0.7	92%	0.7	91%	47%	50%	57%
あきたこまち		0.3	0.3	100%	0.2	94%	27%	23%	32%
高 知	100	7.8	7.0	90%	7.7	100%	85%	76%	85%
コシヒカリ		5.4	5.4	100%	5.4	100%	86%	86%	86%
ヒノヒカリ		1.0	0.2	23%	1.0	98%	80%	18%	80%
福 岡	98	41.4	40.7	98%	33.5	81%	78%	78%	76%
夢つくし		11.9	11.8	99%	10.9	91%	70%	70%	70%
ヒノヒカリ		10.4	10.2	99%	7.8	75%	76%	75%	69%
元気つくし		14.7	14.3	97%	11.8	80%	85%	84%	85%
佐 賀	99	30.0	29.9	100%	23.2	78%	85%	85%	84%
さがびより		13.6	13.6	100%	9.9	73%	90%	87%	89%
夢しずく		9.7	9.7	100%	8.1	84%	86%	85%	87%
ヒノヒカリ		3.7	3.7	100%	2.5	67%	69%	69%	60%
長 崎	102	6.2	7.5	120%	4.1	66%	64%	77%	53%
にこまる		2.4	3.2	131%	1.6	67%	58%	76%	52%
なつぽのか		1.5	1.9	125%	0.8	53%	67%	84%	41%
ヒノヒカリ		0.9	1.0	111%	0.6	70%	55%	61%	53%
熊 本	102	24.9	20.6	83%	20.6	83%	79%	76%	76%
ヒノヒカリ		8.0	6.5	82%	6.5	82%	70%	67%	67%
森のくまさん		3.2	2.6	80%	2.6	80%	75%	71%	71%
コシヒカリ		4.7	4.2	88%	4.2	88%	87%	82%	82%
大 分	101	9.5	10.9	115%	7.6	80%	69%	93%	67%
ヒノヒカリ		3.8	4.4	116%	3.0	80%	63%	86%	61%
なつぽのか		1.7	2.4	145%	1.2	75%	...	...	...
ひとめぼれ		1.3	1.4	109%	1.1	84%	69%	79%	69%
宮 崎	97	8.6	8.6	100%	8.3	97%	85%	88%	86%
コシヒカリ		4.4	4.4	100%	4.4	100%	96%	96%	96%
ヒノヒカリ		3.5	3.5	100%	3.3	93%	80%	86%	80%
鹿児島	97	8.7	8.7	100%	8.4	97%	66%	66%	65%
ヒノヒカリ		2.7	2.7	100%	2.5	95%	56%	56%	55%
あきほなみ		1.6	1.6	100%	1.5	90%	50%	50%	48%
コシヒカリ		2.4	2.4	100%	2.4	100%	81%	81%	81%
沖 縄	105	1.1	1.1	100%	1.1	100%	94%	94%	94%
全 国 ①	101	2,432	2,457	101%	1,940	80%	95%	97%	93%
参考	前年同月(令和5年産)②	2,573	2,536	99%	2,082	81%			
	前年同月差(①-②)	▲ 141	▲ 79	+ 2%	▲ 142	▲ 1%			

3 令和6年産備蓄米の政府買入入札結果

令和6年産備蓄米の政府買入入札は、全7回を実施。
買入予定数量205,509トンに対して、172,016トン（83.7%）の落札。

令和6年産備蓄米の買入入札結果

（単位：トン）

産地	買入予定数量 （優先枠） ①	落札数量 ②	落札率 ②/①
北海道	4,686	4,686	100.0%
青森	28,586	24,416	85.4%
岩手	3,415	3,415	100.0%
宮城	11,276	11,276	100.0%
秋田	21,322	14,512	68.1%
山形	20,195	20,195	100.0%
福島	26,313	26,313	100.0%
茨城	1,086	616	56.7%
栃木	6,184	5,773	93.4%
群馬			
埼玉	204	204	100.0%
千葉	662	642	97.0%
東京			
神奈川			
新潟	24,499	24,499	100.0%
富山	11,880	10,261	86.4%
石川	7,841	874	11.1%
福井	4,597	2,500	54.4%
山梨			
長野	1,449	1,352	93.3%
岐阜	423	423	100.0%
静岡	19	19	100.0%
愛知	835	722	86.5%
三重	262	-	0.0%
滋賀	1,327	1,159	87.3%
京都			
大阪			

産地	買入予定数量 （優先枠） ①	落札数量 ②	落札率 ②/①
兵庫			
奈良			
和歌山			
鳥取	389	389	100.0%
島根	126	126	100.0%
岡山	822	191	23.2%
広島	28	28	100.0%
山口			
徳島	933	235	25.2%
香川			
愛媛			
高知	10	10	100.0%
福岡	52	35	67.3%
佐賀	214	-	0.0%
長崎			
熊本	274	-	0.0%
大分	91	91	100.0%
宮崎			
鹿児島			
優先枠計 ①	180,000	154,962	86.1%
一般枠 ②	25,509	17,054	66.9%
合計 （①+②）	205,509	172,016	83.7%
うちCPTPP分		5,509	

（参考）買入入札結果の推移

（単位：トン）

年産	買入予定数量 ①	落札数量 ②	落札率 ②/①
平成23年産	200,000	67,638	33.8%
平成24年産	200,000	83,390	41.7%
平成25年産	250,000	183,092	73.2%
平成26年産	250,000	250,000	100.0%
平成27年産	250,000	250,000	100.0%
平成28年産	225,000	225,000	100.0%
平成29年産	200,000	197,728	98.9%
平成30年産	200,000	122,949	61.5%
令和元年産	209,140	185,314	88.6%
令和2年産	207,000	207,000	100.0%
令和3年産	207,000	207,000	100.0%
令和4年産	207,000	207,000	100.0%
令和5年産	208,000	201,725	97.0%
令和6年産	205,509	172,016	83.7%

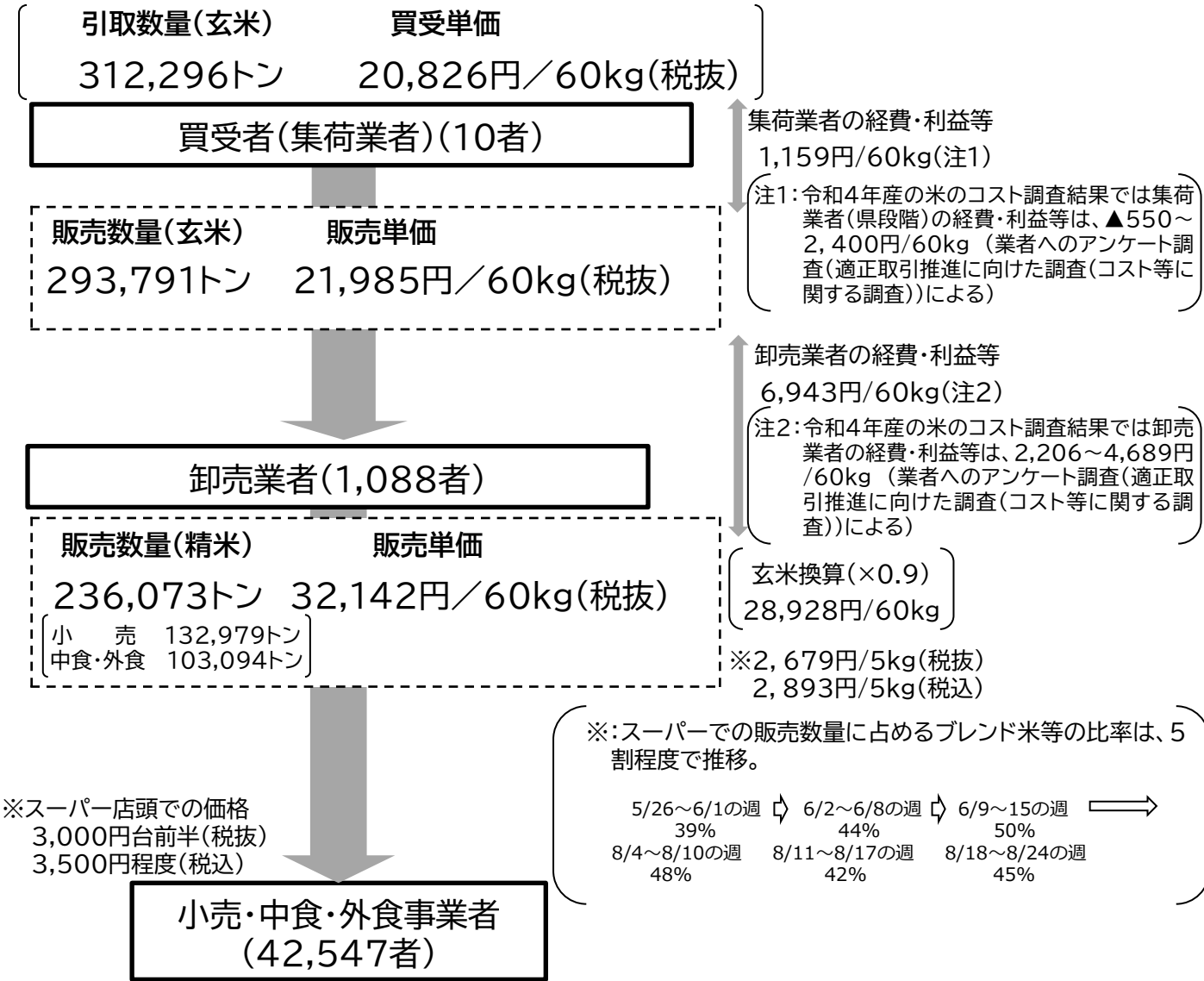
4 政府備蓄米の買戻し条件付売渡し
(1) 入札結果

一定期間後に買戻すことを条件として、3回の入札を実施し、約31万トンが落札されています。

回数	実施日	参加者	落札数量	落札価格(※1)
第1回	令和7年3月10日(月)～12日(水)	7事業者	141,796トン	21,217円(税抜き) 22,914円(税込み)
第2回	令和7年3月26日(水)～28日(金)	4事業者	70,336トン	20,722円(税抜き) 22,380円(税込み)
第3回	令和7年4月23日(水)～25日(金)	6事業者	100,164トン	20,302円(税抜き) 21,926円(税込み)
計		10事業者 (※2)	312,296トン	20,812円(税抜き) 22,477円(税込み)

※1：落札された販売区分の加重平均価格であり、容器包装込みの玄米60キログラム当たりの金額
※2：第1回から第3回の合計（ただし、重複を除く）

(2) 政府備蓄米の買戻し条件付売渡しに係る流通実績 (3/17～8/17)



注 事業者数は、異なる買受者から同一の卸売業者、複数の卸売業者から同一の小売・中食・外食事業者への販売もあることから、延べ数としてカウント。販売数量は、実トン。()内の値の販売金額は、60実kg当たりの単価。

5 随意契約による政府備蓄米の売渡し

政府備蓄米を「随意契約（※）」により売渡しています。

※随意契約とは、競争入札によらず、任意に特定の契約の相手方を選定して、その者と契約を締結します。契約の性質又は目的が競争を許さない場合等に認められます。

（１）随意契約による政府備蓄米の売渡しの状況

販売対象者

- ① 大手小売業者
（年間 10,000 トン以上の取扱数量（見込み含む））
- ② 中小小売業者
（年間 1,000 トン以上、10,000 トン未満の取扱数量（見込み含む））（これらの共同購入を含む）
- ③ 精米能力を有する米穀小売店
（これらの共同購入を含む）
- ④ 中食・外食（給食等）事業者
（これらの共同購入を含む）

販売価格（税抜）

令和 4 年産：11,010円／60kg
令和 3 年産：10,080円／60kg
令和 2 年産：9,140円／60kg

買受者からの販売状況の報告・公表

- ・販売数量・金額を隔週で農林水産省へ報告
- ・POS データを毎週報告（④には求めない）
- ・報告内容は当省で取りまとめ、農林水産省HPで公表

販売対象米穀・数量

（1）5月26日・27日申込受付

<対象・数量>

- ・①大手小売業者 22万トン（4年産20万トン、3年産2万トン）
→申込確定（6月10日時点）：212,535トン（4年産194,892トン、3年産17,643トン）

（2）5月30日～申込受付

<対象・数量>

- ・②中小小売業者：6万トン（3年産）
- ・③精米能力を有する米穀小売店：2万トン（3年産）
→申込確定（6月19日時点）：②31,212トン ③13,058トン

（3）6月11日～申込受付

<対象>

- ・①大手小売業者
- ・②中小小売業者
- ・③精米能力を有する米穀小売店
- ・④中食・外食（給食等）事業者（6月20日～申込受付）

<数量>

3年産10万トン、2年産10万トン

うち3年産10万トンと中小小売業者向けの残余の約2万トン（3年産）を先行して売渡し

→申込確定（8月1日時点）：①21,084トン ②4,930トン ③6,886トン ④11,808トン

(2) 販売状況

- ・ 随意契約により売り渡した政府備蓄米は、販売実績等について隔週・月ごとにとりまとめ、公表しています。
- ・ 9月5日には、8月4日から8月17日期分について下記のとおり公表しました。

(令和7年9月5日公表分)

随意契約による政府備蓄米の売渡しの販売数量等報告結果（隔週の速報）
(8/4～8/17期分)

※ 買受金額及び販売金額の「(単価)」の単位は、円/60キログラム(税抜き)とする。
※ 買受金額(単価)は、実際に引き渡した備蓄米の年産及び等級間格差を差し引いた加重平均価格であり、国が提示した販売価格と一致しない場合がある。
※ 買受数量は、買受資格者から申告のあった数量であり、当該期に国が引き渡した数量と一致しない場合がある。
※ 販売実績の「事業者数」は、買受者ごとの報告の積み上げであり、重複して計上される場合がある。
※ 5kg詰精米換算(店頭価格)は、報告結果の価格を対象として農林水産省が作成したものである。
※ 商取引等に支障を来すおそれがあるため、買受者数が4者以下の場合にあっては随意契約に係る政府備蓄米買受者数は記載しない(「-」と表記する。)
※ ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

I. 買受者：大手・中小小売業者、精米能力を有する米穀小売店

報告期	買受実績			販売実績						
	事業者数 (者)	買受数量 (玄米トン)	買受金額 (単価) (千円(税抜き))	事業者数 (者)	販売数量 (実トン)	販売金額 (単価) (千円(税抜き))	5kg詰精米換算(販売価格)			
							最低価格	中央値	最高価格	
5/26 ～ 6/8	23	16,130	2,953,599 (10,987)	24	1,945	764,414 (23,576)	1,768	1,963	2,000	
6/9 ～ 6/22	63	32,005	5,767,529 (10,812)	114	17,797	6,881,258 (23,200)	1,599	1,965	2,037	
6/23 ～ 7/6	155	34,398	6,250,837 (10,903)	219	27,010	10,283,164 (22,843)	1,100	1,802	2,195	
7/7 ～ 7/20	262	32,471	5,750,682 (10,626)	410	25,958	9,738,814 (22,511)	1,243	1,799	2,213	
7/21 ～ 8/3	343	29,383	4,879,705 (9,964)	445	26,395	9,867,901 (22,431)	1,246	1,796	2,250	
8/4 ～ 8/17	362	26,852	4,753,108 (10,621)	469	25,057	9,294,593 (22,256)	1,226	1,800	2,250	
8/18 ～ 8/31										
合計	1,208	171,239	30,355,459 (10,636)	1,681	124,162	46,830,144 (22,630)	-	-	-	

II. 買受者：外食事業者・中食事業者、給食事業者

報告期	買受実績			使用実績	
	事業者数 (者)	買受数量 (玄米トン)	買受金額 (単価) (千円(税抜き))	事業者数 (者)	使用数量 (実トン)
5/26 ～ 6/8	-	-	-	-	-
6/9 ～ 6/22	-	-	-	-	-
6/23 ～ 7/6	-	-	-	-	-
7/7 ～ 7/20	-	500	84,000 (10,080)	-	193
7/21 ～ 8/3	9	806	135,427 (10,076)	9	561
8/4 ～ 8/17	12	3,339	555,858 (9,988)	18	1,943
8/18 ～ 8/31					
合計	-	4,646	775,285 (10,013)	-	2,697

(注) 8/20に公表した「随意契約による政府備蓄米の売渡しの今後の対応について」では、同日までに18万トン(玄米ベース)が引渡し済としているが、本報告では、8/17までの引渡しとして約17万トンと集計したもの。

(3) 随意契約による政府備蓄米の加工原材料用向け販売

販売開始時期

令和7年8月1日から、申込受付開始

販売対象者

「米穀の買入れ・販売等に関する基本要領」（平成21年5月29日付け21総食第113号総合食料局長通知。）第4章Ⅰ第2の1の(2)及び(3)に規定する加工原材料用の買受資格を有する者であって、加工用米若しくは新規需要米（米粉用米）の令和4年産から6年産までのいずれかで取組実績があり、かつ令和7年産の加工用米若しくは新規需要米（米粉用米）について、取組計画のある者（今回の政府備蓄米の購入契約数量以上に令和8年産の加工用米若しくは新規需要米（米粉用米）の購入を希望する者に限る。）であること。

ただし、産地の都合で令和7年産の取組計画が立てられなかった者については、取組実施主体との取引ができなかった旨の証明をもって申し込みができるものとする。

販売対象米穀・数量等

対象米穀：令和2年産政府備蓄米（玄米（水稻うるち玄米1・2等）、精米）

対象数量：7万5千トン（玄米5万2千トン、精米2万3千トン）

申込限度数量：加工用米及び新規需要米（米粉用米）の令和4年産から6年産までのいずれかの取組契約実績と7年産の取組計画数量の差（7年産不足分）を上限とする。

販売価格：玄米 151,840円／トン（税抜き）
精米 187,460円／トン（税抜き）

引渡期間：令和7年8月21日～令和8年2月末

販売対象用途

加工原材料用の使用用途：基本要領第4章Ⅰ第1の2の(2)の各号に掲げる使用用途。

- ア 酒類用（焼酎用、泡盛用（沖縄県下の買受資格者に販売する場合に限る。）リキュール類用、スピリッツ用、みりん用、ビール用、雑酒用又は純粋酵母用）
- イ 調味料用（味噌用、食酢用、醤油用、こうじ（清酒用こうじは除く。）用、たれ調味料用、もろみ（清酒用もろみは除く。）用又は香辛料用）
- ウ 菓子用（米菓用又は和菓子用）
- エ 米穀粉用（上新粉やみじん粉等の米穀粉用、乳児穀粉用、玄米粉用又はビーフン粉用）
- オ 加工品用（甘酒用、玄米茶用、漬物もろみ用、朝食シリアル用、乳児食用、ライススターチ用、味米用、いり玄米スープ用又は水産練製品用）
- カ 小麦粉混入製品用（米穀粉入りめん用又は米穀粉入りフライ用）
- キ その他農産局長が必要と認める用途（※）
（※）清酒用、加工米飯用（肉又は魚、甲殻類、軟体動物その他の水棲動物の混入割合が3%以上（仕込時）である密封包装したレトルト米飯、冷凍米飯等であって、2ヶ月以上の保存に耐えられるもの）、ビタミン強化米用、アルファ化米又はアルファ化米を原料とする製品用、包装もち用又は米穀粉混入製品用

○申込みの確定情報等最新の情報は、下記URL又は右のQRコードから確認できます。

https://www.maff.go.jp/j/seisan/syoryu/bichiku_zuikai/zuikai.html



6 令和7年産水稻の生育状況について（令和7年9月1日報告時点）

全国概要	全国的に生育は平年より早く推移しており、関東以西では収穫作業が始まった。 一部で大雨等の災害による被害があったものの、生育への大きな影響は報告されていない。
------	---

（北海道～宮城県）

都道府県	生育ステージ	対平年遅速	生育概況	問題点等	病虫害発生 予察注意報 ・警報発令状況
北海道	成熟期	早8日	生育は気温が高く日照時間が多かったため、平年より早く進んでいる。	特になし	特になし
青森県	県全体 成熟期～収穫期	- 出穂最盛期 早7日	・出穂最盛期は平年より7日早い7月28日で、その後も高温に推移したことから、刈取適期の始めは平年よりも早まる見込み。 早い地域では、8月末から収穫が始まっている。 「まっしぐら」は平年と比べ、稈長が並、穂長はやや長く、㎡当たり穂数はかなり少なかった。 <本年（平年差・比）> 稈長 78.2cm（101%） 穂長 19.3cm（105%） 穂数 356本/㎡（91%）	・8月21日発行の「稲作生産情報第7号」において、適期刈取等について呼びかけた。	特になし
	津軽地域 （県西部） 出穂期	- 出穂最盛期 早7日	・出穂最盛期は平年より7日早い7月28日で、その後も高温に推移したことから、刈取適期の始めは平年よりも早まる見込み。 「まっしぐら」は平年と比べ、稈長が並、穂長はやや長く、㎡当たり穂数はかなり少なかった。 <本年（平年差・比）> 稈長 78.9cm（101%） 穂長 19.2cm（104%） 穂数 358本/㎡（89%）		特になし
	津軽地域 （県西部） 成熟期～収穫期	- 出穂最盛期 早9日	・出穂最盛期は平年より9日早い7月26日で、その後も高温に推移したことから、刈取適期の始めは平年よりも早まる見込み。 「まっしぐら」は平年と比べ、稈長が並、穂長はかなり長く、㎡当たり穂数はかなり少なかった。 <本年（平年差・比）> 稈長 77.1cm（101%） 穂長 19.3cm（107%） 穂数 352本/㎡（94%）		特になし
岩手県	黄熟期～成熟期	早4日	・出穂盛期（出穂割合50%）は8/1で平年より2日早い。 ・出穂終期（出穂割合90%）は8/4で平年より4日早い。 ・刈取適期の目安である、出穂盛期からの登熟積算気温950℃到達は、9/8頃と予想され、平年より5日早い見込み。	・出穂期以降も高温で推移し、刈取が早まることが予想されたため、刈り遅れによる品質低下を防ぐことを目的に、「高品質・良食味米生産に向けた適期収穫の徹底について（8/22）」「農作物技術情報第6号（8/28）」で適期収穫の徹底を呼びかけている。	特になし
宮城県	黄熟期	早3日	・古川農業試験場作況ほにおける出穂後25日調査結果では、稈長は平年並（86.8cm、平年比98%）、穂数はやや少ない（459本/㎡、平年比94%）。沈下粒歩合は平年より高く、登熟は早く進んでいる。出穂日と登熟期間の積算温度から予測される作況ほの成熟期は平年より3日早い9月6日と推察される。	・刈取適期の早期化が予測されることから、8月29日に県米づくり推進本部で臨時情報を公表した。	特になし

(秋田県～群馬県)

都道府県	生育 ステージ	対平年 遅速	生育概況	問題点等	病虫害発生 予察注意報 ・警報発令状況
秋田県	糊熟期～黄熟期	(出穂期) 早2日	○全県の出穂は7月31日(平年差早2日)であった。 ○8月18日の調査(あきたこまち、県平均)では、㎡当たり穂数は少なく、1穂当たり着粒数は多く、㎡当たり着粒数は平年並だった。	○8月の大雨により、土砂の流入や冠水・浸水したほ場が見られる。	特になし
山形県	黄熟期	早7日	・籾数は平年並み、登熟は平年より7日程度早い。	6月下旬から7月の少雨の影響で用水が確保できなかった一部圃場では、イネの枯れ上がりが見られた。	特になし
福島県	糊熟期～黄熟期	早6日～遅1日	農業総合センター作柄解析ほ 出穂期 <品種本年(平年差)> 【中通り】 ひとめばれ 7月29日(早4日) コシヒカリ 8月7日(早2日) 【会津】 ひとめばれ 7月27日(早3日) コシヒカリ 8月4日(±0日) 【浜通り】 ひとめばれ 7月26日(早4日) コシヒカリ 8月3日(早5日)	全般に、出穂が早まっている。出穂後の高温による白未熟粒、斑点米カメムシ類による斑点米による品質低下が懸念される。	令和7年7月16日 令和7年度 病虫害発生予察情報(注意報) (水稻・斑点米カメムシ類・県内全域・発生時期やや早い・発生量多い)
茨城県	(あきたこまち) 収穫期	早1日～遅3日	・夏季の高温の影響で平年よりも出穂が早まったが、7月第3半旬の低温により出穂始め～出穂揃いが長引き、成熟期は早1日～遅3日となった。	特になし	(7月10日発行 病虫害発生予察注意報第1号 茨城県病虫害防除所) ・斑点米カメムシ類 (イネカメムシ、クモヘリカメム等) 発生量:「多い」 発生地域:県下全域
	(コシヒカリ) 成熟期～収穫期	早4日～早2日	・夏季の高温の影響で平年よりも出穂・登熟が早まったため、成熟期は早4日～早2日となり、収穫は前倒して進んでいる。	特になし	
栃木県	(早植) 黄熟期～収穫期	早9日	出穂期が平年より早く、県南地域で8/14から収穫が始まった。	出穂後高温に経過したことから高温障害による品質の低下が懸念されるため、適期収穫を徹底する。	・県南地域にイネカメムシに関する病虫害発生予察注意報(7月8日付け)が発信された。 ・県全域に斑点米カメムシ類に関する病虫害発生予察注意報(7月14日付け)が発信された。
	(普通植) 乳熟期～糊熟期	早3日	前年に比べ草丈がやや長く茎数はやや少ない。	早植と同様に品質の低下が懸念される。	
群馬県	(平坦地早期) 成熟期～収穫期	早4日～±0日	出穂後の高温により、白未熟粒による外観品質の低下が懸念される。	斑点米カメムシ類、内穎褐変病、紋枯病が平年よりやや多い。	7/18 発生予察注意報第1号(イネカメムシ) 邑楽館林地域 8/7 発生予察注意報第2号(イネカメムシ) 県中部、西部、東部地域 8/22 発生予察注意報第3号(斑点米カメムシ類) 県内全域
	(中山間早植) 乳熟期～黄熟期	早3日～早7日	出穂期は平年より早まっており、成熟期も早まる見込み。出穂後の高温により、白未熟粒による外観品質の低下が懸念される。	斑点米カメムシ類、紋枯病が平年よりやや多い。	
	(平坦地早植) 乳熟期～黄熟期	早2日～早4日	出穂期は平年より早まっており、成熟期も早まる見込み。出穂後の高温により、白未熟粒による外観品質の低下が懸念される。	斑点米カメムシ類が平年よりやや多い。	
	(平坦地普通期) 穂ばらみ期～乳熟期	早3日～±0日	高温による下葉の黄化・赤枯れ症状が平年より多く見られるが回復傾向。	斑点米カメムシ類、紋枯病の発生が平年よりやや多い。	

(埼玉県～富山県)

都道府県	生育 ステージ	対平年 遅速	生育概況	問題点等	病虫害発生 予察注意報 ・警報発令状況
埼玉県	(早期) 黄熟期～成熟期	早5日	気温が高く推移しているため、生育は平年より5日早まっている。 (品質) 刈取りは始まっている。 収量はやや少なめ、白未熟粒の発生により1等比率が下がっている。 斑点米は問題にはなっていない。	白未熟粒の発生が多い。	イネカメムシ発生予察注意報第2、3号(7月3、23日) イネ斑点米カメムシ類発生予察注意報第4号(7月29日)
	(早植) 糊熟期～成熟期	早3日	気温が高く推移しているため、生育は平年より3日早まっている。	白未熟粒の発生が懸念される。	
	(普通期・麦あと) 乳熟期～糊熟期	早2日	気温が高く推移しているため、生育は平年より2日早まっている。		
千葉県	・早生・中生 収穫期 ・晩生 成熟期 ～収穫期	早14日～遅3日	出穂期以降に高温・多日照が続いたため、成熟期は平年に比べて早まっている。	高温・乾燥による品質への影響が心配される。また、台風シーズンに入るにあたり、倒伏、冠水等による品質低下を防ぐための対策をとる必要がある。	ごま葉枯病が「多」、紋枯病・ヒメトビウンカ・大型斑点米カメムシ類・カスミカメムシ類が「やや多」となっている。
東京都	成熟期～収穫期	早14日	連日の猛暑により、出穂以降の生育速度が平年よりかなり早い。	出穂以降が特に高温で推移したそのため、予想より収穫	

(石川県～京都府)

都道府県	生育 ステージ	対平年 遅速	生育概況	問題点等	病虫害発生 予察注意報 ・警報発令状況
石川県	・早生：収穫期 ・コシヒカリ： 収穫期	早5日～±0日	早生、中生共に順次 収穫中	特になし	・大雨の被害に対する 事後対策について（令 和7年8月7日） →冠水・浸水したほ場 ではできるだけ早くほ 場内の排水に努め、排 水後もほ場巡回を行い 病害の早期発見・防除 徹底に努める
福井県	早生：終了	早3日	収穫期は平年より3日早い。 収穫開始は8/12。 収穫作業は終了。	一部で高温、少雨による品質、 収量への影響がある。	斑点米カメムシ類の注 意報 胴割米発生注意報
	中生：成熟期～ 収穫期	早2日	成熟期は平年より2日早い見込み。 収穫開始は8/30。	高温、少雨による品質、収量 への影響がある可能性がある。	斑点米カメムシ類の注 意報 胴割米発生注意報
岐阜県	平坦部極早期 （早生） 収穫済	早1日	収穫済み	特になし	7/18斑点米カメムシ類 注意報
	平坦部早期 （早生） 成熟期～収穫期	早3日～±0日	概ね順調	カメムシ類が見られる。 高温で品質低下を懸念。	7/18斑点米カメムシ類 注意報
	中山間部早期 （早生） 糊熟期～収穫期	早4日～±0日	概ね順調	カメムシ類が見られる。 高温で品質低下を懸念。	7/18斑点米カメムシ類 注意報
	平坦部早期 （晩生） 乳熟期	早3日～±0日	概ね順調	特になし	7/18斑点米カメムシ類 注意報
	平坦部普通期 （晩生） 穂ばらみ期 ～出穂期	早2日～±0日	概ね順調	特になし	7/18斑点米カメムシ類 注意報
愛知県	（早期） 収穫期	早3日	生育診断によると平年より3日早で推移。 高温障害により未熟粒の発生が多い。	農業用水：概ね確保できているが、水圧が低下している地 区でしおれ症状が出ている。 カメムシ：前年に比べ発生量 が少ない。防除を実施してい る。局所的に発生が多いほ場 がある。	7/16病虫害発生予察注 意報（斑点米カメムシ 類）
	（早植） 乳熟期～糊熟期	早2日	生育診断によると2日早で推移。		
	（普通期） 出穂期～乳熟期	早1日	生育診断によると1日早で推移。		
三重県	（早期） 収穫期	早7日～早3日	収穫は平坦部が概ね完了した。収量は平 年並み～やや多い。品質は平年よりやや 悪い。	高温障害により玄米品質は平 年より悪い。	斑点米カメムシ類（注 意報：7月11日） トビイロウンカ（技術 情報：8月4日）
	（中山間） 成熟期～収穫期	早7日～早3日	伊賀地域を中心とした中山間部では収穫 最盛期となっている。	同上	同上
	（普通期） 出穂期～乳熟期	早3日	・6月以降の好天により、生育は良好で あり、出穂期もやや早い傾向である。	同上	同上
滋賀県	極早生： 収穫終了 早生： 成熟期～収穫期 中生～晩生： 糊熟期～黄熟期	早4日	・登熟期間が高温多照で推移し、平年よ り成熟期が早まっている傾向がある。	・収量は平年並の見込みだが、 猛暑等の影響により品質等へ の影響が懸念される。	特になし。
京都府 北部	黄熟期～成熟期 【普通植 （5/26移植）】 コシヒカリ	±0日	8月第4半旬以降気温が高い日が続き、葉 色がやや薄くなっている。成熟期は平年 よりやや早くなる可能性がある。 SPAD（8/22）：29.6(昨年31.4) 出穂期：8/3（平年並）	特になし	病虫害発生予察注意報 令和7年7月18日 斑点米カメムシ類（府 内全域）
京都府 南部	黄熟期 【普通植 （5/23移植）】 コシヒカリ	コシヒカリ 早2日 （出穂期）	主稈止葉葉位：12.4葉(平年比+0.2葉) SPAD（8/1）：35.0(昨年36.1) 出穂期：8/1（平年値8/3）	特になし	病虫害発生予察注意報 令和7年7月18日 斑点米カメムシ類（府 内全域）

(大阪府～山口県)

都道府県	生育 ステージ	対平年 遅速	生育概況	問題点等	病虫害発生 予察注意報 ・警報発令状況
大阪府	(山間部 ・極早生品種) 成熟期～収穫期	早2日	生育速度は例年と比較してやや早い	特になし	7/31付けで斑点米カメムシ類・紋枯病の注意報発表
	(平野部 ・中生品種) 出穂期～成熟期	早1日	中干し～間断灌漑 生育速度は例年と比較してやや早い	・高温 ・カメムシ類の多発	7/31付けで斑点米カメムシ類・紋枯病の注意報発表
兵庫県	成熟期～収穫期 (県北部)	早3日	気温が高く推移しているため生育が早まっている。草丈は平年並みからやや高く、茎数は平年に比べて著しく多い。	特になし	7月17日に斑点米カメムシ類の病虫害発生予察注意報を発令。
	穂ばらみ期 ～出穂期 (県南部)	早2日～±0日	気温が高く推移しているため生育が早まっている。草丈はやや低い、茎数は平年に比べて著しく多い。	特になし	
奈良県	平坦中間 出穂期～収穫期	±0	概ね順調	特になし	斑点米カメムシ類に関する注意報が発出(8月22日)
	山間 出穂期～収穫期	早2日	概ね順調	特になし	特になし
和歌山県	出穂期～収穫期	早7日～±0日	概ね順調	山や耕作放棄地の近くでカメムシの被害が発生している地域がある。登熟期の高温による品質低下の懸念あり。	特になし
鳥取県	糊熟期～ 黄熟期～成熟期	早1日	・茎数は多く、生育は概ね順調である。 ・一部で出穂・開花期の渇水の影響を受けたほ場が見られたが、現時点で干ばつによる顕著な被害情報は無い。 ・イネカメムシによる不稔穂発生等の目立った被害報告はない。	一部で、紋枯や縞葉枯及びごま葉枯病の発生が散見され、全般に斑点米カメムシ類の発生が多く、イネカメムシの目撃情報もあることから、引き続き対策を周知。	病虫害発生予察注意報第1号(イネカメムシ_7月11日発表) 病虫害発生予察注意報第2号(斑点米カメムシ類_7月22日発表)
島根県	出穂期～収穫期	早6日～早3日	コシヒカリ、つや姫、つきあかりが収穫期を迎え、きぬむすめが、穂揃期から乳熟期に入っている。 収穫はおおむね順調。	一部ほ場において、ニカメイチュウやイネカメムシが発生。 紋枯病、ごま葉枯病、内穎褐変病の病状がみられるほ場がある	病虫害発生予察情報注意報第1号(令和7年7月14日付け)を発表
岡山県	中北部 (早生 ・中生品種) 乳熟期～収穫期	早7日～±0日	概ね順調に生育している。 早生品種は8月中旬から収穫が始まっている。 中生品種は乳熟期～糊熟期で生育は平年並み～やや早い。	斑点米カメムシ類の発生がみられる。	8/6 病虫害発生予察注意報第1号(斑点米カメムシ類(アカスジカスミカメ等))
	南部 (中生 ・晩生品種) 分けつ後期 ～幼穂形成期	早3日～±0日	概ね順調に生育している。 高温のため生育はやや前進している。	特になし	
広島県	分けつ期後半 ～収穫期	早7日～±0日	連日の高温、晴天により、生育が早まっている。	・水不足、高温障害による収量、品質低下が懸念される。 ・一部地域で、イネ紋枯病が散見される。	令和7年7月25日発表 病虫害発生予察情報注意報第1号(斑点米カメムシ類)
山口県	(中山間) 乳熟期～収穫期	早3日～±0日	・生育は概ね順調	特になし	・水稻の斑点米カメムシ類注意報第2号発令(R7.8.6)
	(極早・平坦部) 収穫済	早5日～±0日	・生育は概ね順調		
	(早生・平坦部) 糊熟期～成熟期	早5日～±0日	・生育は概ね順調		
	(中生・平坦部) 出穂期～乳熟期	早3日～±0日	・生育は概ね順調		

(徳島県～長崎県)

都道府県	生育 ステージ	対平年 遅速	生育概況	問題点等	病虫害発生 予察注意報 ・警報発令状況
徳島県	(早期) 出穂期～収穫期	早3日～±0日	生育は概ね順調	特になし	特になし
	(普通期) 幼穂形成期～収 穫期	早3日～±0日	生育は概ね順調	特になし	特になし
香川県	(早期) 収穫期	早2日～±0日	・穂数：平年並 ・稈長：平年並 ・穂長：平年並	特になし	特になし
	(短期) 乳熟期～収穫期	早1日～±0日	・草丈：平年並 ・茎数：平年並～やや多 ・葉色：平年並 ・稈長：平年並 ・穂長：平年並	特になし	特になし
	(普通期) 出穂期～糊熟期	早1日～±0日	・草丈：平年並 ・茎数：平年並～やや多 ・葉色：やや低～平年並	特になし	特になし
愛媛県	(早期) 成熟期～収穫期	早7日～±0日	高温多照により生育は前進済み。収穫は順調だが、一部で白未熟粒や斑点米カメムシ類による着色粒がみられる。	白未熟粒や斑点米カメムシ類による着色粒の増加による品質低下が懸念される。	8/13 病虫害発生予察注意報（斑点米カメムシ類）
	(普通期) 分げつ後期～黄熟期	早3日～遅3日	生育は順調で、出穂期はやや前進傾向。	高温障害や斑点米カメムシ類の影響が懸念される。	8/13 病虫害発生予察注意報（斑点米カメムシ類）
高知県	(早期) 収穫期	早2日	6～7月に晴天の日が多く、概ね順調に生育しており、登熟が全体的に早い傾向にある。	カメムシによる被害、高温による白未熟粒が発生しているが、昨年より影響は少ない見込み。	特になし
	(普通期) 出穂期～黄熟期	±0日	概ね順調に生育している。	生育のバラツキが大きい。	特になし
福岡県	早期 黄熟期～収穫期	早2日～±0日	生育は概ね順調。	特になし	令和7年7月22日 病虫害発生予察注意報 （水稻の斑点米カメムシ類）
	普通期（県北） 出穂期～収穫期	早2日～±0日	生育は概ね順調。	特になし	
	普通期（県南） 穂ばらみ期～糊熟期	早2日～±0日	生育は概ね順調。	特になし	
佐賀県	(極早期) 収穫終了	早2日～早1日	—	・特になし	・特になし
	(早期) 黄熟期～収穫期	±0日～遅2日	・生育は良好で、順調に収穫作業が進んでいる。	・特になし	・病虫害発生予察注意報第1号（斑点米カメムシ類）（8/6）
	(普通期) 出穂期～乳熟期	早3日～遅2日	・生育良好。 ・平年と同時期に移植した圃場では、気温が高く推移したことから生育は平年よりやや早くなっている。 ・気温が高く推移しているため、カメムシ類や紋枯病などの病虫害が一部発生しているものの、大きな被害は確認されていない。	・特になし	・病虫害発生予察注意報第1号（斑点米カメムシ類）（8/6）
長崎県	(早期) 収穫期～収穫終了	早2日～±0日	登熟期も、好天が続いており、収穫は概ね順調に進んでいる。	特になし。	令和7年度病虫害発生予察 注意報第1号（令和7年7月16日）：早期・普通期水稻について県下全域で穂吸汁性カメムシ類の発生が「多」と予想される。
	(普通期) 出穂期～乳熟期	早2日～±0日	概ね生育は順調であるが、高温多照の影響により一部圃場では生育過剰気味となっている。	穂吸汁性カメムシについて、発生に好適な気象条件であるため、各地域における講習会などで今後の発生に注意喚起を行っている。	同上

(熊本県～鹿児島県)

都道府県	生育 ステージ	対平年 遅速	生育概況	問題点等	病虫害発生 予察注意報 ・警報発令状況
熊本県	(早期) 収穫期～収穫完了	早5日～±0日	概ね良好	・一部地域では、8/11の豪雨によりほ場に土砂や河川水が流入。	・令和7年8月20日付けて「病虫害発生予察注意報第2号（早植え、普通期水稻の斑点米カメムシ類）」を発出
	(早植え) 乳熟期～収穫期	早5日～±0日	概ね良好	・8/11の豪雨により、一部地域ではほへの土砂流入、用水路の破損等が発生している。 ・冠水が発生した地域では、今後、病虫害発生等が懸念され、防除徹底等が指導されている。	
	(普通期) 穂ばらみ期～乳熟期	早5日～遅3日	概ね良好		
	(晩期) 分けつ後期～出穂期	早5日～±0日	概ね良好		
大分県	(早期) 黄熟期～収穫期	±0日	収穫はおおむね終了	一部圃場で紋枯病が発生	8月4日に斑点米カメムシ類の注意報を発令
	(普通期・中山間) 出穂期～黄熟期	±0日	順調に生育している		
	(普通期・平坦) 出穂期～糊熟期	±0日	順調に生育している		
宮崎県	(早期) 収穫期	±0日	収穫最盛期は平年並みの7月29日 収量は「平年並み」以上 倒伏は少ない。	登熟期間中の高温により白未熟粒が多く、コシヒカリの1等米	

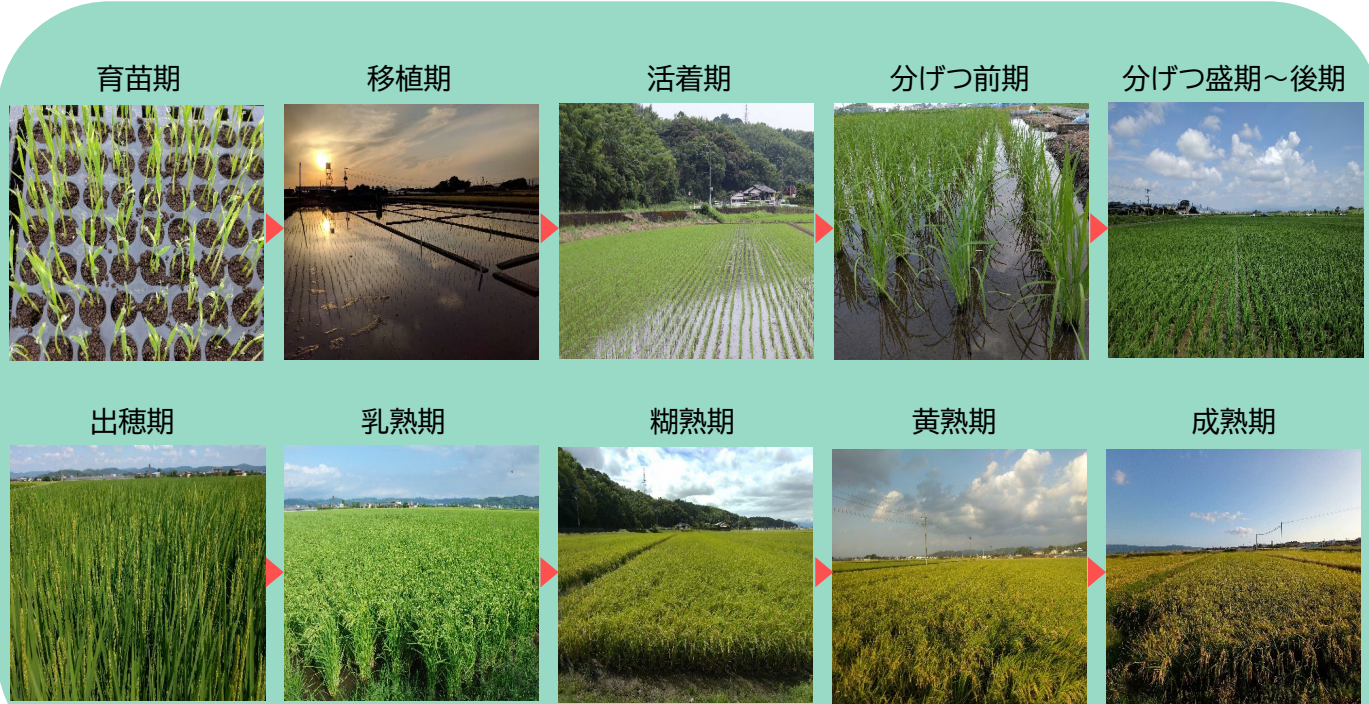
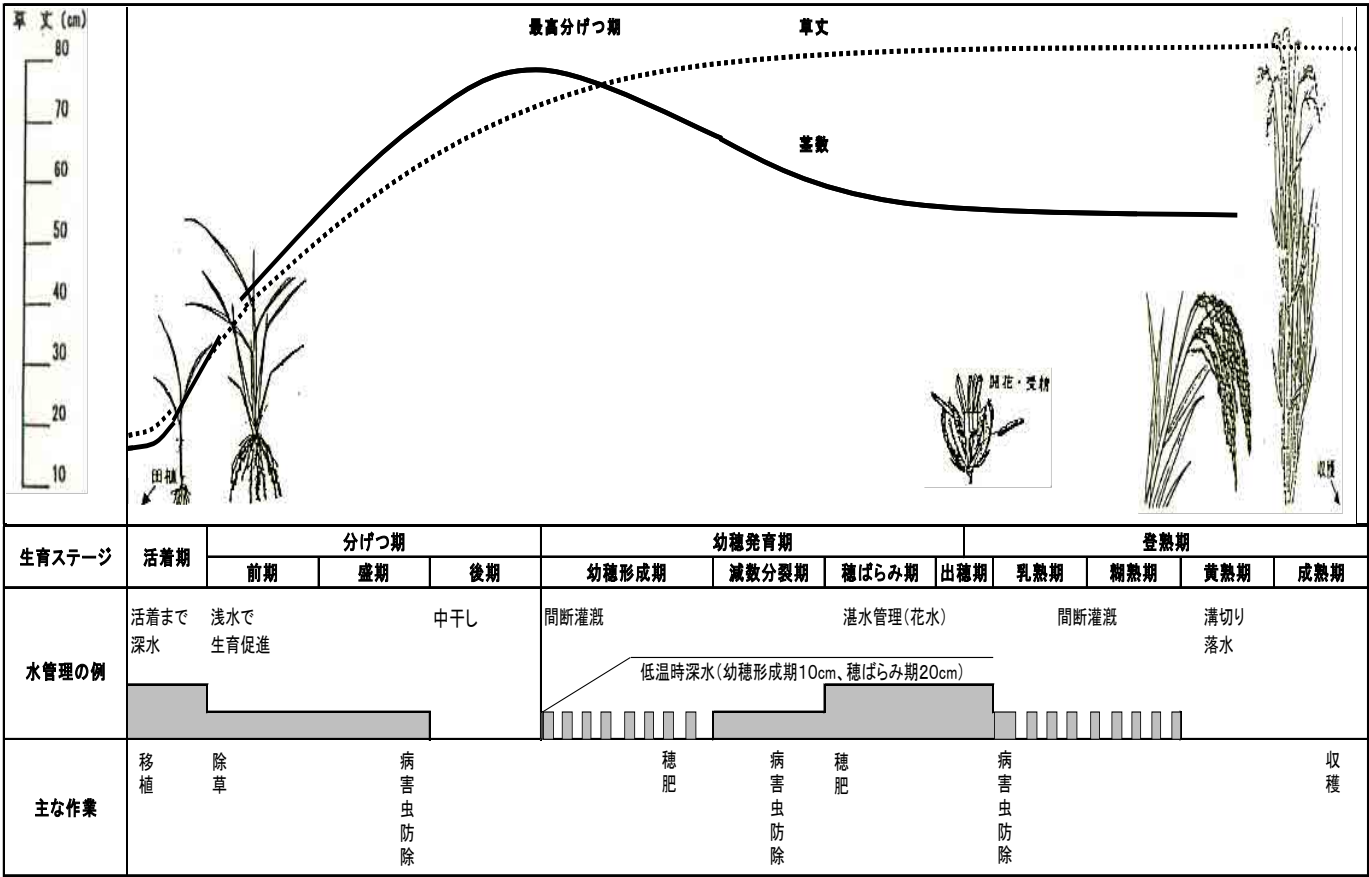
都道府県	生育ステージ	対平年遅速	生育概況	問題点等	病虫害発生予察注意報・警報発令状況
沖縄県	(1期作目) 収穫済				
	(2期作目) 育苗期～穂ばらみ期	早8日～遅14日	一期作の収穫遅れにより、二期作の生育ステージにばらつきがあるものの、生育は概ね順調。	・一部圃場でスクミリングガイなど害虫の被害があるため防除指導中。	特になし。

- ※1 本表は、水稻の生育状況の公表についてご協力いただいた各都道府県から農林水産省農産局穀物課が聞き取った内容を記述している。
- ※2 必要に応じて地域の代表的な作型や地帯（早期・普通期、平坦部・中山間、北部・南部など）に区分して記述している。
- ※3 生育ステージの主な区分は、播種期、育苗期、田植期、活着期、分げつ前期、分げつ盛期、分げつ後期、幼穂形成期、減数分裂期、穂ばらみ期、出穂期、乳熟期、糊熟期、黄熟期、成熟期、収穫期。
- ※4 対平年遅速は、本年の生育が平年に比べて進んでいる場合には、「早〇日」、遅れている場合には、「遅〇日」、変わらない場合には、「±〇日」と記述している。
- ※5 生育概況の欄には、生育、登熟の概況を記述している。
- ※6 問題点等の欄には、病虫害及び気象被害等の発生について、その発生地帯（作型）、被害の程度及びそれらに対する技術指導の状況等を記述している。
- ※7 病虫害発生予察注意報・警報発令状況の欄には、当該都道府県において発令された注意報・警報について、発令日と対象病虫害、対象地帯（作型）等を記述している。

生育ステージ用語一覧

生育ステージ	定義
播種期 (はしゆき)	種もみを播く時期
育苗期 (いくびようき)	苗を育てる時期
田植期 (たうえき)	稲の苗を苗代から水田に植え付ける時期
活着期 (かっちゃくき)	植え付けた苗から新根が発生して、それらが伸び始める時期
分げつ前期 (ぶんげつぜんき)	分げつ(茎)が出始める時期
分げつ盛期 (ぶんげつせいき)	分げつが最も盛んに出る時期、この時期以降に発生する分げつは無効化しやすい
分げつ後期 (ぶんげつこうき)	分げつが最も多くなる時期、この時期以降は分げつが減少する
幼穂形成期 (ようすいけいせいき)	幼穂の長さが1～2mm程度となる時期、出穂前24～22日頃に相当
減数分裂期 (げんすうぶんれつき)	幼穂の長さが8cm程度となる時期、出穂前12日頃に相当
穂ばらみ期 (ほばらみき)	茎の中の穂が膨らむ時期
出穂期 (しゅつすいき)	ほ場全体の穂の40～50%が出穂した時期
乳熟期 (にゅうじゅくき)	粃をつぶすとまだ白いでんぷん液の出る時期、出穂後2週間程度
糊熟期 (こじゅくき)	粃がまだ緑色を保ち、指で圧して硬さを感じ始める時期
黄熟期 (おうじゅくき)	玄米は透明度を増すが、まだ多くが緑色を呈する時期、成熟期前1週間位の時期
成熟期 (せいじゅくき)	粃の黄化が全粃数の80～90%以上に達した時期
収穫期 (しゅうかくき)	収穫する時期、粃の含水率が約25%～21%の期間

参考 各生育ステージの様子(イメージ)



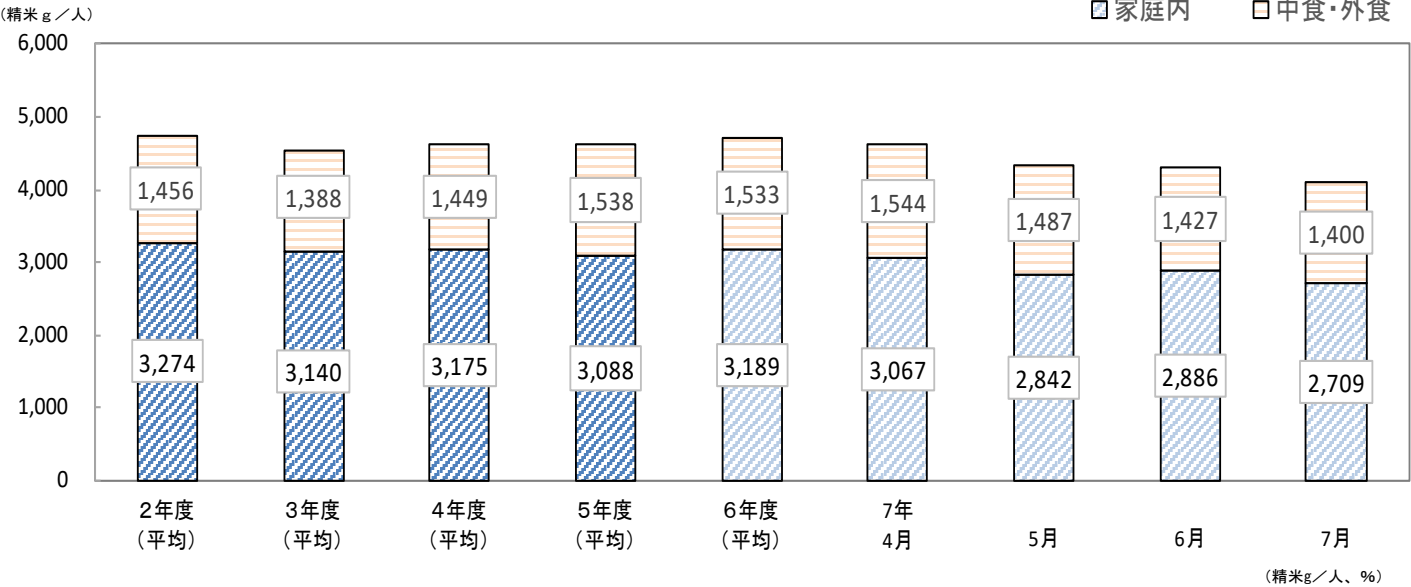
4 消費の動向

1 米の消費動向（米穀機構による調査）

調査結果の概要につきましては、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。
【 <https://www.komenet.jp/> 】

- 米穀機構が公表している「米の消費動向調査」（令和7年7月分）によると、1人1ヵ月当たりの精米消費量は、対前年同月比▲9.1%。
- このうち、家庭内での消費量は対前年同月比▲10.6%、中食・外食では▲6.0%。

（1）1人1ヵ月当たり精米消費量



	精米消費量 (g)					内訳比率 (%)					前年同月比 (%)				
	合計					合計					合計				
	家庭内		中・外食			家庭内		中・外食			家庭内		中・外食		
	合計	中食	外食	合計	中食	外食	合計	中食	外食	合計	家庭内	中食	外食	合計	外食
令和元年度	4,626	3,114	1,512	885	627	100.0	67.3	32.7	19.1	13.6	4.5	0.5	14.0	13.1	15.3
2年度	4,730	3,274	1,456	954	502	100.0	69.2	30.8	20.2	10.6	2.2	5.1	▲3.7	7.8	▲19.9
3年度	4,529	3,140	1,388	906	482	100.0	69.3	30.6	20.0	10.6	▲4.2	▲4.1	▲4.7	▲5.0	▲4.0
4年度	4,625	3,175	1,449	918	531	100.0	68.6	31.3	19.8	11.5	2.1	1.1	4.4	1.3	10.2
5年度	4,626	3,088	1,538	963	574	100.0	66.8	33.2	20.8	12.4	0.0	▲2.7	6.1	4.9	8.1
6年度	4,722	3,189	1,533	929	604	100.0	67.5	32.5	19.7	12.8	2.1	3.3	▲0.3	▲3.5	5.2
令和7年 4月	4,611	3,067	1,544	944	600	100.0	66.5	33.5	20.5	13.0	▲9.4	▲10.8	▲6.7	▲6.3	▲7.3
5月	4,329	2,842	1,487	905	582	100.0	65.7	34.3	20.9	13.4	▲9.5	▲13.5	▲0.9	0.6	▲3.2
6月	4,313	2,886	1,427	853	574	100.0	66.9	33.1	19.8	13.3	▲10.2	▲11.1	▲8.3	▲11.6	▲2.7
7月	4,108	2,709	1,400	836	563	100.0	65.9	34.1	20.4	13.7	▲9.1	▲10.6	▲6.0	▲6.8	▲5.1

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」
注1：令和7年7月分の有効調査世帯数は1,578世帯。
2：令和2～6年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。
3：調査対象世帯の入れ替えや補充による調査結果の補正は行っていないため、調査結果の経年比較等の際には、留意が必要である。
4：家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。
5：集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が令和2～3年度は平成27年国勢調査、令和4～6年度は令和2年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で推計。
6：四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

- ・ 精米購入時の動向について、入手経路は「スーパーマーケット」が最も多く、次いで「インターネットショップ」、「家族・知人などから無償で入手」の順となっている。
- ・ 精米購入経路別の購入単価は、「デパート」が最も高く、次いで「米穀専門店」、「産地直売所」の順となっている※。
※購入割合が有効調査世帯数の1%に満たない精米購入経路を除いた順である。
- ・ 令和7年7月の家庭内の月末在庫数量は、6.3kgとなっている。

(2) 精米購入時の動向

(ア) 入手経路(複数回答)

(%)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	家族・知人などから無償で入手	その他	有効調査世帯数
令和2年度	1.5	49.8	5.7	3.9	0.3	7.0	1.1	2.4	1.1	5.0	9.7	15.2	4.1	-
令和3年度	1.6	50.5	6.6	3.9	0.2	6.3	0.8	2.3	1.2	5.5	8.6	15.0	4.3	-
令和4年度	1.2	50.1	5.5	4.8	0.4	6.0	1.0	2.3	1.4	4.6	8.9	15.3	4.4	-
令和5年度	1.4	50.1	6.9	4.4	0.3	5.2	1.0	2.4	1.9	4.8	8.6	15.3	4.6	-
令和6年度	1.1	51.8	8.4	3.6	0.4	5.9	1.3	2.6	1.9	4.8	8.3	14.7	3.1	-
令和7年4月	1.6	54.5	8.1	4.3	0.1	5.3	1.9	3.4	1.8	5.1	8.0	12.8	3.8	-
5月	1.0	55.8	6.2	4.9	0.1	5.6	1.3	3.1	2.3	5.1	7.2	12.6	3.7	-
6月	1.5	55.3	7.5	3.9	0.9	4.6	1.0	2.6	1.0	4.5	12.6	12.8	2.9	-
7月	1.6	55.6	7.1	2.1	1.0	5.3	1.2	2.3	1.5	3.9	13.0	12.7	1.9	-

注：令和2～6年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。

(イ) 精米購入経路別の購入単価(複数回答)

(円/kg)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	有効調査世帯数
令和2年度	533	400	375	347	※547	434	397	477	415	358	492	-
令和3年度	541	373	357	315	※612	412	※417	485	451	358	471	-
令和4年度	505	371	328	313	※466	395	393	468	424	347	437	-
令和5年度	498	400	361	325	※427	414	406	515	435	338	513	-
令和6年度	711	588	555	526	※680	604	521	634	533	400	683	-
令和7年4月	947	828	811	785	※804	786	716	814	717	472	863	-
5月	861	827	812	810	※1216	796	696	788	833	622	940	-
6月	830	758	742	721	※474	794	588	793	941	545	735	-
7月	1,045	713	639	693	400	707	680	769	767	451	574	-

- 注：1 デパート、スーパーマーケット、生協は、実店舗の購入単価であり、インターネットを利用した購入は含まない。
2 購入単価は消費税を除く本体価格である。
3 表中の※付きの単価は、当該経路での購入割合が有効調査世帯数の1%に満たないため参考値とする。
4 令和2～6年度は4月から翌年3月までの平均値である。

(ウ) 家庭内の月末在庫数量

(kg/世帯、%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年比
2年度	月末在庫数量	7.1	6.5	6.6	6.2	6.0	6.3	6.4	6.8	6.7	6.6	6.5	6.4	6.5	4.8
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	-
3年度	月末在庫数量	6.2	6.1	5.8	5.8	5.7	6.2	6.9	7.1	6.9	6.8	6.8	6.7	6.4	▲ 1.5
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.33	-
4年度	月末在庫数量	6.6	6.6	6.4	6.5	6.4	6.3	6.6	6.8	7.0	6.8	6.5	6.6	6.6	3.1
	平均世帯人員	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.22	2.22	2.22	2.22	2.22	2.22	2.22	-
5年度	月末在庫数量	6.0	6.1	6.1	6.0	5.8	5.8	5.9	6.0	6.1	6.0	5.9	5.6	5.9	▲ 10.6
	平均世帯人員	2.21	2.21	2.21	2.21	2.22	2.22	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	-
6年度	月末在庫数量	5.9	5.7	5.9	5.6	5.8	6.0	6.4	6.6	6.9	6.6	6.2	6.1	6.1	3.4
	平均世帯人員	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	2.21	-
7年度	月末在庫数量	6.2	5.9	6.1	6.3									6.1	0.0
	平均世帯人員	2.21	2.21	2.21	2.21									2.21	-

注：1 地域ごとの世帯人員構成比が令和2～3年度は平成27年国勢調査、令和4～6年度は令和2年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で集計した。

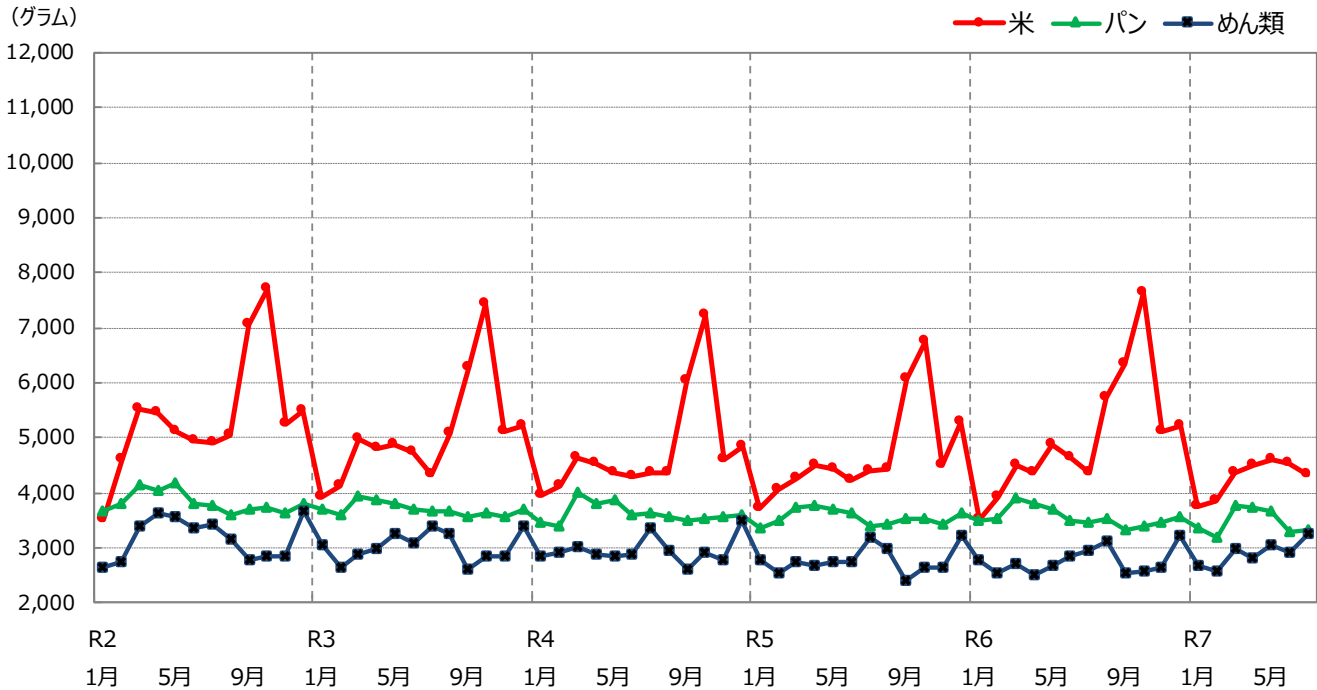
注：2 平均世帯人員は、各月の有効調査世帯の平均人員数である。

2 購入数量・支出金額の推移（家計調査）

家計調査、消費者物価指数、小売物価統計の累年データについては、総務省統計局HPから御覧いただけます。【 <https://www.stat.go.jp/data/index.html> 】

- 総務省が公表している家計調査によると、令和7年7月の米の購入数量は、対前年同月▲0.7%の4.3kg、パンは▲3.8%の3.3kg、めん類は+9.6%の3.3kg。

1 世帯当たり 1 か月間の購入数量の推移



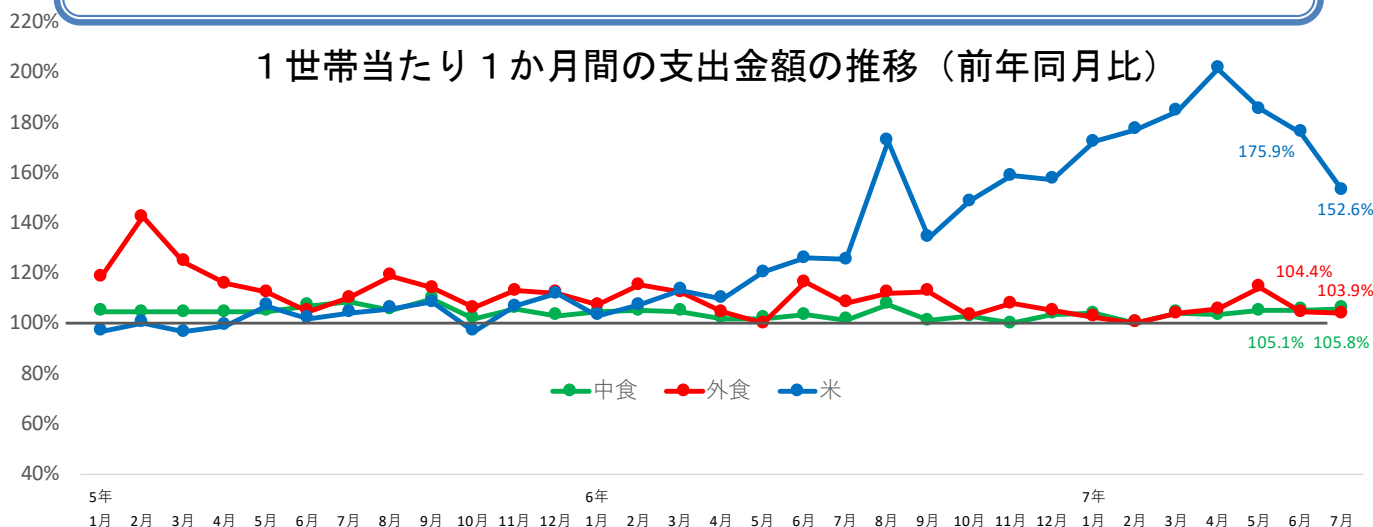
(グラム)

	米		パン		めん類	
	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比
令和2年	64,530	103.7%	45,857	99.7%	38,021	114.6%
3年	60,800	94.2%	44,345	96.7%	36,208	95.2%
4年	57,380	94.4%	43,571	98.3%	35,557	98.2%
5年	56,650	98.7%	42,680	98.0%	33,345	93.8%
6年	60,200	106.3%	42,702	100.1%	33,192	99.5%
令和7年 1月	3,760	106.8%	3,350	95.7%	2,688	96.9%
2月	3,860	98.5%	3,178	89.6%	2,574	100.7%
3月	4,380	97.6%	3,752	96.4%	2,994	110.0%
4月	4,500	102.7%	3,722	97.6%	2,824	112.3%
5月	4,590	94.3%	3,659	99.3%	3,061	114.3%
6月	4,550	98.1%	3,299	94.0%	2,922	102.5%
7月	4,340	99.3%	3,327	96.2%	3,251	109.6%

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯
注1：米は精米ベースである。

- 総務省が公表している家計調査によると、1世帯当たり1か月間の令和7年7月の中食の支出金額は、対前年同月比+5.8%、外食は+3.9%。

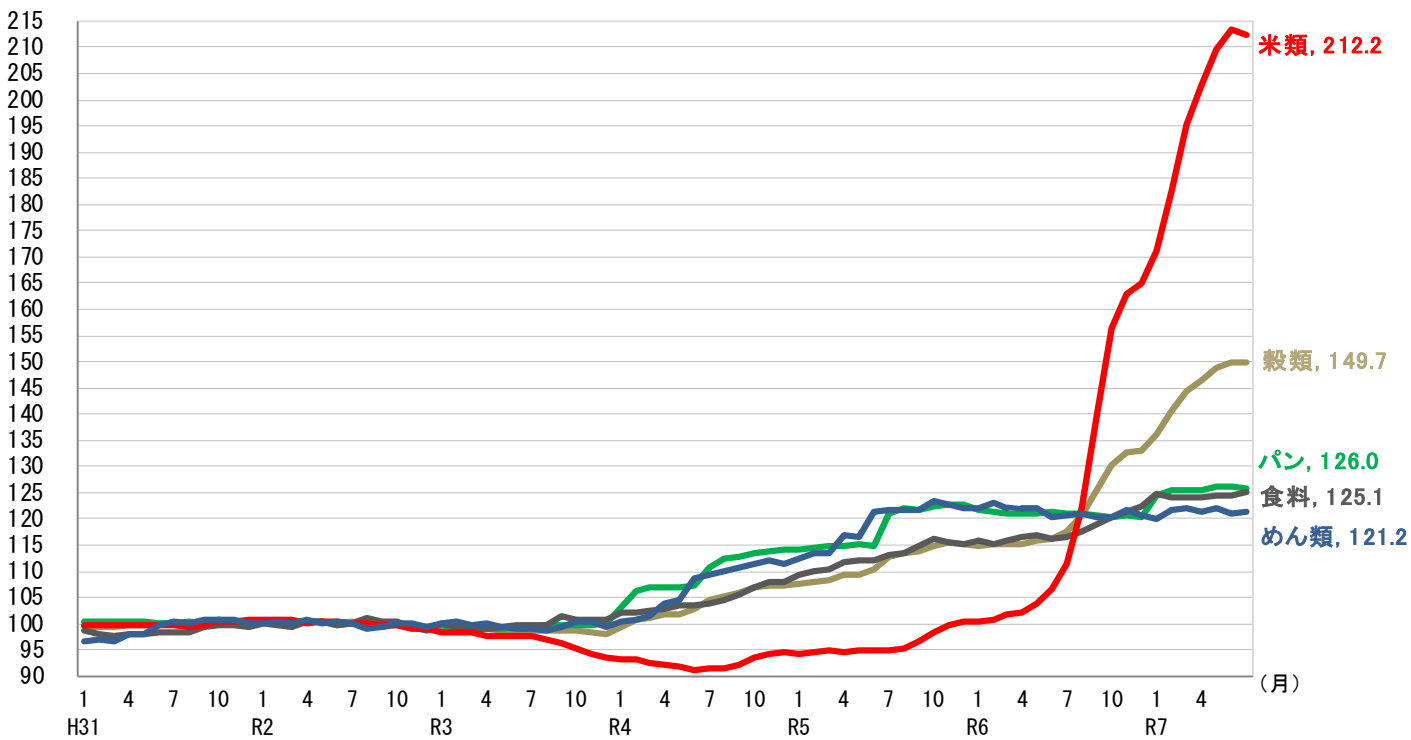
1世帯当たり1か月間の支出金額の推移（前年同月比）



	穀類	中食 (主食用調理食品)					弁当	すし (弁当)	おにぎり・ その他	調理パン	他の主食用調理食品
		米	パン	麺類	他の穀類	中食(主食用調理食品)					
5年 1月	102.8%	96.7%	105.5%	104.0%	102.8%	104.8%	105.3%	96.6%	113.2%	106.4%	109.1%
2月	100.0%	100.1%	102.8%	96.2%	96.7%	104.3%	100.2%	103.6%	116.7%	106.7%	105.0%
3月	100.3%	96.6%	102.8%	99.4%	100.9%	104.4%	104.3%	103.7%	111.0%	106.5%	102.4%
4月	102.6%	99.1%	103.1%	103.6%	109.0%	104.3%	99.8%	105.6%	113.9%	110.8%	102.6%
5月	103.8%	107.1%	102.2%	103.0%	107.0%	104.6%	105.4%	98.3%	118.5%	110.4%	103.2%
6月	103.3%	102.0%	104.8%	101.3%	107.5%	107.0%	105.9%	106.1%	121.0%	102.2%	106.8%
7月	104.1%	104.1%	103.0%	106.8%	98.1%	108.4%	108.4%	106.1%	114.2%	105.6%	109.3%
8月	104.4%	105.9%	103.0%	107.2%	95.2%	105.1%	100.5%	101.2%	121.5%	103.0%	109.0%
9月	103.8%	108.3%	103.9%	101.2%	91.4%	109.7%	103.7%	116.9%	118.4%	111.4%	107.3%
10月	100.9%	96.7%	105.0%	102.7%	92.3%	101.8%	98.7%	97.8%	108.0%	102.2%	105.6%
11月	106.0%	106.6%	106.4%	105.8%	102.6%	105.8%	102.3%	103.7%	108.4%	106.7%	109.6%
12月	105.9%	111.9%	108.3%	101.3%	99.9%	103.1%	102.2%	99.9%	108.4%	107.8%	104.2%
6年 1月	103.2%	103.0%	105.2%	101.7%	98.1%	104.3%	101.0%	107.0%	103.8%	101.6%	106.2%
2月	106.8%	107.2%	107.3%	105.7%	107.1%	104.8%	100.3%	102.4%	109.1%	108.5%	109.3%
3月	108.8%	113.3%	107.2%	108.5%	105.6%	104.7%	96.5%	100.2%	112.5%	101.0%	116.2%
4月	103.6%	109.8%	103.0%	100.2%	96.9%	101.9%	99.9%	96.4%	104.7%	103.3%	106.8%
5月	105.7%	120.1%	100.8%	101.8%	100.3%	101.9%	99.2%	100.2%	102.9%	103.9%	104.7%
6月	109.4%	125.8%	102.0%	107.1%	106.8%	103.3%	102.3%	104.7%	99.8%	106.9%	103.1%
7月	106.2%	125.3%	101.7%	97.8%	105.2%	101.3%	103.9%	98.5%	101.6%	104.6%	99.7%
8月	122.4%	172.5%	104.3%	106.1%	124.2%	107.5%	110.8%	106.7%	99.0%	108.1%	107.8%
9月	110.8%	134.0%	98.7%	100.6%	107.5%	101.1%	103.3%	98.5%	104.4%	104.0%	98.9%
10月	115.1%	148.7%	98.1%	99.2%	107.1%	102.8%	102.6%	106.0%	103.4%	104.9%	99.9%
11月	115.1%	158.6%	98.1%	102.5%	105.4%	100.0%	98.2%	99.4%	102.8%	101.1%	100.7%

3 消費者物価指数の推移

・ 総務省が公表している消費者物価指数（令和2年基準）によると、令和7年7月の米類の指数は対前年同月比 +90.7%の212.2ポイント。



(令和2年=100、指数)

	食料		穀類		米類 (うるち米)		うるち米 (コシヒカリ)		パン	めん類	
		対前年 (同月)比		対前年 (同月)比		対前年 (同月)比		対前年 (同月)比			対前年 (同月)比
令和元年 (平均)	98.7	0.4%	99.9	0.9%	99.9	0.2%	100.1	0.9%	100.3	99.1	2.2%
2年 (平均)	100.0	1.4%	100.0	0.1%	100.0	0.1%	100.0	▲0.1%	100.0	100.0	1.0%
3年 (平均)	100.0	0.0%	98.8	▲1.2%	96.8	▲3.2%	96.7	▲3.3%	99.5	99.7	▲0.3%
4年 (平均)	104.5	4.5%	103.7	5.0%	92.6	▲4.3%	93.3	▲3.5%	109.6	107.1	7.4%
5年 (平均)	112.9	8.1%	111.5	7.5%	96.1	3.8%	96.3	3.2%	118.4	118.9	11.1%
6年 (平均)	117.8	4.3%	121.0	8.5%	122.8	27.7%	121.1	25.8%	121.0	121.4	2.0%
令和7年 1月	124.7	7.8%	136.1	18.4%	171.3	70.9%	169.4	69.2%	124.3	120.0	▲1.7%
2月	124.1	7.6%	140.5	21.9%	182.6	80.9%	180.4	80.1%	125.5	121.6	▲1.3%
3月	124.2	7.4%	144.5	25.4%	195.3	92.1%	192.8	91.3%	125.6	121.9	▲0.2%
4月	124.0	6.5%	146.6	27.4%	202.8	98.4%	199.7	98.2%	125.6	121.3	▲0.5%
5月	124.4	6.5%	149.0	28.7%	209.7	101.7%	207.0	103.0%	126.1	122.2	0.1%
6月	124.6	7.2%	150.0	29.0%	213.5	100.2%	211.2	101.9%	126.1	121.0	0.6%
7月	125.1	7.6%	149.7	27.4%	212.2	90.7%	210.4	92.0%	126.0	121.2	0.4%

資料：総務省「消費者物価指数」2020年基準、品目別価格指数（全国）

注1：食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。

2：穀類は、米類（うるち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。

3：令和元年～6年のデータは年平均であり、7年は月次データである。

5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向（速報）

- 米穀販売事業者における令和7年7月の販売数量は、対前年同月比で小売事業者向けが94%、中食・外食事業者等向けが93%で、全体としては94%となっている。
- なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じているが、令和元年7月の販売数量と比較すると94%となる。
- 前年同月を基準にした令和7年7月の販売価格の値動きは、小売事業者向け158.8、中食・外食事業者等向け175.7。

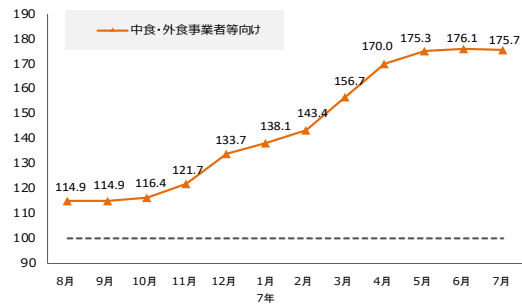
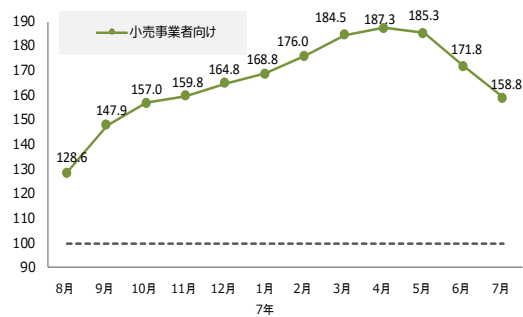
1 販売数量の動向（前年同月比）

	6年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	6年1月 ～12月計
小売事業者向け	106%	108%	107%	108%	106%	114%	104%	100%	86%	85%	93%	92%	101%
(※令和元年との比較)	(110%)	(111%)	(108%)	(109%)	(114%)	(116%)	(104%)	(107%)	(87%)	(86%)	(97%)	(99%)	(104%)
中食・外食事業者等向け	103%	106%	100%	99%	103%	98%	99%	100%	97%	100%	100%	101%	100%
(※令和元年との比較)	(96%)	(100%)	(95%)	(94%)	(102%)	(97%)	(97%)	(97%)	(98%)	(100%)	(100%)	(99%)	(98%)
販売数量計	105%	107%	104%	104%	105%	107%	102%	100%	91%	92%	96%	96%	101%
(※令和元年との比較)	(103%)	(106%)	(102%)	(102%)	(108%)	(107%)	(100%)	(102%)	(92%)	(93%)	(98%)	(99%)	(101%)

	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	7年1月 ～12月計
小売事業者向け	94%	89%	86%	92%	93%	88%	94%						
(※令和元年との比較)	(104%)	(99%)	(94%)	(100%)	(106%)	(103%)	(97%)						
中食・外食事業者等向け	101%	95%	98%	97%	90%	98%	93%						
(※令和元年との比較)	(96%)	(96%)	(93%)	(91%)	(92%)	(95%)	(90%)						
販売数量計	97%	92%	91%	94%	92%	92%	94%						
(※令和元年との比較)	(100%)	(98%)	(93%)	(96%)	(99%)	(99%)	(94%)						

※令和2年2月以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、各月ごとの消費動向に大きな変動が生じていることから、参考として令和元年（4月までは平成31年）の同月との比較をした値を記載。

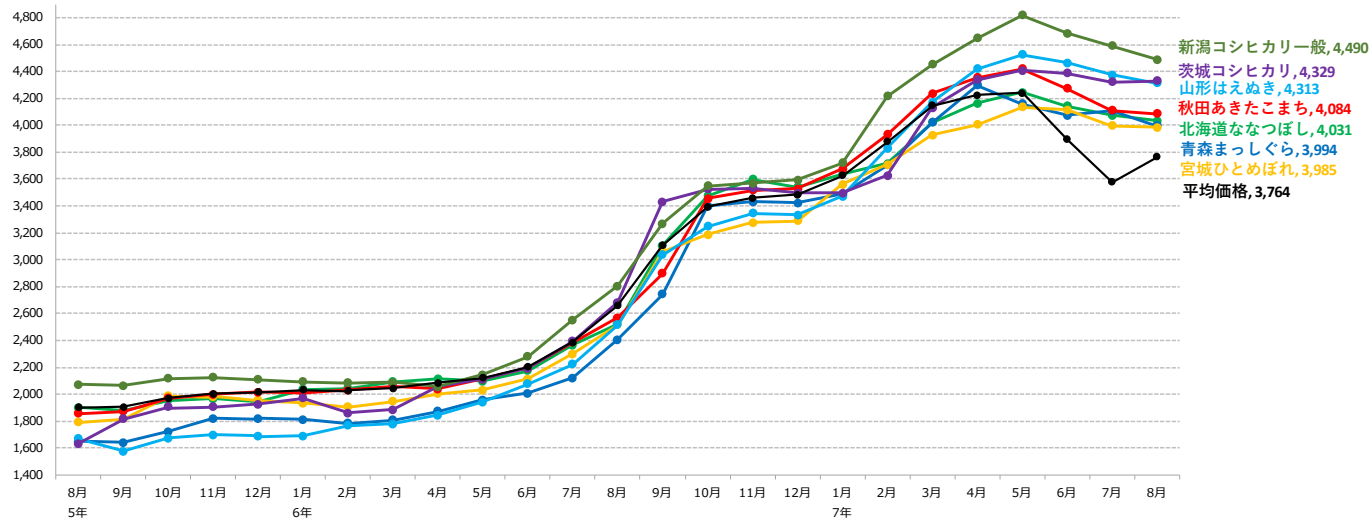
2 販売価格の動向（前年同月の価格を基準にした値動き）



6 小売価格・販売数量等の推移（POSデータ）

- 令和7年8月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、対前月差+189円（+5.3%）、対前年同月差+1,108円（+41.7%）の3,764円。

円/5kg袋販売時換算(税込)

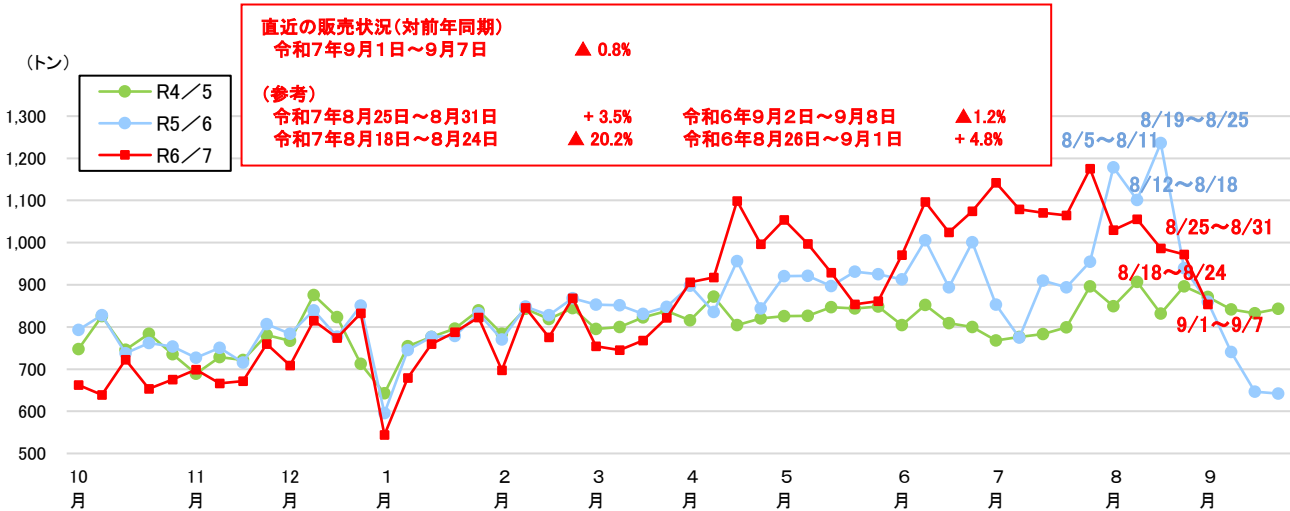


資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

- 注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。
- 注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。
- 注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。
- 注4：全POS取引平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。
- 注5：価格に含む消費税は8%である。

- 令和7年9月1日の週の販売数量は対前年同期▲0.8%。
- 随意契約による政府備蓄米の販売が減少。
新米の出回りなども背景に、販売数量に占めるブレンド米等の比率は30%に低下。

〔 5/26～6/1の週 39% ⇒ 6/2～6/8の週 44% ⇒ 6/9～6/15の週 50% ⇒ 8/18～8/24の週 45% ⇒ 8/25～8/31の週 39% ⇒ 9/1～9/7の週 30% 〕



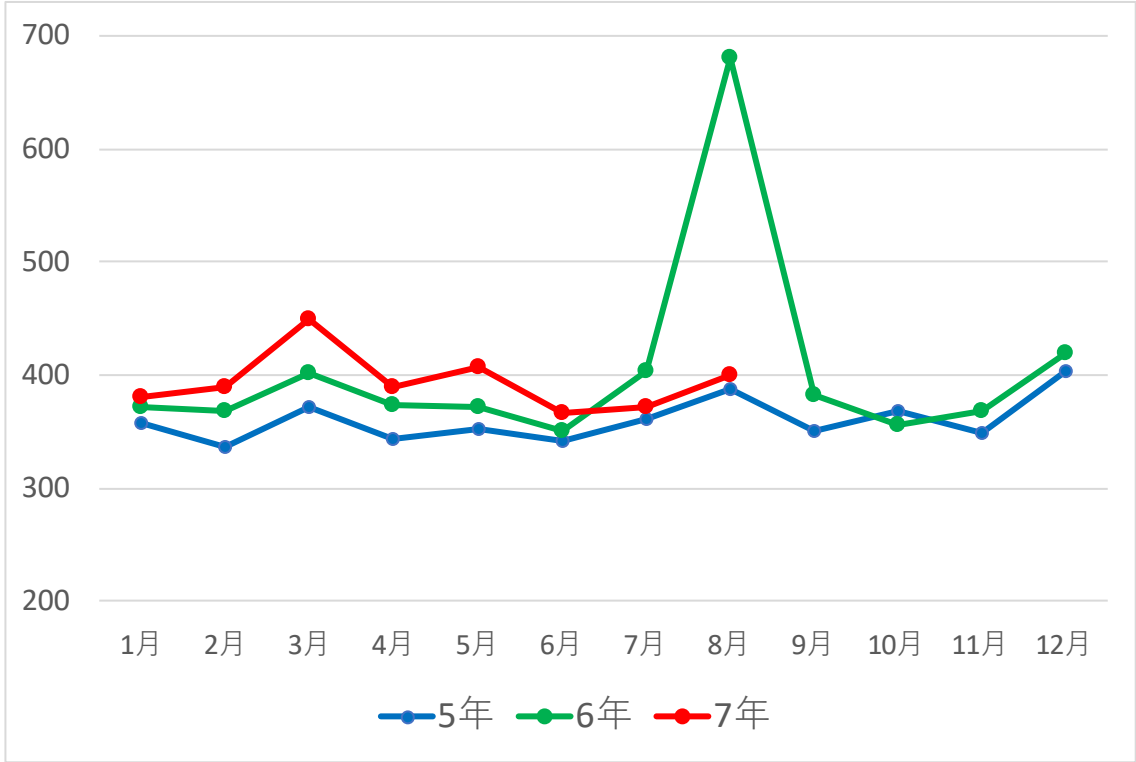
うるち精米の主な銘柄の月別価格・販売数量

単位:円/5kg袋販売時換算(消費税込み)、トン

	販 売 価 格														販売数量		
	6年 8月	9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	前月差	前年 同月差	7年 8月	6年9月 ~7年8月
北海道 ななつぼし	2,525	3,107	3,477	3,599	3,541	3,640	3,717	4,021	4,164	4,244	4,141	4,072	4,031	▲ 41	+ 1,506	249	3,507
北海道 ゆめびりか	2,853	3,555	3,766	3,865	3,838	3,842	4,047	4,247	4,362	4,433	4,442	4,353	4,332	▲ 21	+ 1,479	219	2,625
北海道 ふっくらりんこ	2,709	2,829	3,635	3,677	3,673	3,693	3,822	4,080	4,040	4,075	4,057	3,959	4,013	+ 54	+ 1,304	20	238
北海道 きらら397	2,586	2,679	3,283	3,625	3,742	3,585	4,000	4,238	4,159	4,627	4,443	4,187	3,832	▲ 355	+ 1,246	1	60
北海道 きたくりん	2,511	2,577	3,264	3,409	3,364	3,593	3,857	3,962	3,845	4,389	4,320	4,208	4,069	▲ 139	+ 1,558	10	108
青森 青天の霹靂	2,641	2,794	3,461	3,673	3,686	3,769	4,038	4,353	4,642	4,658	4,378	4,180	4,376	+ 196	+ 1,735	14	261
青森 まっしぐら	2,407	2,745	3,398	3,432	3,423	3,487	3,704	4,020	4,298	4,157	4,073	4,104	3,994	▲ 110	+ 1,587	48	374
青森 つがるロマン	2,191	3,030	3,073	2,487	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0
岩手 ひとめぼれ	2,401	2,615	3,294	3,297	3,273	3,316	3,576	3,858	4,137	4,184	4,081	3,971	3,879	▲ 9			

【パックご飯の販売数量】

(単位：精米トン)



(単位：精米トン、%)

	5年	6年 ①	7年 ②	対前年 同月比 ②/①
1月	357	372	381	102%
2月	337	368	389	106%
3月	371	401	450	112%
4月	344	374	390	104%
5月	352	371	407	110%
6月	341	350	366	105%
7月	361	403	372	92%
8月	388	680	400	59%
9月	351	383		
10月	369	356		
11月	349	368		
12月	403	420		

資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,000店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

POSデータ 分類別販売個数 対前年同期比

分類コード	分類名	主な 分類基準	6年 9月	10月	11月	12月	7年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
米類			105%	95%	102%	100%	99%	103%	100%	107%	109%	107%	109%	82%
	米	精米、玄米、もち米	94%	89%	98%	99%	100%	102%	101%	120%	117%	119%	130%	93%
	包装餅	切り餅、板餅	116%	92%	110%	99%	101%	108%	103%	107%	107%	99%	100%	70%
	米飯加工品		105%	91%	97%	101%	96%	102%	100%	101%	104%	100%	94%	64%
	かゆ・雑炊	主にレトルトパウチ等で販売される おかゆ、雑炊、リゾット	92%	87%	88%	100%	93%	88%	89%	99%	99%	98%	96%	72%
	無菌パック米飯	無菌パック(お米を加熱調理後に無菌 包装したもの)で販売される白飯、赤 飯、玄米、麦ごはん	101%	90%	97%	97%	93%	96%	102%	101%	106%	97%	94%	66%
	レトルト米飯	レトルト米飯(お米を容器に入れてから 炊飯したもの)で販売される白飯、赤 飯、玄米、麦ごはん	131%	98%	108%	115%	111%	136%	108%	106%	104%	110%	92%	55%
	冷凍米飯加工品		106%	102%	108%	105%	101%	104%	103%	106%	111%	106%	113%	99%
	冷凍ピラフ、炒飯	炒飯、焼めし、ピラフ、チキンライス、 ドライカレー などの米飯群	100%	92%	101%	96%	93%	95%	99%	103%	107%	102%	112%	94%
	冷凍おにぎり	おにぎり、焼きおにぎり	107%	103%	96%	103%	98%	114%	96%	92%	94%	92%	93%	91%
	その他冷凍米飯	白飯、赤飯、おこわ、炊き込みご 飯、オムライス、カレーライス	122%	126%	133%	129%	131%	126%	121%	114%	131%	121%	118%	111%
	惣菜		112%	113%	101%	100%	99%	95%	97%	98%	94%	93%	94%	111%
	おにぎり	おにぎり、おにぎりセット、おにぎりと おかずがセットになった弁当	117											

5 輸出入の動向

1 米・米加工品の輸出実績

(1) 米・米加工品の輸出実績の推移

2025年1～7月の米・米加工品の輸出額は386億円（対前年同期比+12%）となった。
うち米の輸出実績は対前年同期比+21%の78億円、米菓は-6%の33億円、日本酒は+10%の263
億円、バックご飯等は+51%の11億円、米粉及び米粉製品は-19%の0.6億円。

品 目 名		2021年	2022年	2023年	2024年	2025年		(参考) 主な輸出先国 ・ 地域
						1～7月	対前年 同期比	
米・米加工品	数量 (原料米換算)	45,959トン	53,931トン	58,472トン	67,922トン	41,176トン	+10%	アメリカ 中国 香港 台湾 韓国
	金額	524億円	613億円	576億円	636億円	386億円	+12%	
米 (援助米を除く)	数量	22,833トン	28,928トン	37,186トン	45,112トン	27,306トン	+12%	香港(13,474) アメリカ(8,784) シンガポール(6,406) 台湾(3,577) カナダ(2,138)
	金額	59億円	74億円	94億円	120億円	78億円	+21%	
米菓 (あられ・せんべい)	数量	5,141トン	4,523トン	4,565トン	4,656トン	2,301トン	-11%	アメリカ 台湾 香港 韓国 サウジアラビア
	原料米換算	4,370トン	3,845トン	3,880トン	3,958トン	1,956トン	-11%	
	金額	56億円	55億円	61億円	66億円	33億円	-6%	
日本酒 (清酒)	数量	32,052 キロリットル	35,894 キロリットル	29,194 キロリットル	31,054 キロリットル	19,522 キロリットル	+12%	中国 アメリカ 香港 韓国 台湾
	原料米換算	18,054トン	20,218トン	16,444トン	17,492トン	10,966トン	+12%	
	金額	402億円	475億円	411億円	435億円	263億円	+10%	
バックご飯等 (加工米飯を含む)	数量	1,129トン	1,384トン	1,593トン	2,298トン	1,591トン	+33%	アメリカ 台湾 香港 オーストラリア シンガポール
	原料米換算	594トン	727トン	837トン	1,208トン	836トン	+33%	
	金額	6億円						

(2) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移

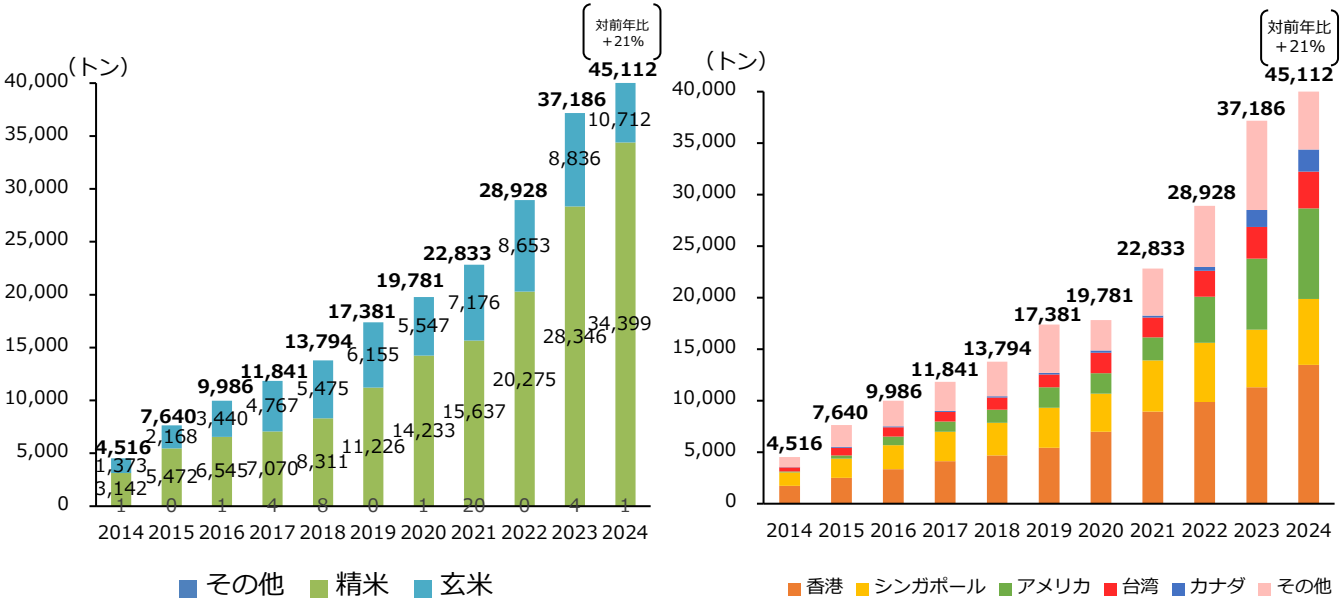
2025年1～7月の商業用の米の輸出は、輸出数量が27,306トン（対前年同期比+12%）、輸出額78億円（対前年同期比+21%）と、数量・金額ともに増加。

	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		2025年 (1～7月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	17,381 (+26%)	4,620 (+23%)	19,781 (+14%)	5,315 (+15%)	22,833 (+15%)	5,933 (+12%)	28,928 (+27%)	7,382 (+24%)	37,186 (+29%)	9,411 (+27%)	45,112 (+21%)	12,029 (+28%)	27,306 (+12%)	7,831 (+21%)
香港	5,436	1,372	6,978	1,796	8,938	2,118	9,880	2,344	11,301	2,630	13,474	3,267	7,757 (+8%)	1,948 (+13%)
アメリカ	1,980	543	1,989	565	2,244	625	4,459	1,169	6,883	1,768	8,784	2,527	6,042 (+30%)	1,875 (+43%)
シンガポール	3,879	802	3,696	785	4,972	1,025	5,742	1,201	5,593	1,153	6,406	1,353	3,541 (-0%)	783 (+4%)
台湾	1,262	411	2,004	622	1,907	575	2,532	716	3,116	877	3,577	1,016	1,902 (+2%)	578 (+11%)
カナダ	158	51	205	62	210	69	382	104	1,629	394	2,138	546	1,264 (-2%)	364 (+12%)
タイ	578	145	555	145	625	162	1,045	256	1,299	307	1,787	461	1,498 (+58%)	415 (+73%)
オーストラリア	770	233	1,074	334	893	283	1,245	390	1,204	386	1,351	460	752 (+8%)	275 (+20%)
イギリス														

(3) 2024年の米の輸出実績の主な増加要因

2024年の米（精米・玄米・粳・碎米）の輸出数量は45,112トン（対前年比+21%）、輸出額は120億円（対前年比+28%）。

- ① 商業用の米の玄米・精米別輸出量の推移
- ② 商業用の米の主な国・地域別輸出量の推移



(4) 米菓の輸出数量及び金額の推移

2025年1～7月の米菓の輸出は、輸出数量が2,301トン（対前年同期比-11%）、輸出額が32.9億円（対前年同期比-6%）と、数量・金額ともに減少。

	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		2025年 (1～7月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	4,033 (-0%)	4,306 (-3%)	4,222 (+5%)	4,531 (+5%)	5,141 (+22%)	5,637 (+24%)	4,523 (-12%)	5,503 (-2%)	4,565 (+1%)	6,098 (+11%)	4,656 (+2%)	6,571 (+8%)	2,301 (-11%)	3,289 (-6%)
アメリカ	1,100	1,122	1,134	1,145	1,411	1,459	1,274	1,538	1,294	1,634	1,279	1,777	627 (-22%)	863 (-19%)
台湾	854	894	989	1,057	1,123	1,248	945	1,150	941	1,242	1,056	1,528	596 (+12%)	782 (+6%)
香港	603	724	629	749	718	863	548	718	656	945	552	829	319 (+5%)	480 (+9%)
韓国	119	156	65	77	95	118	141	192	211	309	233	364	91 (-22%)	149 (-13%)
サウジアラビア	258	161	335	215	380	252	462	360	273	263	315	331	162 (+20%)	182 (+34%)
シンガポール	209	243	227	267	233	281	193	283	174	292	154	268	73 (-13%)	121 (-21%)
ベトナム	75	155	90	195	93	210	95	218	83	20				

(5) 日本酒（清酒）の輸出数量及び金額の推移

2025年1～7月の日本酒の輸出は、輸出数量が19,522キロリットル（対前年同期比+12%）、輸出額が263億円（対前年同期比+10%）と、数量・金額ともに増加。

	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		2025年 (1～7月)	
	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円
輸出合計	24,928 (-3%)	23,412 (+5%)	21,761 (-13%)	24,141 (+3%)	32,052 (+47%)	40,178 (+66%)	35,894 (+12%)	47,489 (+18%)	29,194 (-19%)	41,063 (-14%)	31,054 (+6%)	43,456 (+6%)	19,522 (+12%)	26,283 (+10%)
中国	5,145	5,001	4,772	5,792	7,268	10,279	7,388	14,161	5,792	12,447	5,323	11,671	3,787 (+44%)	7,320 (+26%)
アメリカ	6,452	6,757	5,270	5,070	8,826	9,591	9,084	10,930	6,502	9,091	8,003	11,442	4,866 (+2%)	6,816 (+1%)
香港	1,926	3,943	2,629	6,178	3,243	9,308	2,717	7,11						

(6) パックご飯等の輸出数量及び金額の推移

2025年1～7月のパックご飯等の輸出は、輸出数量が1,591トン（対前年同期比+33%）、輸出額が11.1億円（対前年同期比+51%）と、数量・金額ともに増加。

	2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		2025年 (1～7月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	1,018 (+10%)	513 (+8%)	1,205 (+18%)	658 (+28%)	1,129 (-6%)	593 (-10%)	1,384 (+23%)	790 (+33%)	1,593 (+15%)	996 (+26%)	2,298 (+44%)	1,433 (+44%)	1,591 (+33%)	1,111 (+51%)
アメリカ	442	167	447	169	454	177	545	255	635	341	1,162	599	824 (+37%)	455 (+44%)
台湾	105	56	145	88	123	99	127	115	202	169	245	184	197 (+55%)	170 (+73%)
香港	130	77	261	170	215	126	312	178	280	175	267	157	156 (+6%)	133 (+51%)
オーストラリア														

(7) 米粉の輸出数量及び金額の推移

2025年1～7月の米粉の輸出は、輸出数量が54トン（対前年同期比-18%）、輸出額が44.9百万円（対前年同期比-9%）と、数量・金額ともに減少。

	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		2025年 (1～7月)	
	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)
輸出全体	226	48.4	72 (-68%)	36.8 (-24%)	144 (+100%)	67.9 (+85%)	76 (-47%)	49.6 (-27%)	90 (+18%)	73.1 (+47%)	54 (-18%)	44.9 (-9%)
タイ	28	10.6	41	15.9	40	16.6	27	14.5	53	26.7	14 (-65%)	8.9 (-55%)
ロシア	8	3.3	2	1.6	2	1.0	2	1.4	10	9.2	6.000 (-25%)	4.3 (-40%)
台湾	0	1.8	2	4.4	5	8.2	3	6.7	4	7.2	4 (33%)	8.0 (+38%)
アメリカ	184	29.4	0	2.3	34	13.0	20	8.7	2	7.1	8 (±300%)	5.3 (+17%)
シンガポール	0	0.3	0	1.4	2	3.9						

(8) 米粉麵等の輸出数量及び金額の推移

2025年1～7月の米粉麵等の輸出は、輸出数量が12.2トン（対前年同期比-39%）、輸出額が14.4百万円（対前年同期比-39%）と、数量・金額ともに減少。

	2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		2025年 1～7月	
	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)
輸出全体	23.2	24.1	15.8 (-32%)	19.2 (-20%)	28.9 (+83%)	30.3 (+58%)	25.4 (-12%)	27.9 (-8%)	33.4 (+31%)	37.6 (+35%)	12.2 (-39%)	14.4 (-39%)
アメリカ	10.6	11.8	5.9	9.1	11.9	14.8	13.3	16.1	15.1	21.3	2.9 (-71%)	4.1 (-73%)
イタリア	2.4	2.2	2.7	2.5	3.2	2.9	1.0	0.9	3.6	3.8	1.2 (-47%)	1.5 (-39%)
ドイツ	—	—	—	—	8.4	5.8	3.8	2.6	5.8	3.7	4.2 (-27%)	2.9 (-22%)
サウジアラビア	0.7	0.9	—	—	—	—	1.0	1.9	1.3	2.3	— (-100%)	— (-100%)
香港	5.6	5.3	2.0	2.0								

2 米・米加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について

(輸出拡大実行戦略のうち「米・パックご飯・加工米飯・米粉及び米粉製品」の輸出目標等)



1. 国別輸出額目標

国名	2024年実績※	2030年目標※	国別のニーズ・規制に対応するための課題・方策
合計	136億円	922億円	－
米国	32億円	216億円	・ 西海岸・東海岸の主要都市や日系事業者だけでなく、中部などの地方都市の市場の開拓及び非日系のレストランやスーパーを中心とした商流構築の拡大が課題 ・ 中食・外食などの日系企業の海外展開を促進し、日本産米の利用拡大を図る ・ 品目団体・JETRO・JFOODOが連携し、寿司やおにぎり等の米を使った日本食のプロモーションや商流構築を推進することで、上記課題の克服を図る ・ 有機食品への関心の高まりを切り口に有機米の販売促進を図る
E U・英国	13億円	176億円	・ 日本食の需要拡大にあわせて、日本産米のプロモーション等を実施しているが、輸出実績は小規模で現地に十分浸透していない ・ 中食・外食などの日系企業の海外展開を促進し、日本産米の利用拡大を図る ・ 品目団体・JETRO・JFOODOが連携し、米を使った日本食のプロモーションや商流構築を推進することで、寿司やおにぎり等の切り口で各国における非日系を含めた市場開拓・拡大を図る ・ 品目団体による展示会への出展や商談会の開催のほか、他品目との連携による顧客の深掘りや、拡大するグルテンフリー市場において米粉・米粉製品の需要開拓を図る ・ 容器・包装等の各種規制への対応に必要な取組を支援する ・ 英国のCPTPP加入に伴う関税撤廃を追い風に更なる輸出拡大を図る ・ 有機食品への関心の高まりを切り口に有機米の販売促進を図る
シンガポール・台湾・香港	61億円	141億円	・ 輸出事業者が日系外食店・小売店を中心に需要を開拓しているが、一部では日本産米同士の競争が生じている ・ 他国産ジャボニカ米が安価で販売されており、価格による競争は限界 ・ 「冷めてもおいしい

2. 輸出産地の育成・展開

育成すべき輸出産地	
【現状（2024年）】フラッグシップ輸出産地 6 産地 【目標（2030年）】フラッグシップ輸出産地30産地を目指す	
現状・課題	方策
・ 供給が追いつかず、旺盛な海外需要に応えきれしていない ・ 他国産に比べ割高で、国際競争力も十分でない	・ 農地の大区画化等の基盤整備、農地の集積・集約化による分散錯圃の解消等の生産基盤の強化の推進、官民をあげた多収品種の普及・開発の拡大、スマート農業等と低コスト生産技術の導入・定着、輸出産地の規模拡大等に伴う精米施設・乾燥調製施設の整備等により、低コストで生産できる大規模輸出産地の形成や海外需要のある有機米の作付け拡大を推進

3. 加工施設等の整備及び認証の取得

現状・課題	方策
・ 輸出先国・地域の規制等への対応が十分進んでいない ・ 物流における低コスト化や輸送効率の改善が十分行われていない	・ パックご飯や加工米飯について、輸出先国・地域の規制に対応するための国際認証等の取得や輸出向け生産に必要な機械・設備の導入等を支援 ・ 生産者と輸出事業者等のマッチングを促進する等、生産から販売までの国内外一貫したサプライチェーンの構築を推進 ・ 国内流通も含め、低コスト化や作業効率の改善につながる産地から精米工場への推奨フレコンによる出荷や鉄道へのモーダルシフトを推進

4. 品目別団体を中心とした販路開拓

現状・課題	方策
・ 更なる輸出拡大が見込める主要輸出先国・地域での新たな購買層の深掘りや輸出事業者の進出が不十分な国・地域での市場開拓が不十分 ・ 海外における日本産米の理解醸成が十分でない	・ （一社）全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会（全米輸）による輸出国・地域のマーケット情報の収集・発信、プロモーション活動を実施。実施に際しては、他の品目団体や輸出支援プラットフォームとも連携 ・ 現地ニーズを踏まえた商品提案や商流構築を行うため、現地にエージェントを設置 ・ 輸出支援プラットフォーム等とも連携して、消費者と事業者に対し、日本産米の多様性や特徴をPRするなど、マーケットに応

3 MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

輸入米の入札情報については、農林水産省ホームページの「農産」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「輸入米麦入札関連資料」で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html> 】

(単位:千玄米トン)

	米 国	タ イ	中 国	オーストラリア	その他	合 計	うち一般輸入	うちSBS輸入 ※
平成7年度	194	107	32	87	5	426	415	11
平成8年度	233	144	40	87	6	511	488	22
平成9年度	290	151	46	95	13	596	537	55
平成10年度	313	152	78	109	29	681	551	120
平成11年度	339	159	86	115	24	724	591	120
平成12年度	356	168	99	120	24	767	632	120
平成13年度	364	146	136	110	11	767	655	100
平成14年度	361	153	112	96	44	767	710	50
平成15年度	355	153	110	90	51	759	647	

4 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合せ結果（令和7年度）

（単位：実トン）

令和7年度（うるち）		令和6年度（うるち）	
令和7年4～6月分（長期契約）	30,370	令和6年4～6月分（長期契約）	31,350
4月分（月別契約）	397	4月分（月別契約）	290
5月分（月別契約）	283	5月分（月別契約）	3,225
6月分（月別契約）	512	6月分（月別契約）	3,543
令和7年4～6月小計	31,562	令和6年4～6月小計	38,408
7～9月分（長期契約）		7～9月分（長期契約）	26,446
7月分（月別契約）		7月分（月別契約）	351
8月分（月別契約）		8月分（月別契約）	577
9月分（月別契約）		9月分（月別契約）	1,029
令和7年7～9月小計		令和6年7～9月小計	28,403
10～12月分（長期契約）		10～12月分（長期契約）	24,512
10月分（月別契約）		10月分（月別契約）	382
11月分（月別契約）		11月分（月別契約）	1,591
12月分（月別契約）		12月分（月別契約）	3,266
令和7年10～12月小計		令和6年10～12月小計	29,751
令和8年1～3月分（長期契約）		令和7年1～3月分（長期契約）	26,769
1月分（月別契約）		1月分（月別契約）	391

5 SBS輸入米の見積合せ結果（令和7年度）

(単位:実トン)

		アメリカ		タイ		中国		オーストラリア		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 (令和7年6月27日)	一般米	23,961	80	708		560				1,691		27,000
	砕精米	1,120	380					1,500				3,000
	計	25,081	460	708		560		1,500		1,691		30,000
第2回 (令和7年7月16日)	一般米	14,800	880	1,096		180		9,460		580		26,996
	砕精米	600	100	1,800	108			222		170		3,000
	計	15,400	980	2,896	108	180		9,682		750		29,996
令和7年度計	一般											

6 CPTPP・国別枠の見積合せ結果（令和7年度）

（単位：実トン）

		オーストラリア	
		うるち	もち
第1回 （令和7年5月27日）	一般米	1,200	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	1,200	0
第2回 （令和7年7月29・30日）	一般米	1,005	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	1,005	0
令和7年度計	一般米	2,205	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	2,205	0
令和6年度計 （参考）	一般米	6,960	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	6,960	0
令和5年度計 （参考）	一般米	6,198	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	6,198	0
令和4年度計 （参考）	一般米	520	

6 主食用米以外の情報

1 加工用米及び新規需要米等の生産状況

(1) 加工用米の生産量

(単位: 玄米トン)

				(参 考)	
	うるち米	もち米	合計	全国流通	地域流通
平成22年産	190,883	21,945	212,829	134,958	77,870
23年産	122,699	31,856	154,555	46,087	108,468
24年産	148,695	32,190	180,885	65,821	115,064
25年産	178,411	29,471	207,882	82,534	125,348
26年産	232,315	34,053	266,368	110,914	155,455
27年産	205,448	47,739	253,186	95,747	160,771
28年産	219,454	58,943	278,397	99,972	178,367
29年産	215,531	63,532	279,063	100,249	183,755
30年産	221,580	52,611	274,191	117,617	165

(3) 令和6年産 都道府県別の生産状況

(単位: 玄米トン)

産 地	加工用米			新規需要米				政府備蓄米	合計
		うるち米	もち米		飼料用米	新市場開拓用米	米粉用米		
全国	272,317	204,855	67,462	615,508	522,631	61,133	31,744	172,016	1,059,841
北海道	38,360	25,986	12,374	50,093	35,178	14,034	881	4,686	93,138
青 森	4,294	3,872	422	35,017	32,088	2,878	50	24,416	63,727
岩 手	7,011	5,623	1,388	28,978	26,513	2,373	93	3,415	39,404
宮 城	5,161	4,171	990	46,162	39,253	6,436	473	11,276	62,59

(4) 加工用米及び新規需要米における多収性品種

① 需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める品種

品種名
あきいいな、亜細亜のかおり、いわいだわら、笑みたわわ、えみゆたか、オオナリ、きたげんき、北瑞穂、クサホナミ、たちじょうぶ、ふくのこ、ふくひびき、ぺこあおば、ぺこごのみ、北陸193号、ホシアオバ、ミズホチカラ、みなちから、モグモグあおば、もちだわら、モミロマン、夢あおば

② 都道府県知事の申請に基づき地方農政局長等が特に認める品種（特認品種）

都道府県	品種名	都道府県	品種名
北海道	そらゆたか	三重県	タチアオバ、あきだわら、やまだわら
青森県	ゆたかまる	滋賀県	吟おうみ
岩手県	つぶゆたか、つぶみのり、たわわっこ	京都府	あきだわら、やまだわら
宮城県	東北211号	兵庫県	あきだわら、兵庫牛若丸
秋田県	秋田63号、たわわっこ	鳥取県	日本晴、コガネヒカリ
山形県	山形22号、山形糯110号	島根県	

2 米加工品の状況

(1) 主な米加工品の生産状況

(トン、kg)									
	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年 (1～5月)	対前年 同期比
加工米飯	390,170	398,750	404,707	409,034	428,950	440,068	471,765	196,711	106%
レトルト米飯	28,163	27,474	27,245	27,885	32,435	41,713	46,534	19,998	106%
無菌包装米飯	170,218	182,797	197,185	206,179	213,376	208,654	216,270	92,020	110%
冷凍米飯	181,559	178,068	171,307	166,099	174,158	181,357	200,050	81,331	103%
チルド米飯	4,845								

(2) 令和3米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況（推計）

- 日本酒、米菓、米穀粉などの原料として使用される米穀の令和3米穀年度における使用量は、日本酒の出荷量の減少等により、対前年▲5万トンの約86万トン（推計）。
- 種類別には、うるち米が約67万トン、もち米が約19万トン。制度別には、主食用米、加工用米及び特定米穀などの国産米が約78%。残りの約22%はMA米及び輸入米粉調製品の外国産米。
- 用途別には、日本酒において加工用米を中心に使用量が減少。

＜うるち米＞ (単位: 万玄米トン)

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	9 (7)	6		3			18 (7)
米菓用	1	2		5	3	2	12
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	2	8					10
味噌用		1		4	4		9
焼酎用 (泡盛含む)		1		3	1		6
米穀粉用							

(3) 加工原材料用米穀の使用状況（推計）の推移

＜うるち米＞ (単位: 万玄米トン)

用 途	米穀 年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
日本酒用	29	12 (10)	9		3			24 (10)
	30	11 (9)	9		4			24 (9)
	元	11 (9)	9		3			23 (9)
	2	9 (8)	8		3			21 (8)
	3	9 (7)	6		3			18 (7)
米菓用	29	1	2		4	5	1	13
	30	1	1		5	5	2	13
	元	1	2		5	3	2	13
	2	1						

3 酒造好適米の需給状況

(1) 日本酒の出荷状況

- 日本酒の国内出荷量は、ピーク時（昭和48年）には170万klを超えていたが、他のアルコール飲料との競合などにより、近年は40万klを下回る水準まで減少。
- 消費者の志向が量から質へと変化していることから、国内出荷量全体に占める特定名称酒（吟醸酒、純米酒等）の割合は増加傾向で推移。
- 令和2年以降については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により日本酒の国内出荷量が大幅に減少。
- また、輸出については、日本食ブーム等を背景に近年増加傾向で推移。

日本酒の国内出荷量の推移

(千kl)

	平成 10年	15年	20年	25年	30年	令和 元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年 (1~5月)	対前年同期比
日本酒国内出荷量	1,133	871	659	580	495	467	419	404	404	390	378	143	98%
特定名称酒	291	221	174	164	171	165	142</						

(3) 酒造好適米の生産量

- 酒造好適米の生産量（農産物検査数量）については、作付面積が増加し、作柄が良かった平成27年産の109千トン进行ピークに減少傾向で推移していたが、直近は前年産より増加。
- 令和2及び3年産は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、日本酒の国内出荷量が急減したことから、生産抑制が行われ、生産量が大幅に減少。

酒造好適米の生産量（農産物検査数量）の推移

(トン)

	平成 10年産	15年産	20年産	25年産	30年産	令和 元年産	2年産	3年産	4年産	5年産	6年産	対前年産比
酒造好適米	99,448	74,854	76,788	75,813	95,856	96,454	85,179	74,756	79,472	91,630	94,539	103.2%
山田錦	24,639	22,853	21,399	23,081	33,916	34,644	2					

－ 別冊「資料編」の目次 －

1 米の在庫情報

令和4・5年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)

在庫-1

Excel

2 米の価格情報

- 1 米の相対取引価格の推移(通年平均価格)(平成20年産～令和5年産)
- 2 スポット価格の状況(株式会社クリスタルライス)
- 3 米の現物市場の状況
- 4 堂島取引所による米穀指数市場(先物取引)の状況

価格-1

Excel

価格-4

価格-5